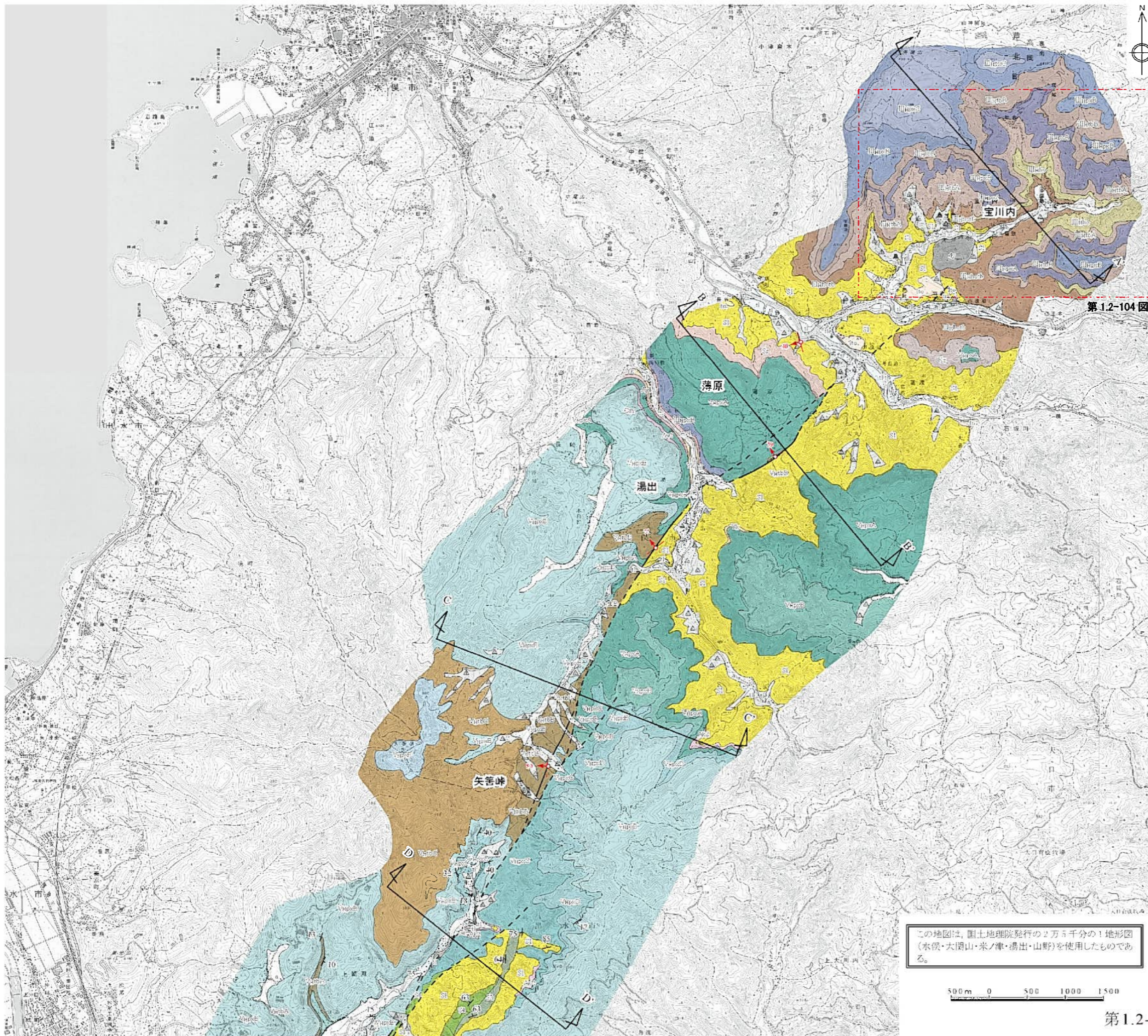


第1.2-100図(2) 出水断層系周辺の空中写真判読図(南部)

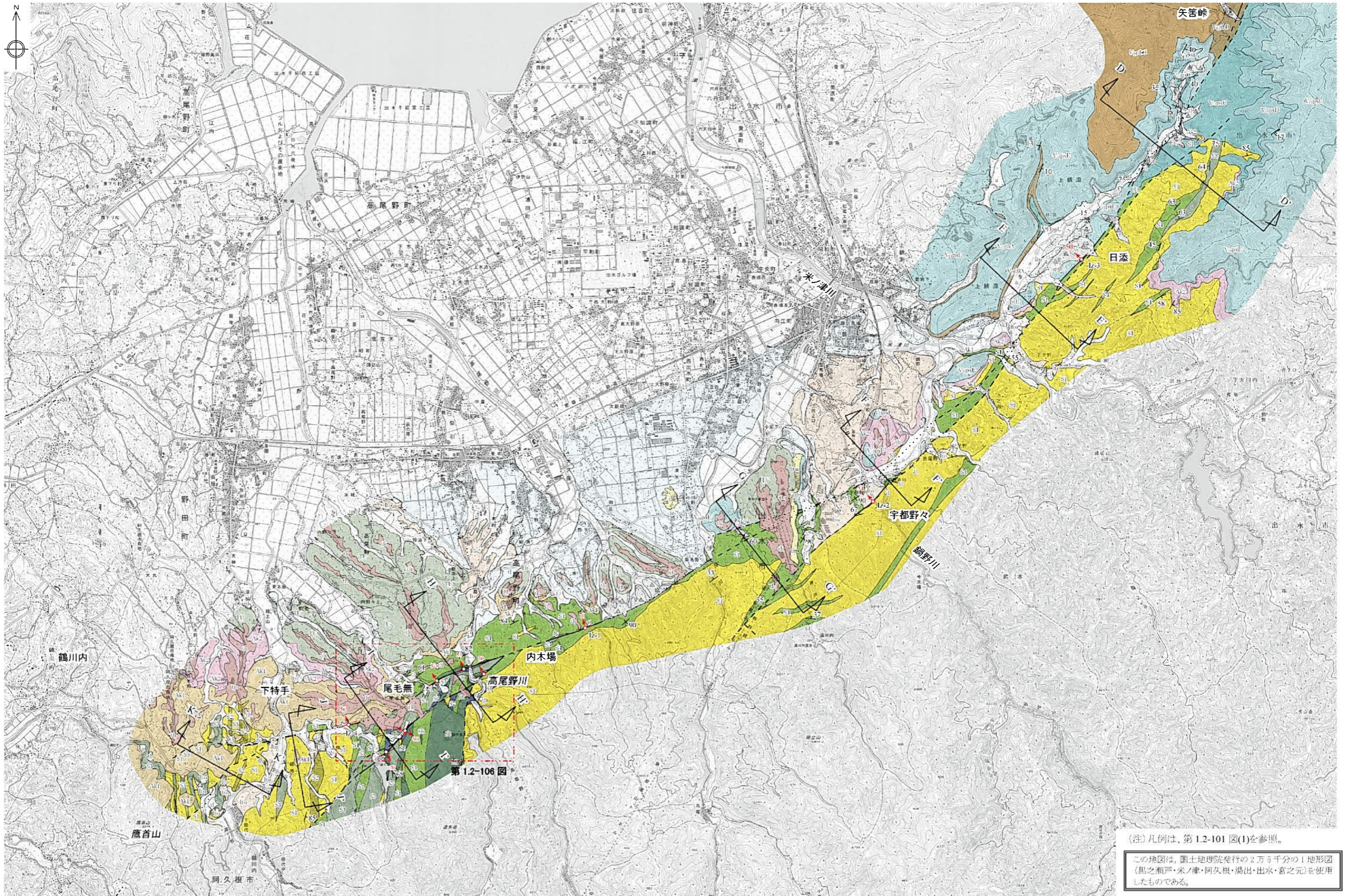


- 凡 例
- a 沖積層
 - △ 土石流～崖崩性堆積物
 - tl 低位段丘堆積物
 - lso 入戸火砕流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - m 高位段丘堆積物
 - T1J 鶴川内層
 - V1soF 玄武岩質安山岩溶岩
 - V1soC 凝灰角礫岩 C
 - V1soB 凝灰角礫岩～火山門礫岩 B
 - V1soE 輝石安山岩溶岩 E
 - V1soD 輝石安山岩溶岩 D
 - V1soA 凝灰角礫岩 A
 - V1soC 輝石安山岩溶岩 C
 - Ay2 赤林2火砕流堆積物
 - V1soB 細粒輝石安山岩溶岩 B
 - V1soA 輝石安山岩溶岩 A
 - Cm 大森火砕流堆積物
 - Ay1 赤林1火砕流堆積物
 - Yk 湯出川火砕流堆積物
 - Ss 薄原火砕流堆積物
 - Ka 葛渡火砕流堆積物
 - V1soC 輝石安山岩溶岩 C
 - V1soB 輝石安山岩溶岩 B
 - V1soB 凝灰角礫岩 B
 - V1soA 輝石安山岩溶岩 A
 - V1soA 凝灰角礫岩 A
 - sp 岩脈(角閃石安山岩)
 - V1soC 輝石角閃石安山岩溶岩
 - V1soB 角閃石安山岩質凝灰角礫岩
 - Ay2 阿久根2火砕流堆積物
 - Fa 舟川火砕流堆積物
 - Ay1 阿久根1火砕流堆積物
 - sp 含礫泥岩
 - sp 暗緑色玄武岩
 - sl 頁岩
 - sp 頁岩優勢砂岩頁岩互層
 - sp 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - sl 砂岩
- 肥薩火山岩類V
- 肥薩火山岩類III
- 四万十層群
- Ex-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
 - 1/4 層理面の走向・傾斜
 - 地質境界
 - 断層(破線は推定、点線は伏在)
 - 断面線位置及び番号
 - 詳細図範囲

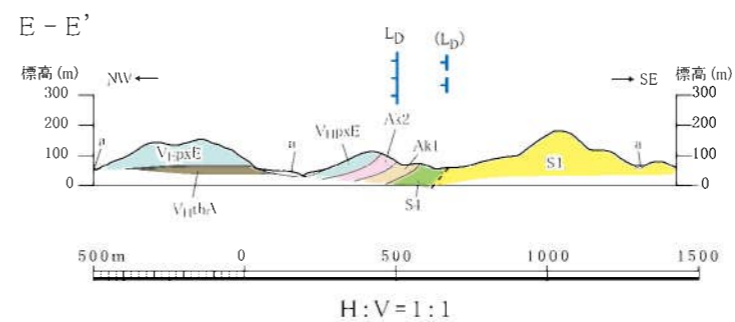
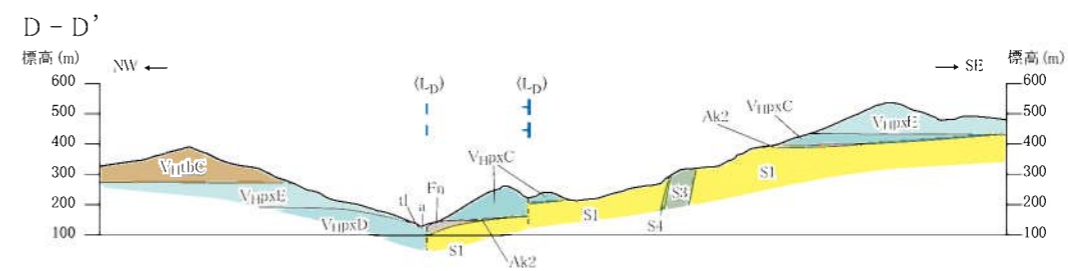
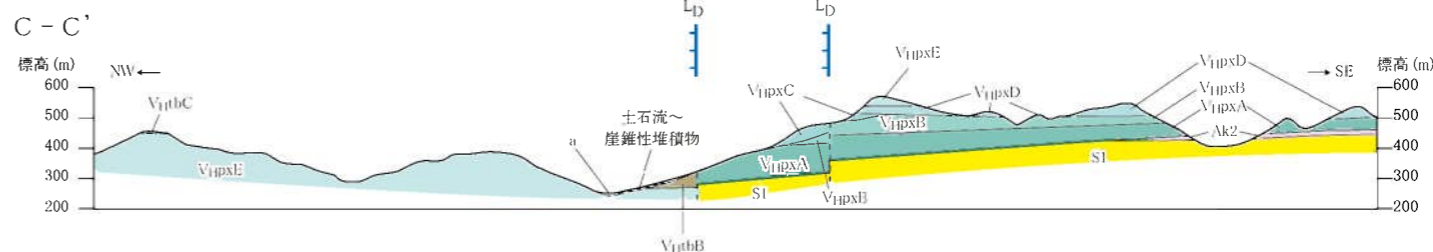
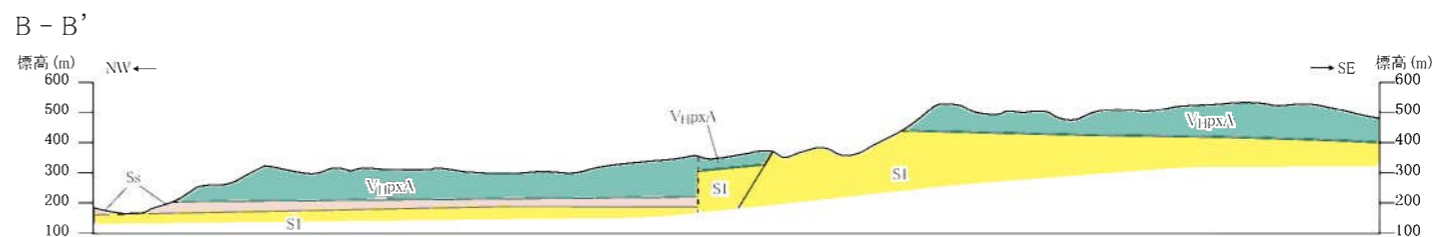
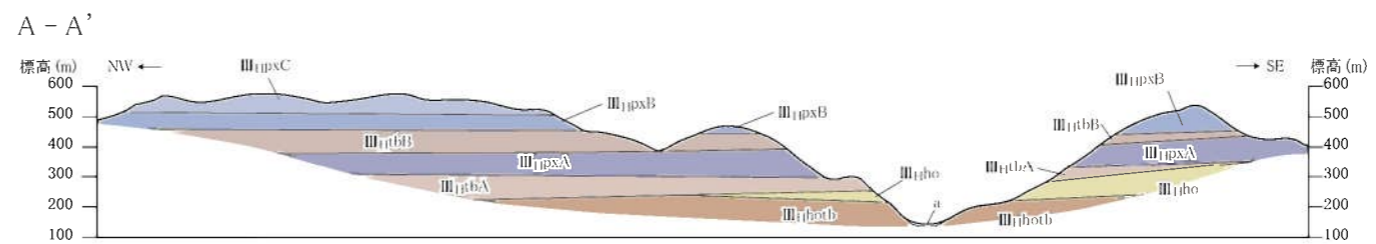
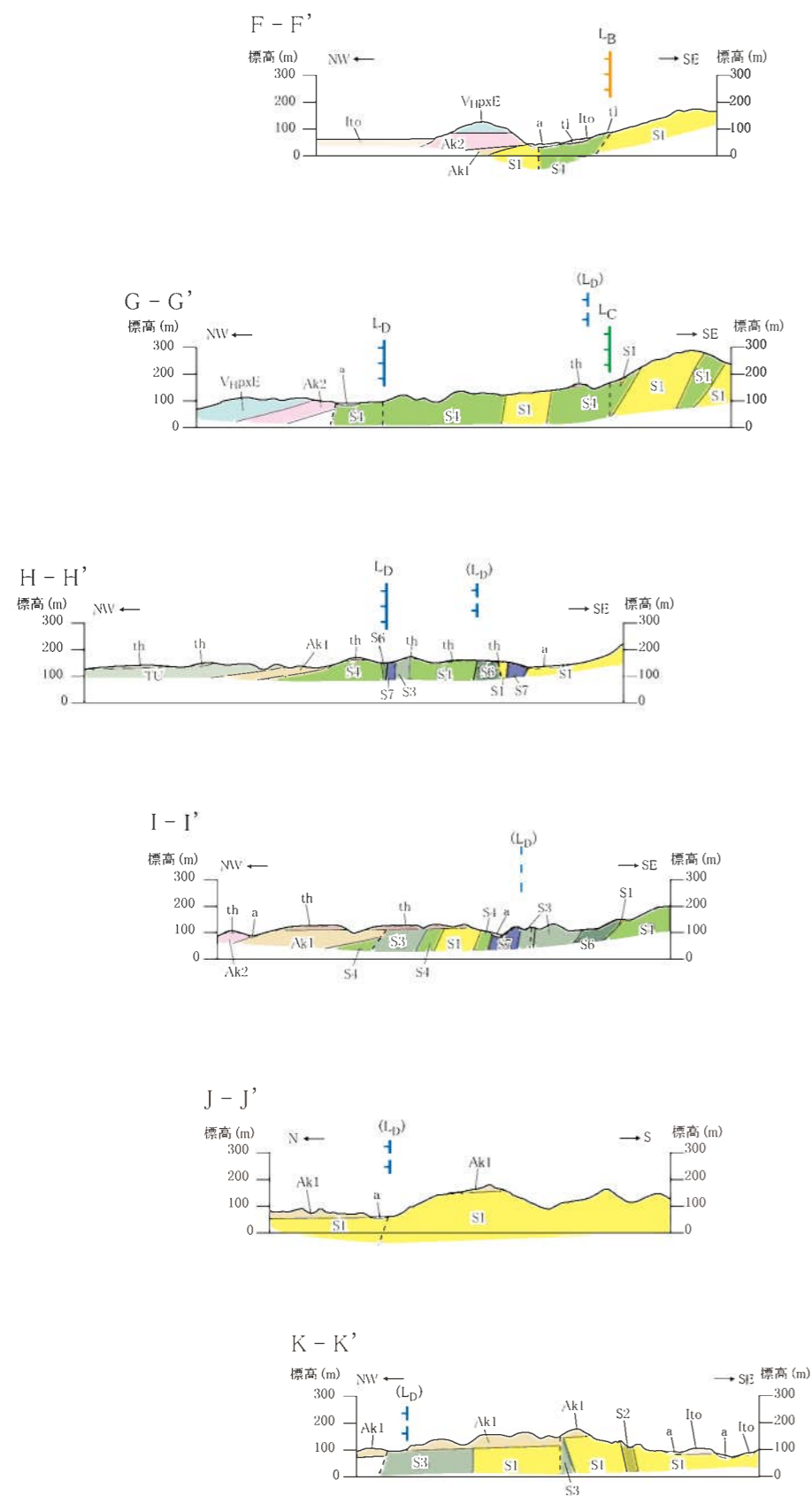
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(水俣・大関山・米ノ津・湯出・山野)を使用したものである。



第1.2-101図(1) 出水断層系周辺の地質図(北部)



第1.2-101図(2) 出水断層系周辺の地質図(南部)
1.2-560



(注) 凡例は、第1.2-101図(I)を参照。

(注) 破線で示す()付きのLDなどは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-102図 出水断層系周辺の地質断面図

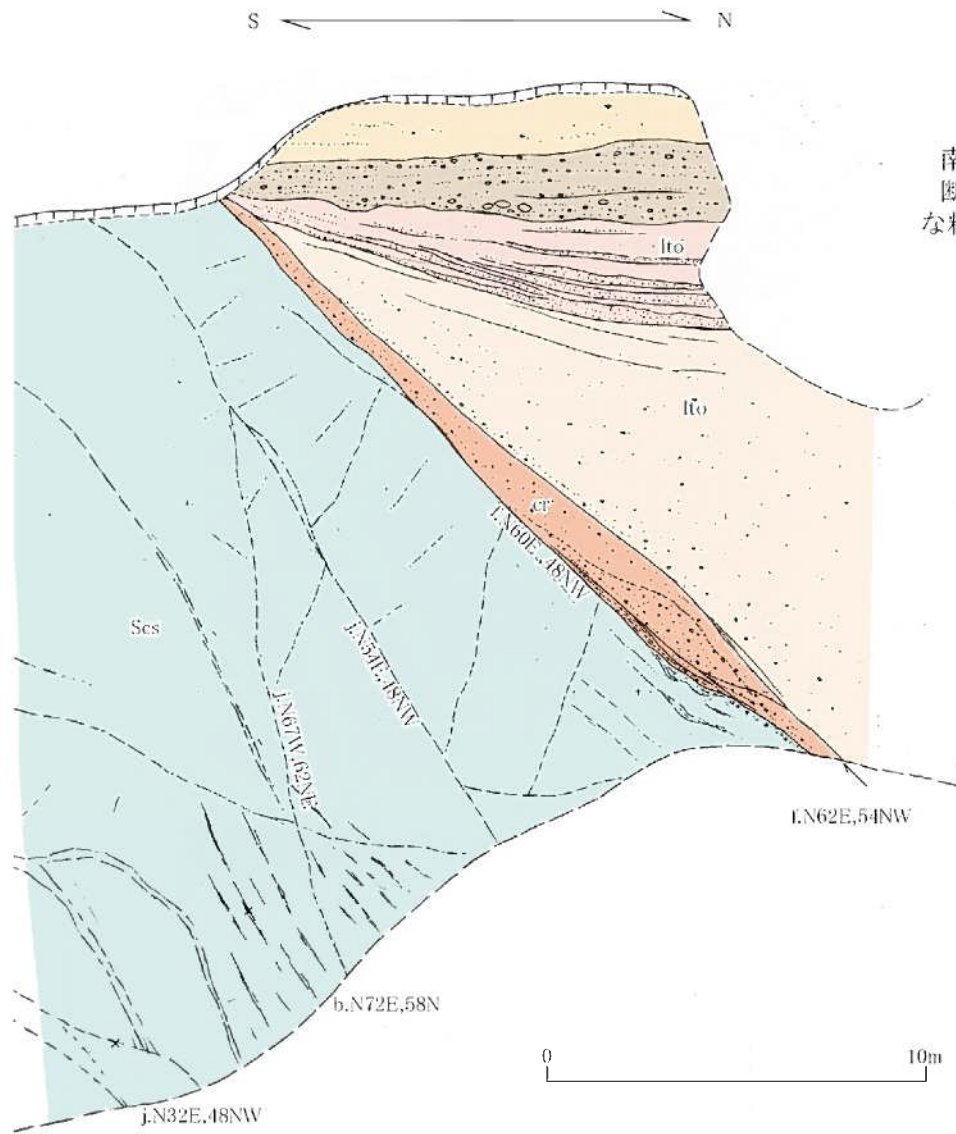
1.2-562



四万十層群中の幅1m以上の粘土破碎部に認められる断層。
断層面は平面的であり、連続も良い。



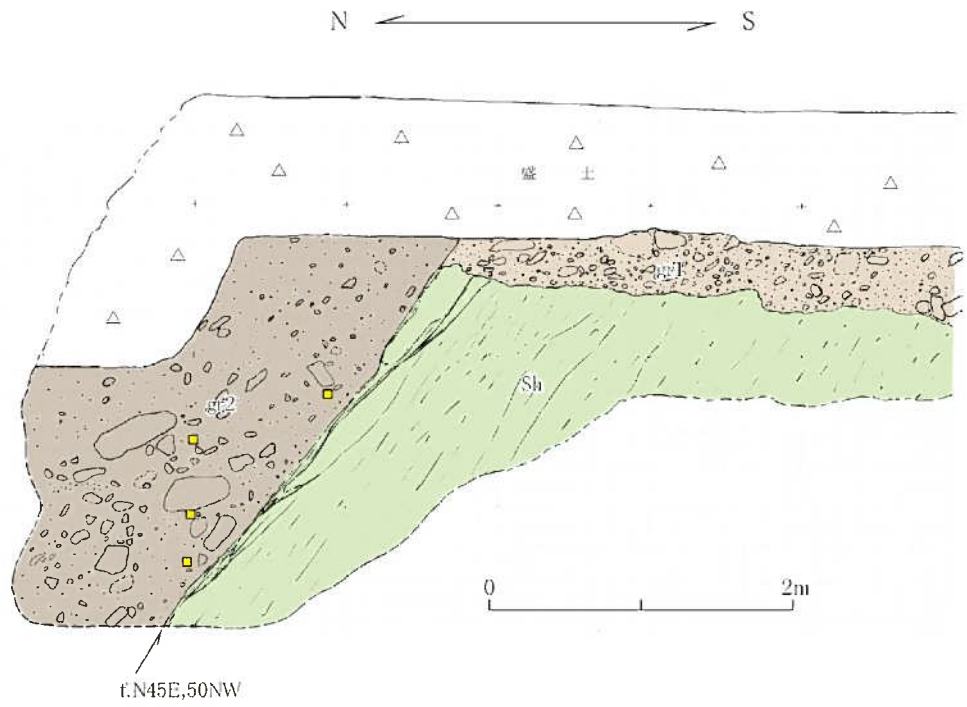
第1.2-103図(1) 露頭スケッチ (Loc.Iz-1, 出水市内木場)



南側の四万十層群と北側の入戸火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平面的であり、面に沿って幅数 10cm ~ 1.5m 程度の軟質
な粘土破碎部が認められる。

- 凡例
- 茶褐色土壌
 - ローム質砂層
 - 河成礫層
 - 入戸火砕流堆積物 (二次堆積)
 - 入戸火砕流堆積物
 - 石灰質砂岩・含礫頁岩 } 四万十層群
 - 茶褐色礫混じり粘土破碎部
 - f.N62E,54NW 断層面の走向・傾斜
 - b.N72E,58N 層理面の走向・傾斜
 - j.N54E,48NW 節理面の走向・傾斜

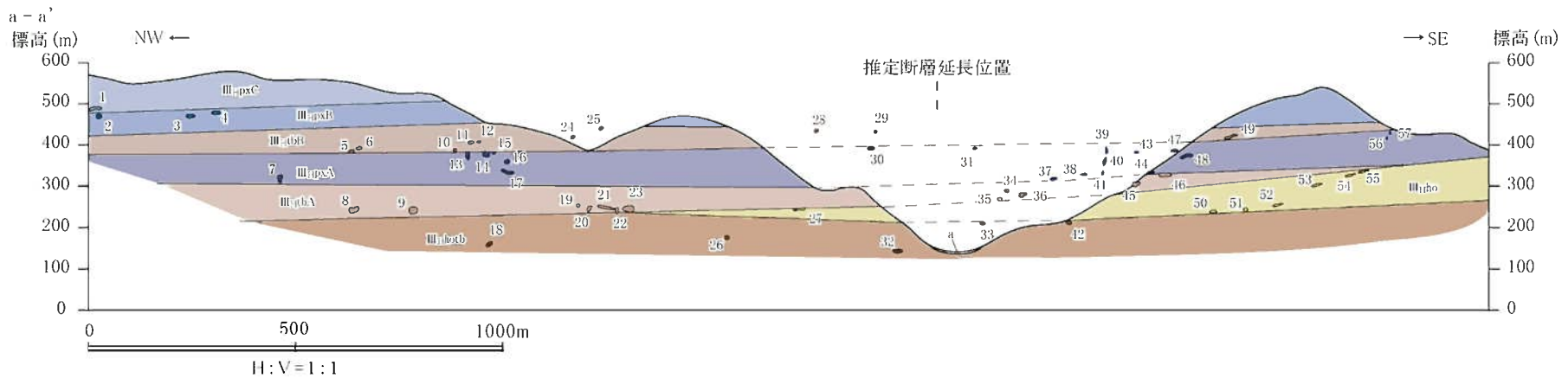
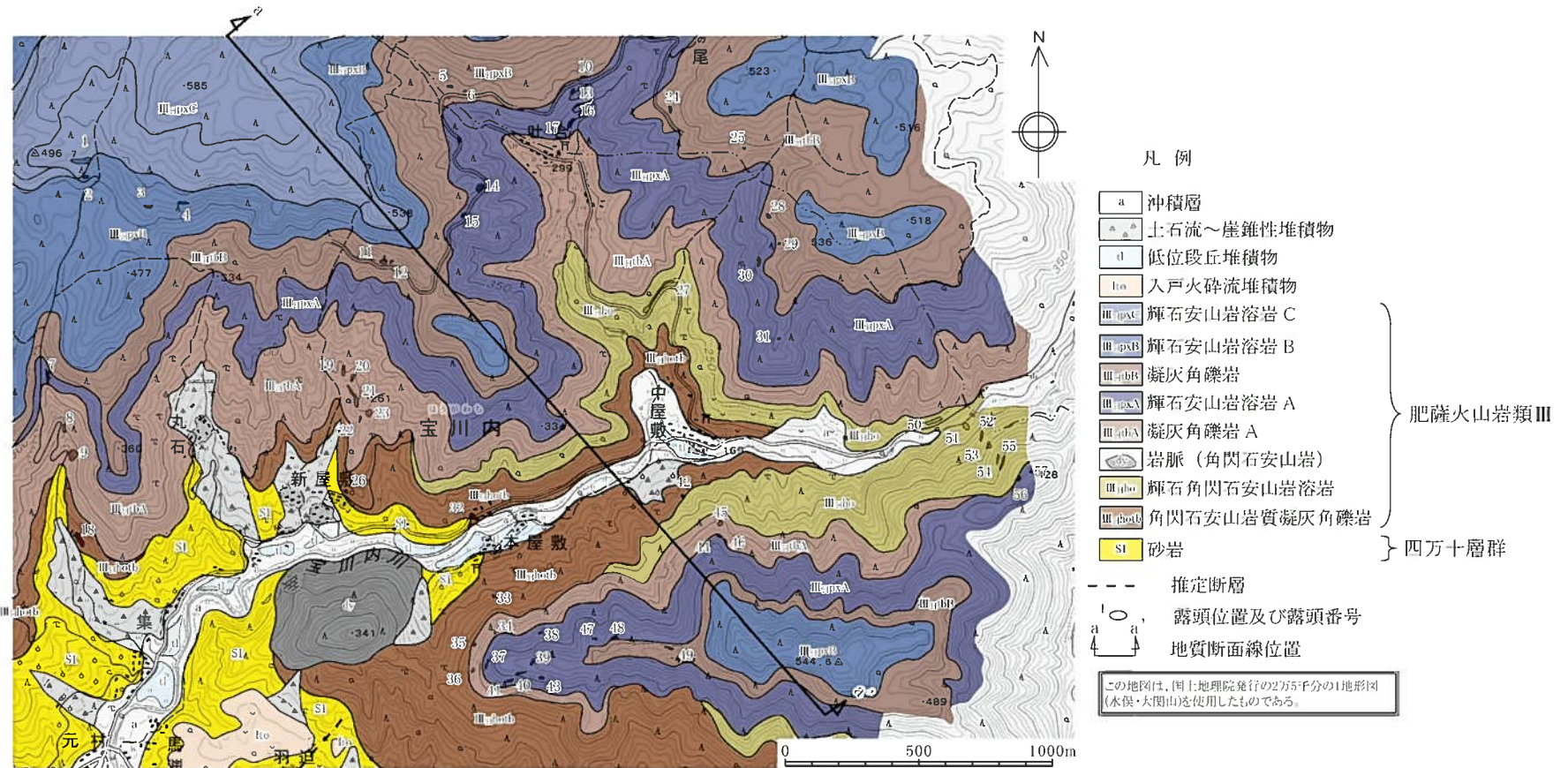
第1.2-103図(2) 露頭スケッチ (Loc.Iz-2, 出水市鍋野川左岸)



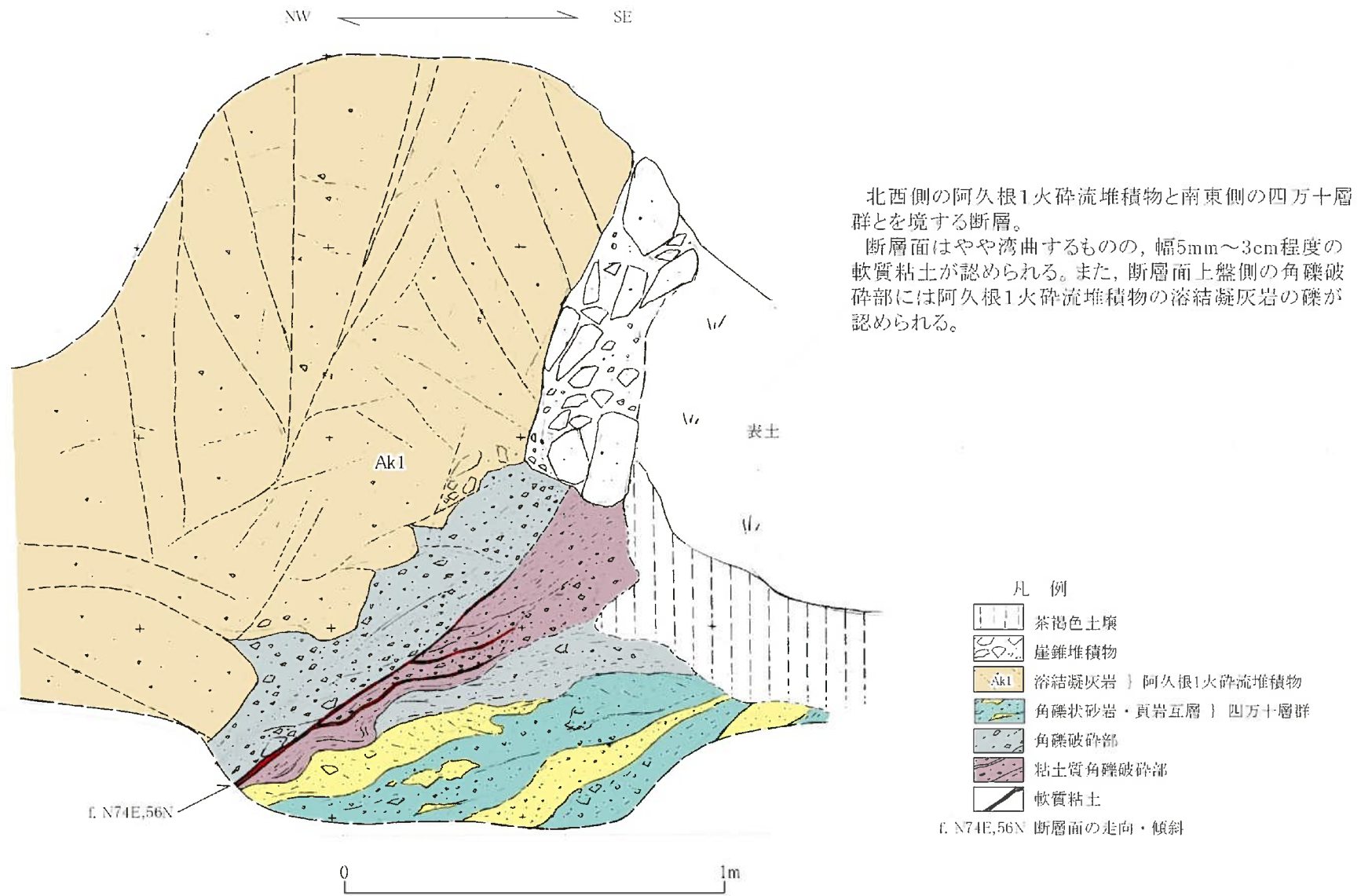
北側の暗褐色礫層と南側の四万十層群とを境する正断層。断層面は平滑であるが、破碎部は認められない。断層面上盤側の暗褐色礫層には入戸火砕流堆積物起源の火山ガラスが認められる。

- 凡例
- 暗褐色礫層
 - 黄褐色礫層
 - 頁岩) 四万十層群
 - 入戸火砕流堆積物起源の火山ガラス検出地点
- E.N45E,50NW 断層面の走向・傾斜

第1.2-103図(3) 露頭スケッチ (Loc.Iz-3, 出水市日添)

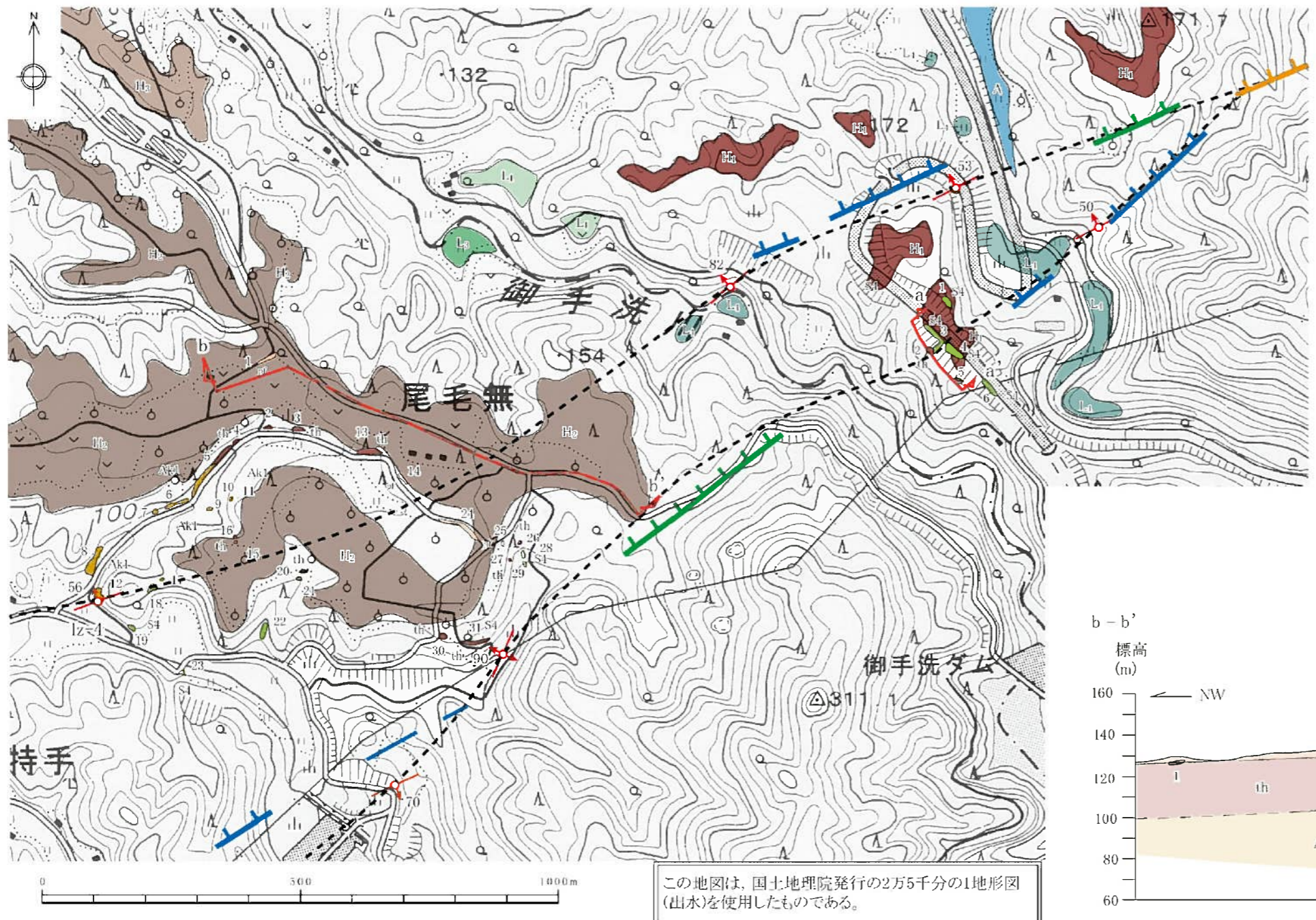


第1.2-104図 ルートマップ・地質断面図(熊本県水俣市宝川内付近)



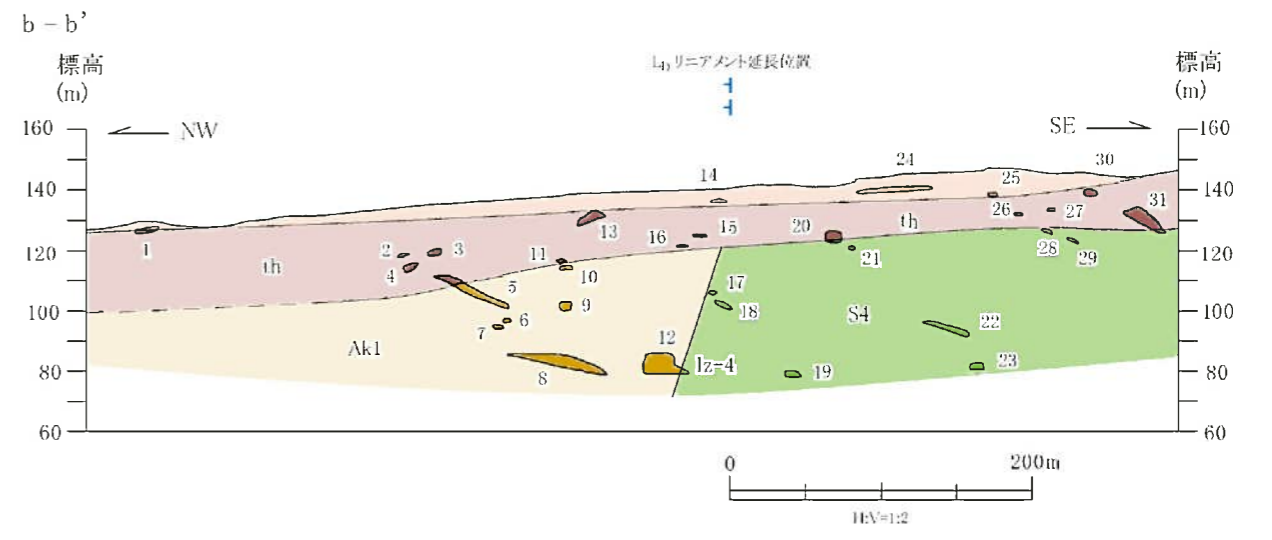
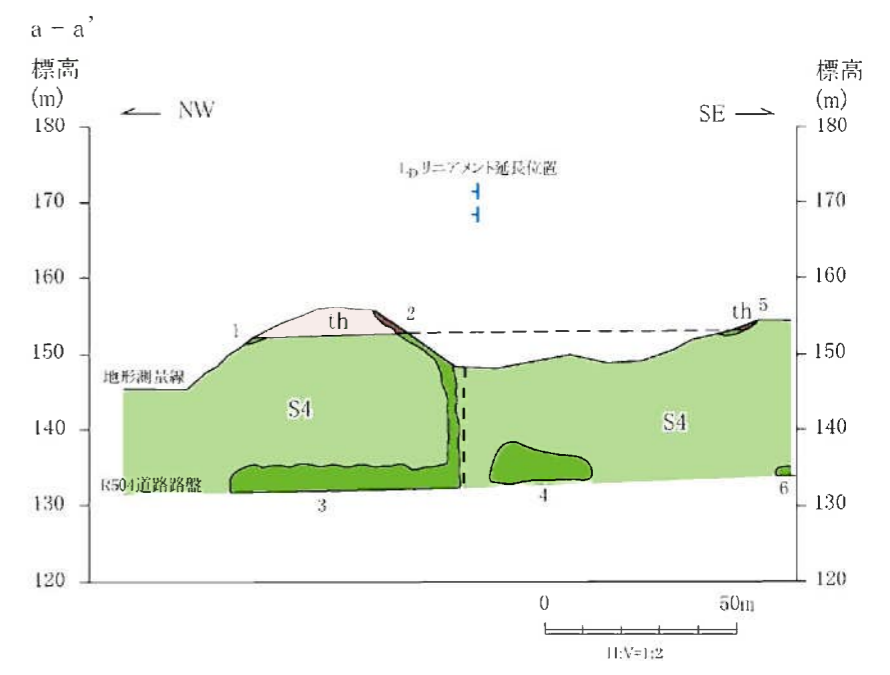
北西側の阿久根1火砕流堆積物と南東側の四万十層群とを境する断層。
 断層面はやや湾曲するものの、幅5mm~3cm程度の軟質粘土が認められる。また、断層面上盤側の角礫破砕部には阿久根1火砕流堆積物の溶結凝灰岩の礫が認められる。

第1.2-105図 露頭スケッチ (Loc.Iz-4, 出水市野田町上特手)

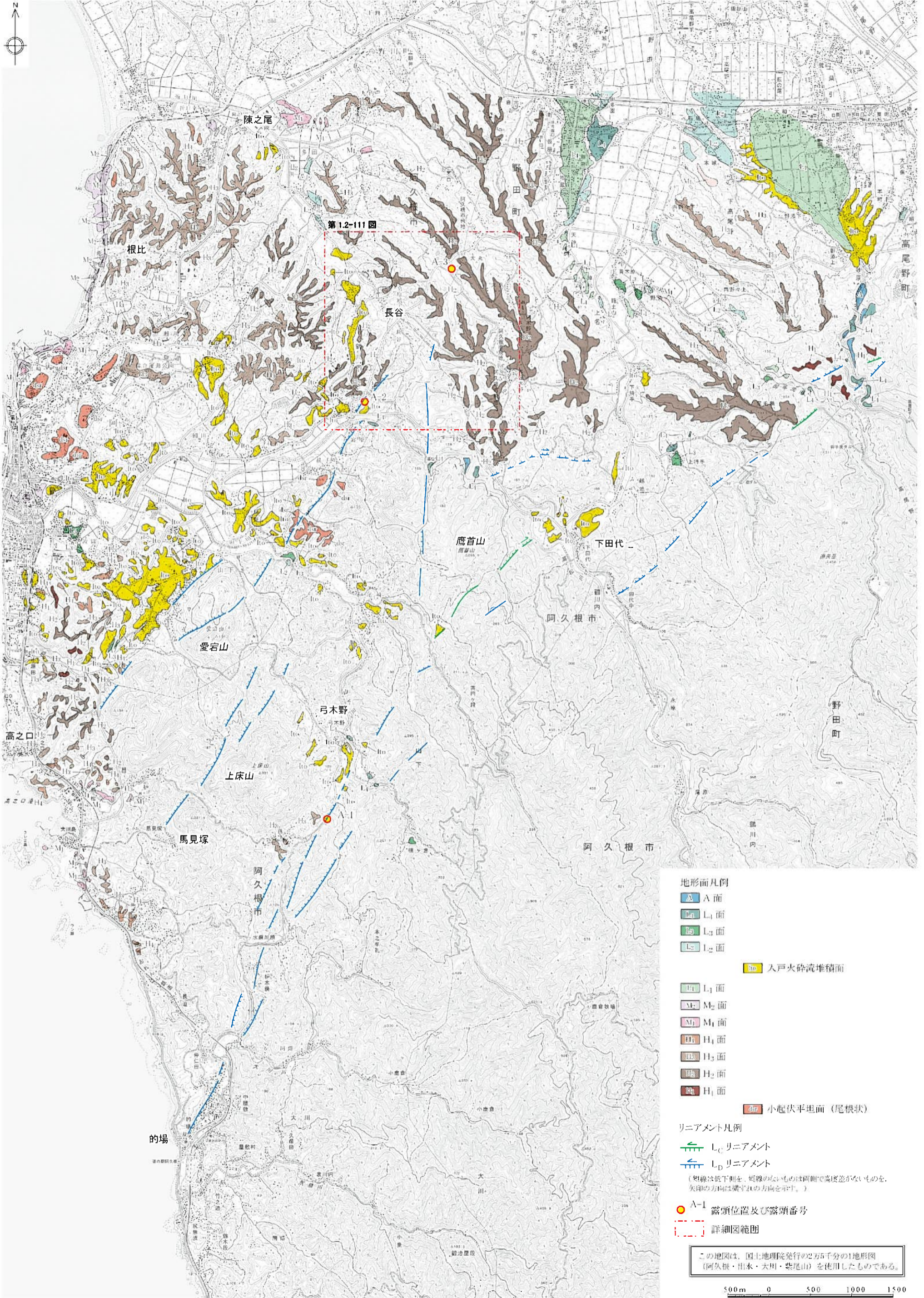


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(出水)を使用したものである。

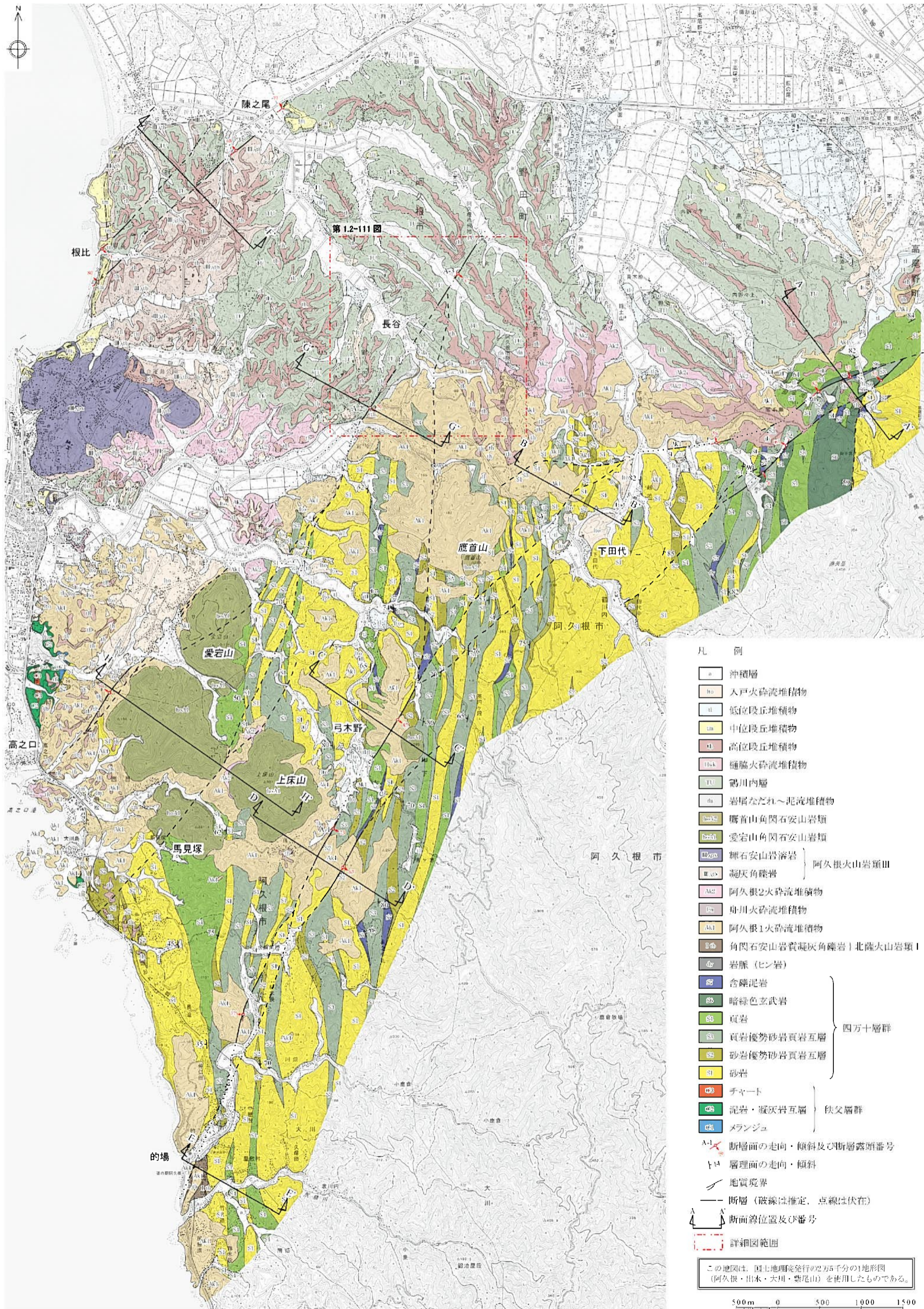
- | | |
|--|--|
| <p>地形面凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> A面 L₁面 L₂面 L₁面 H₃面 H₂面 H₁面 <p>リニアメント凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> L₀リニアメント L₁リニアメント L₂リニアメント <p>(短線は低下側を、長線の長いものは両側で高度差がないものを示す。)</p> | <p>露頭凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 火砕流堆積物 高位段丘堆積物 阿久根1火砕流堆積物 暗緑色玄武岩 頁岩 砂岩 <p>四万十層群</p> <ul style="list-style-type: none"> 断層(推定・伏在を含む) 56 断層面の走向・傾斜 露頭位置及び露頭番号 地形測量線 |
|--|--|



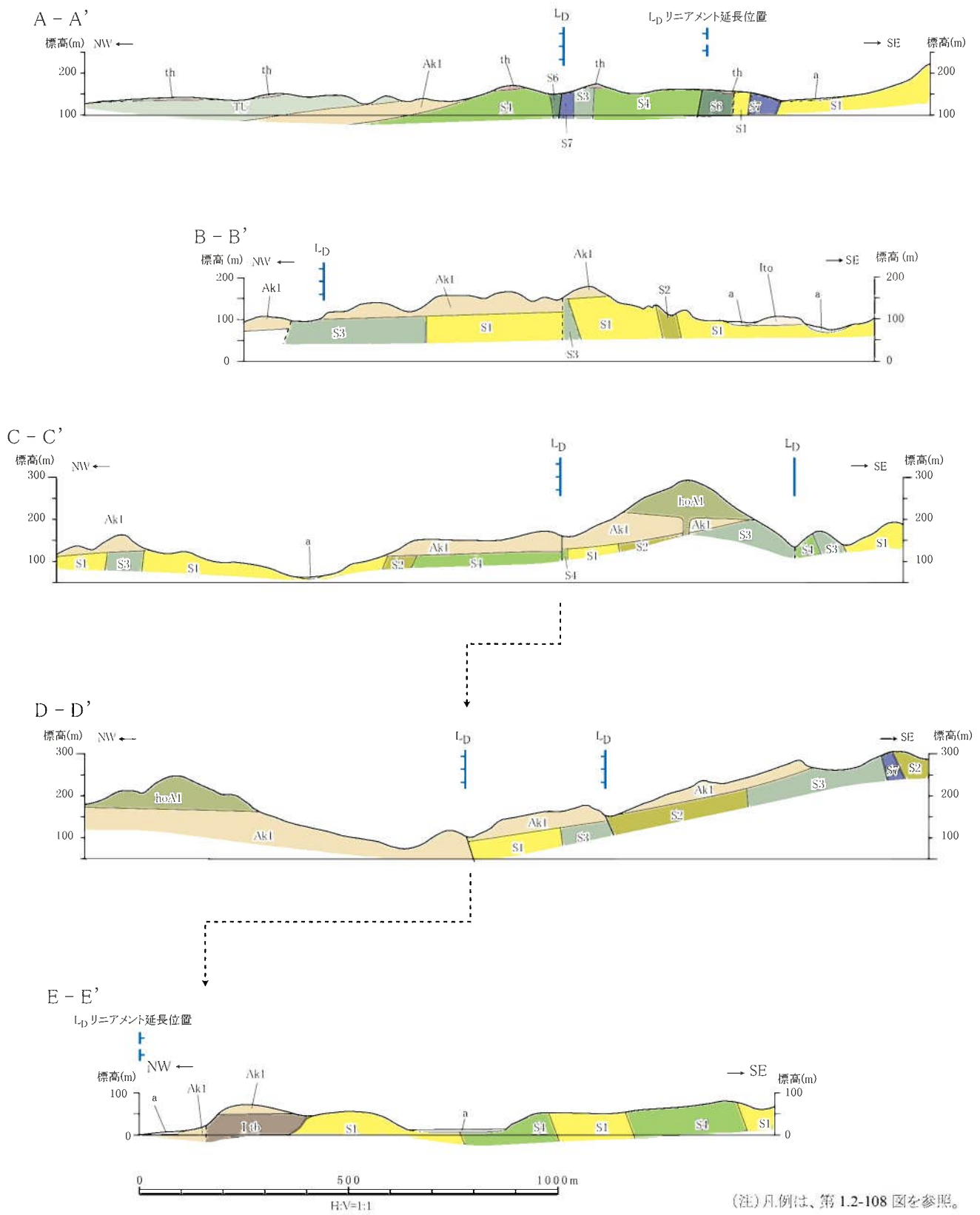
第1.2-106図 ルートマップ及び地形・地質断面図(出水市尾毛無付近)



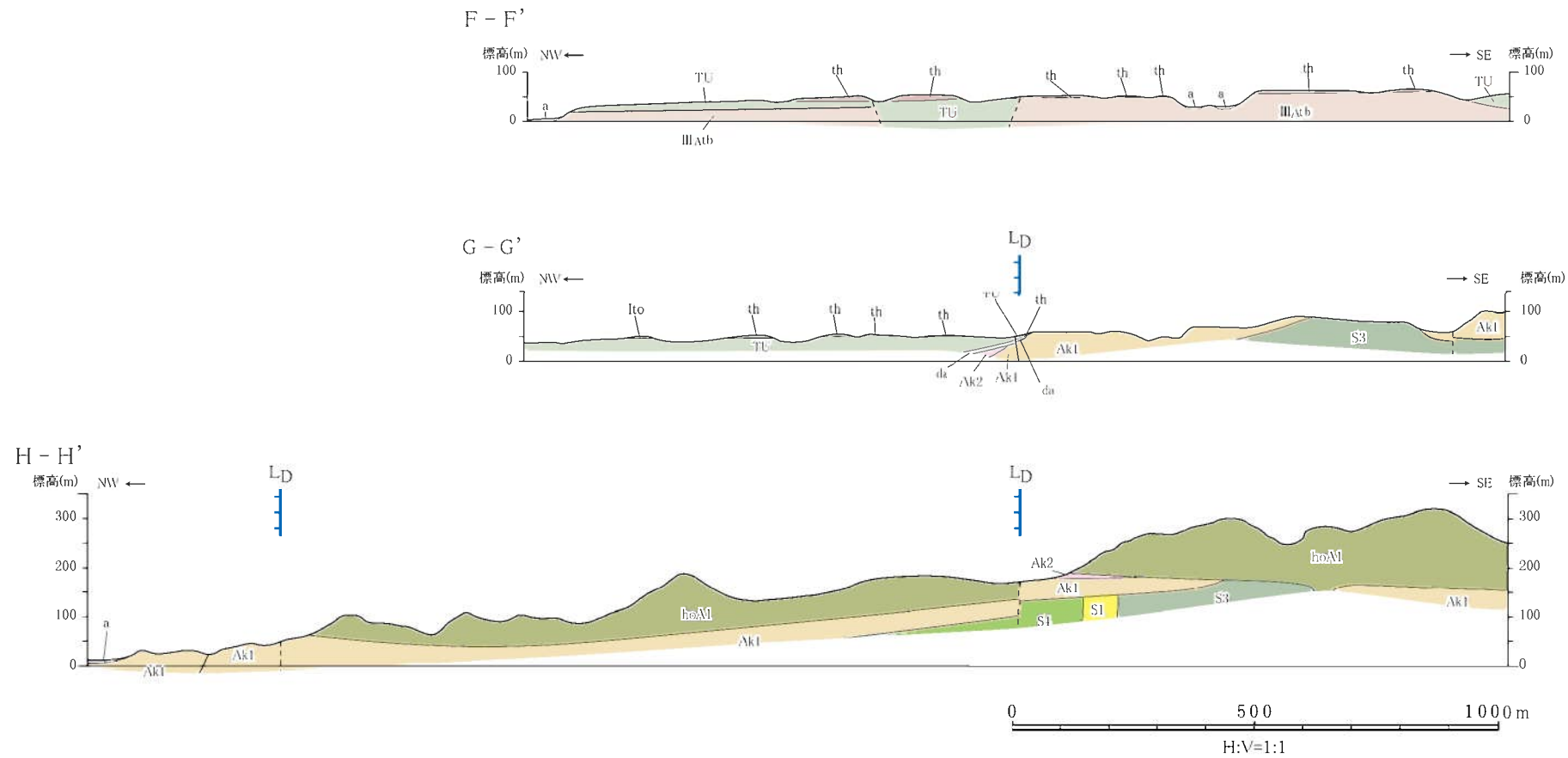
第1.2-107図 阿久根東方リニアメント群周辺の空中写真判読図



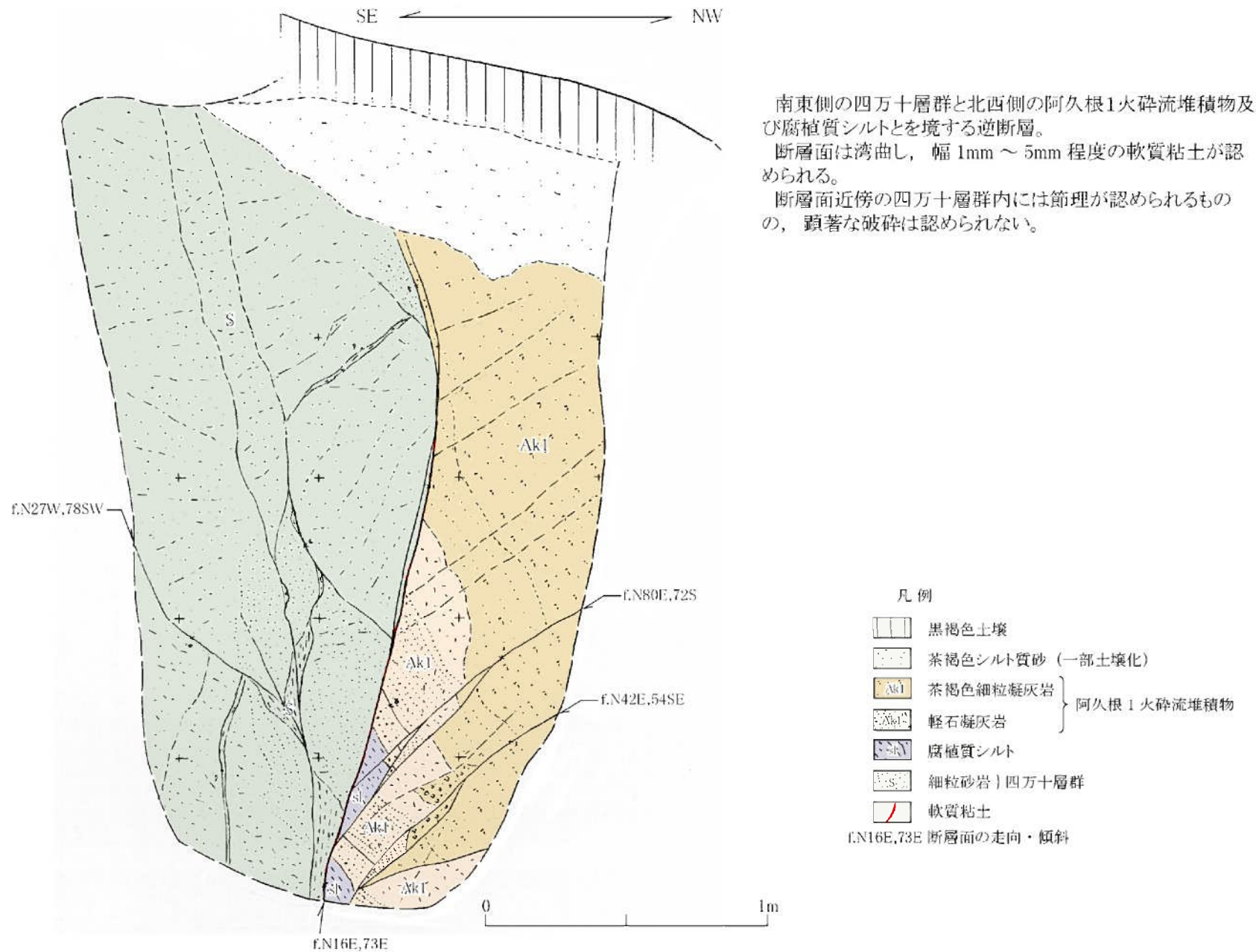
第1.2-108図 阿久根東方リニアメント群周辺の地質図



第1.2-109図(1) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その1)

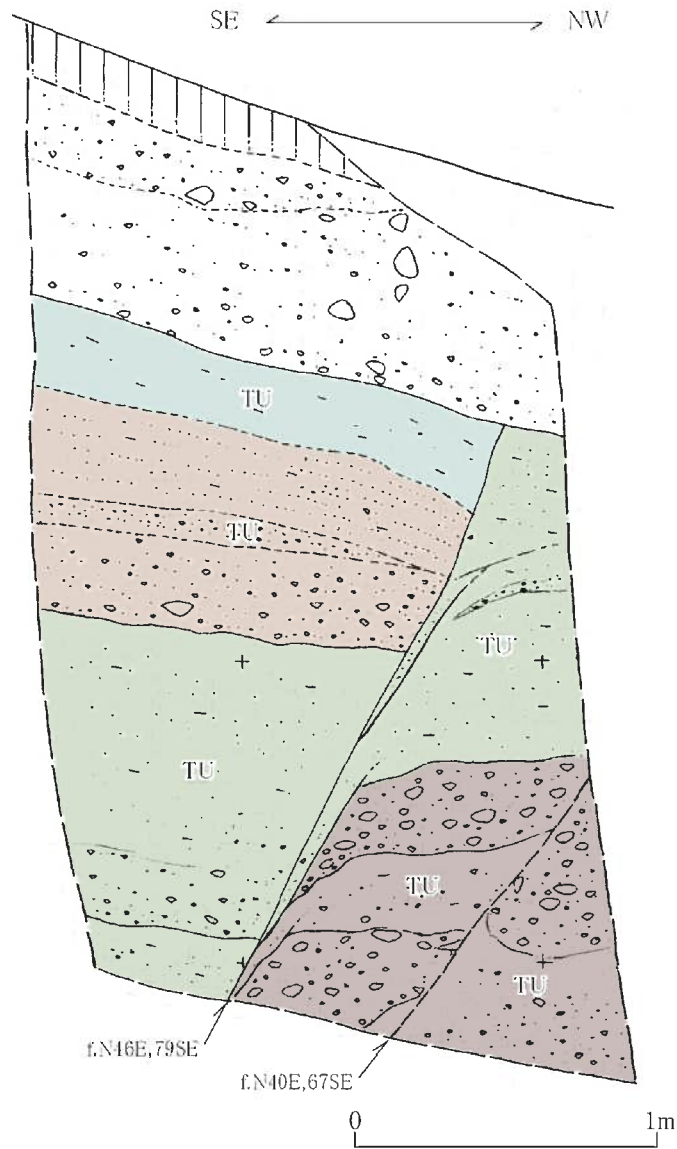


第1.2-109図(2) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その2)









南東側の四万十層群と北西側の阿久根1火砕流堆積物及び腐植質シルトとを境する逆断層。
 断層面は湾曲し、幅 1mm ~ 5mm 程度の軟質粘土が認められる。
 断層面近傍の四万十層群内には節理が認められるものの、顕著な破碎は認められない。

第1.2-110図(1) 露頭スケッチ(Loc.A-1, 阿久根市弓木野南方)



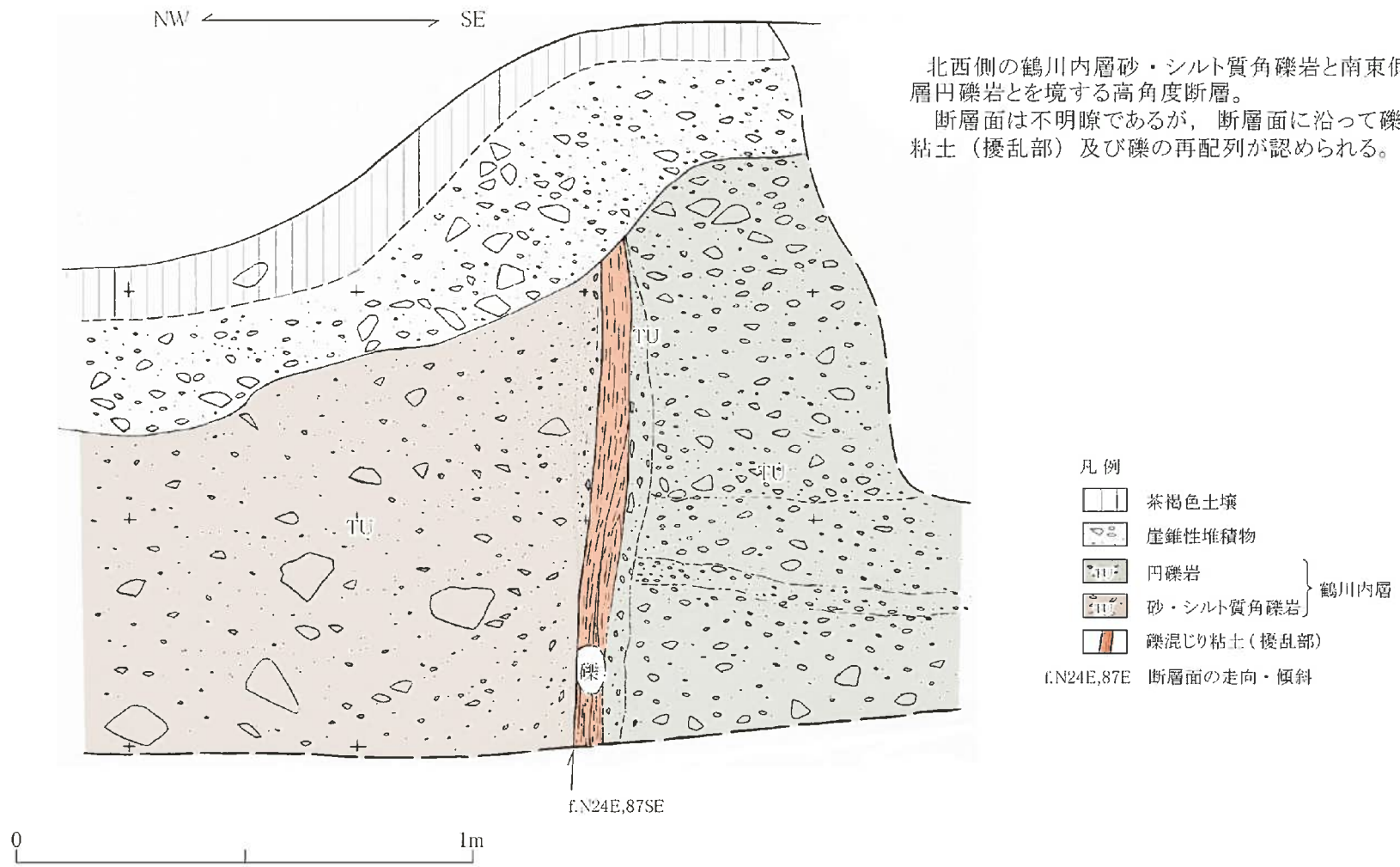
鶴川内層中の正断層。
断層面は平面的であるものの、軟質な破碎部は認められない。

凡例

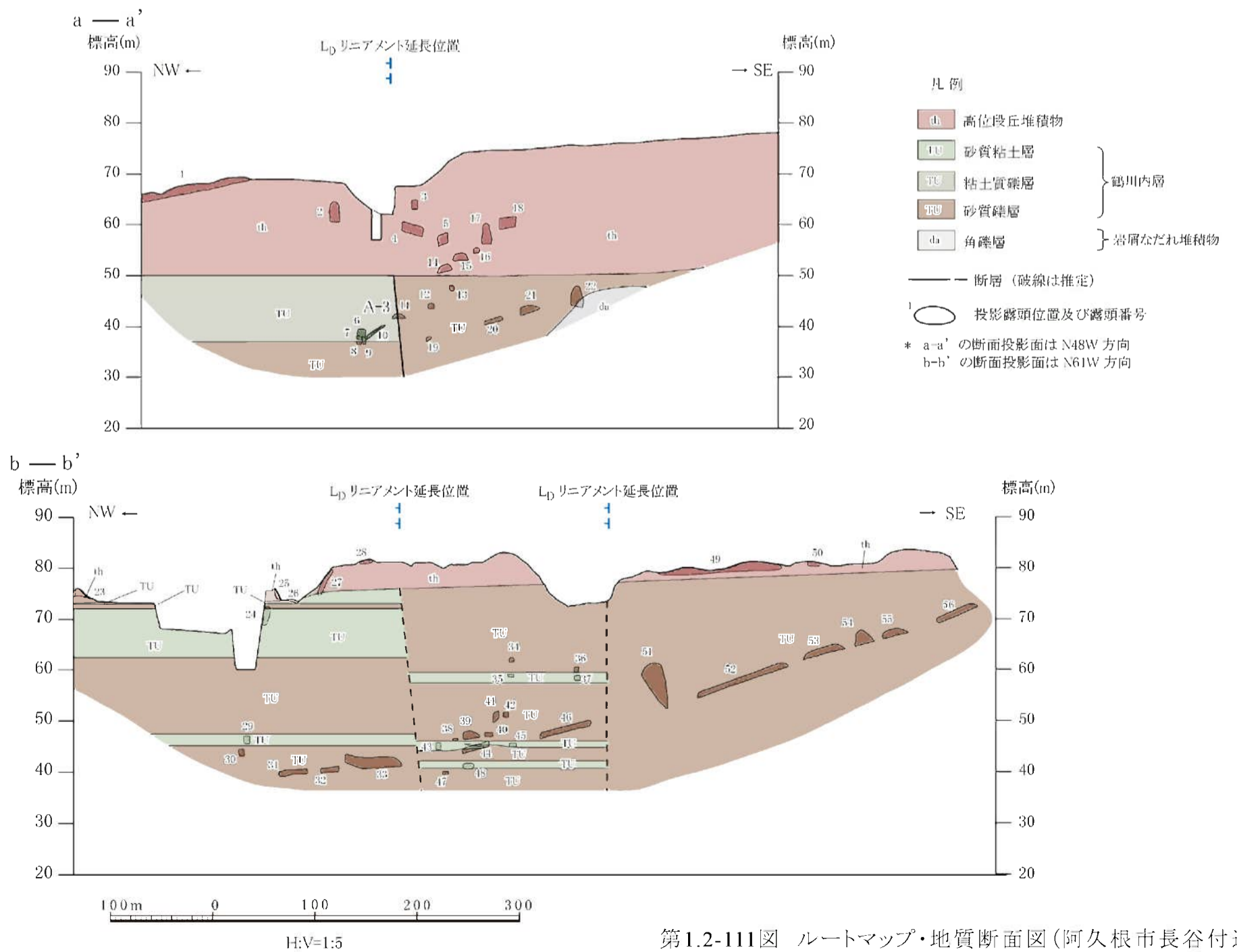
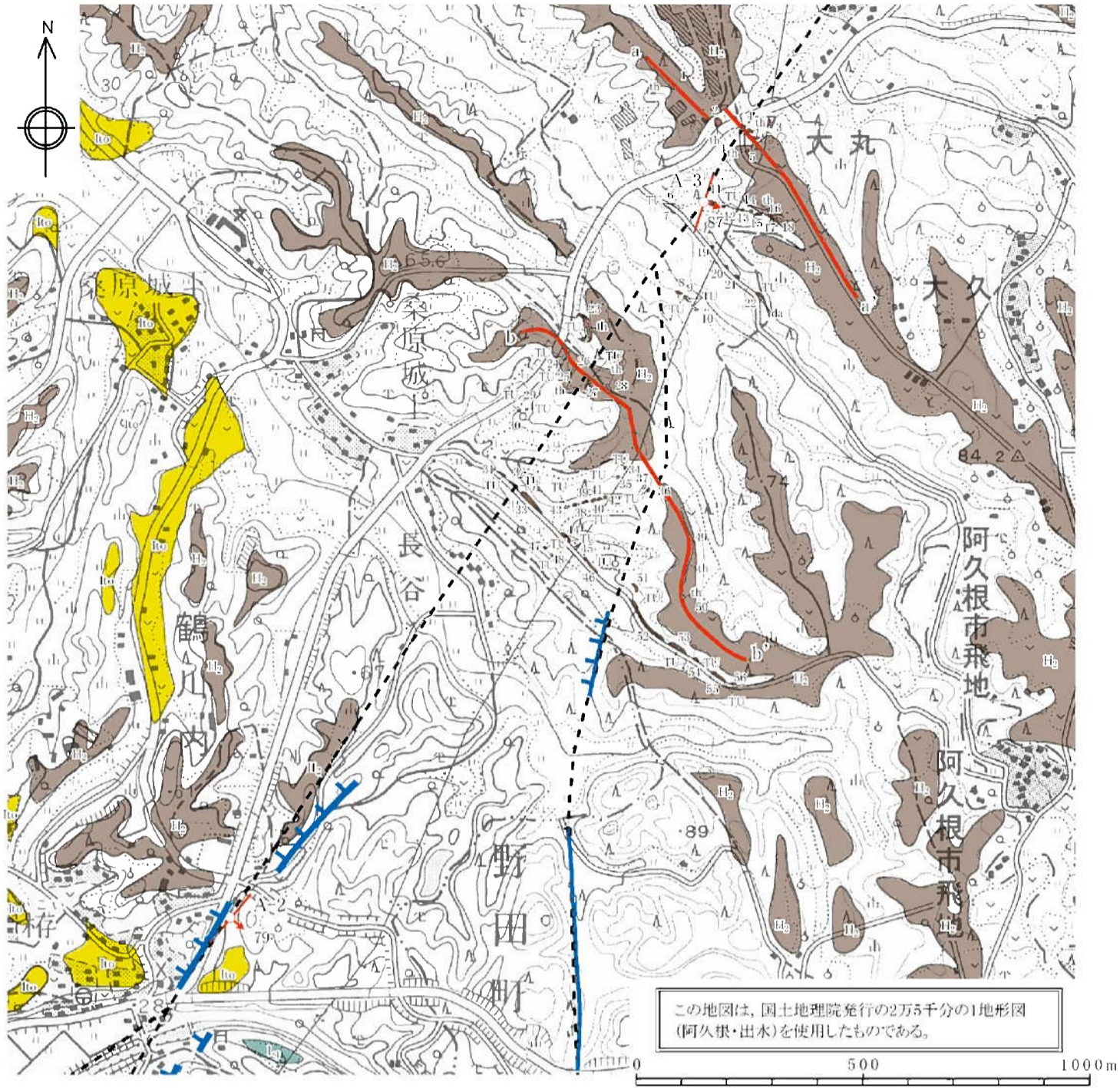
-  黒褐色土壌
 -  ローム質礫層
 -  茶褐色シルト
 -  砂層・細礫層
 -  砂質シルト層
 -  礫層・砂層
- } 鶴川内層

f.N46E,79SE 断層面の走向・傾斜

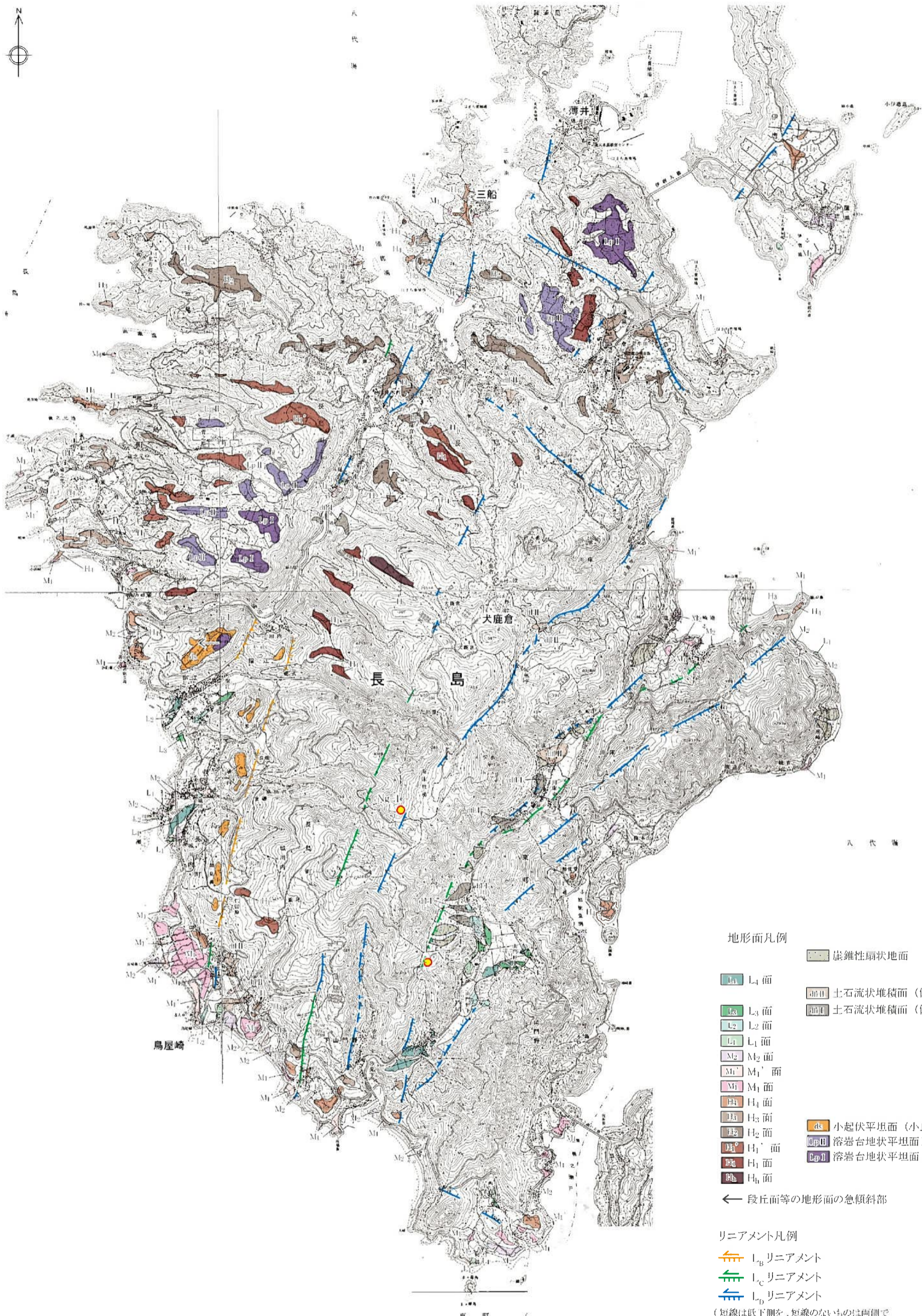
第1.2-110図(2) 露頭スケッチ (Loc.A-2, 阿久根市柵)



第1.2-110図(3) 露頭スケッチ (Loc.A-3, 出水市大丸)



第1.2-111図 ルートマップ・地質断面図(阿久根市長谷付近)



地形面凡例

- 崖錐性扇状地面
 - L₄ 面
 - L₃ 面
 - L₂ 面
 - L₁ 面
 - M₂ 面
 - M₁' 面
 - M₁ 面
 - H₃ 面
 - H₂ 面
 - H₁' 面
 - H₁ 面
 - H₀ 面
 - 土石流状堆積面 (低位II面)
 - 土石流状堆積面 (低位I面)
 - 小起伏平坦面 (小丘状)
 - 溶岩台地状平坦面II
 - 溶岩台地状平坦面I
- ← 段丘面等の地形面の急傾斜部

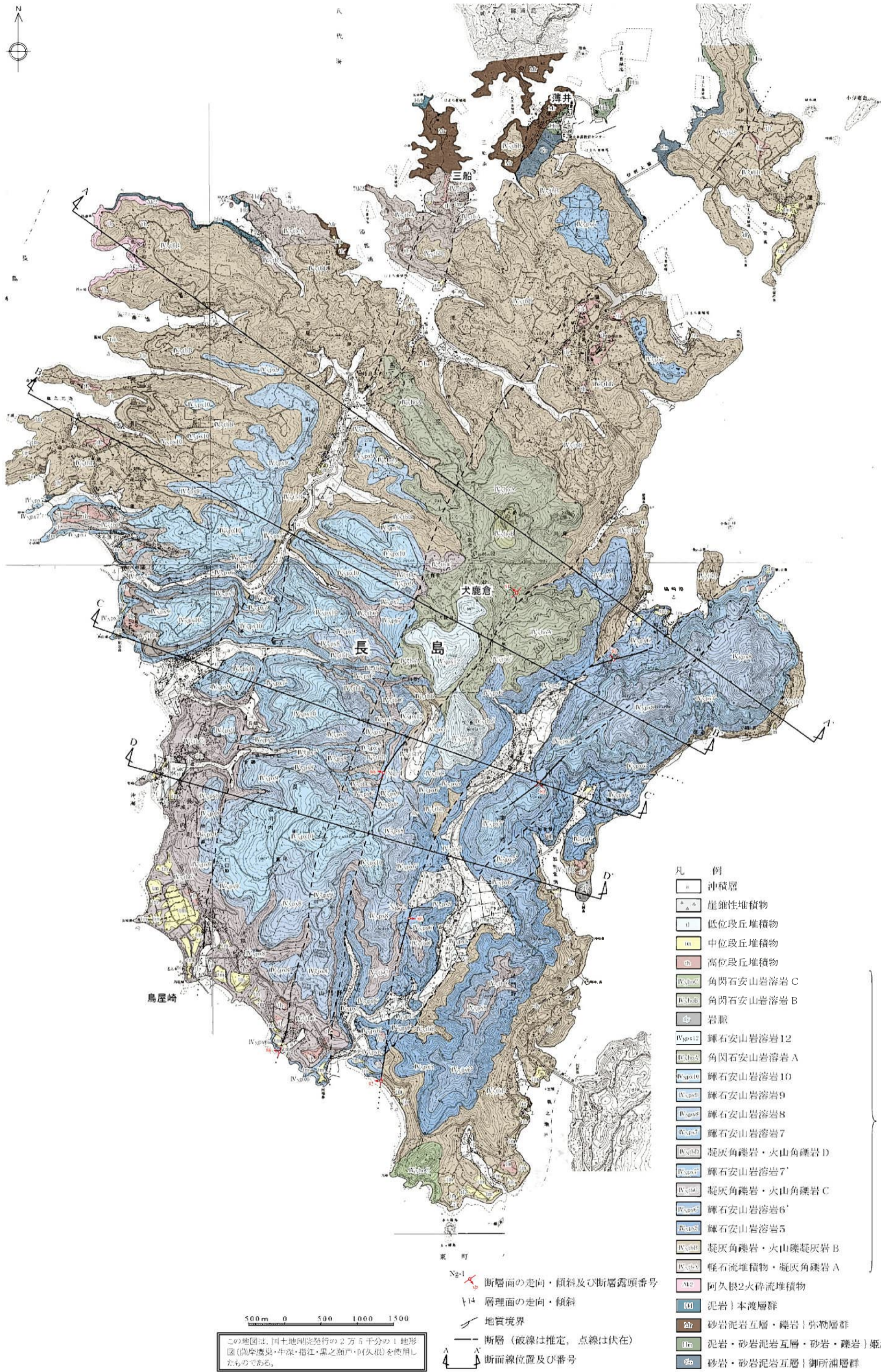
リニアメント凡例

- L_b リニアメント
 - L_c リニアメント
 - L_d リニアメント
- (短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを、矢印は横ずれの方向を示す。)
- Ng-1 露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(露頭番号・牛深・指江・黒之瀬戸・阿久野)を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第1.2-112図 長島西断層・長島断層群周辺の空中写真判読図



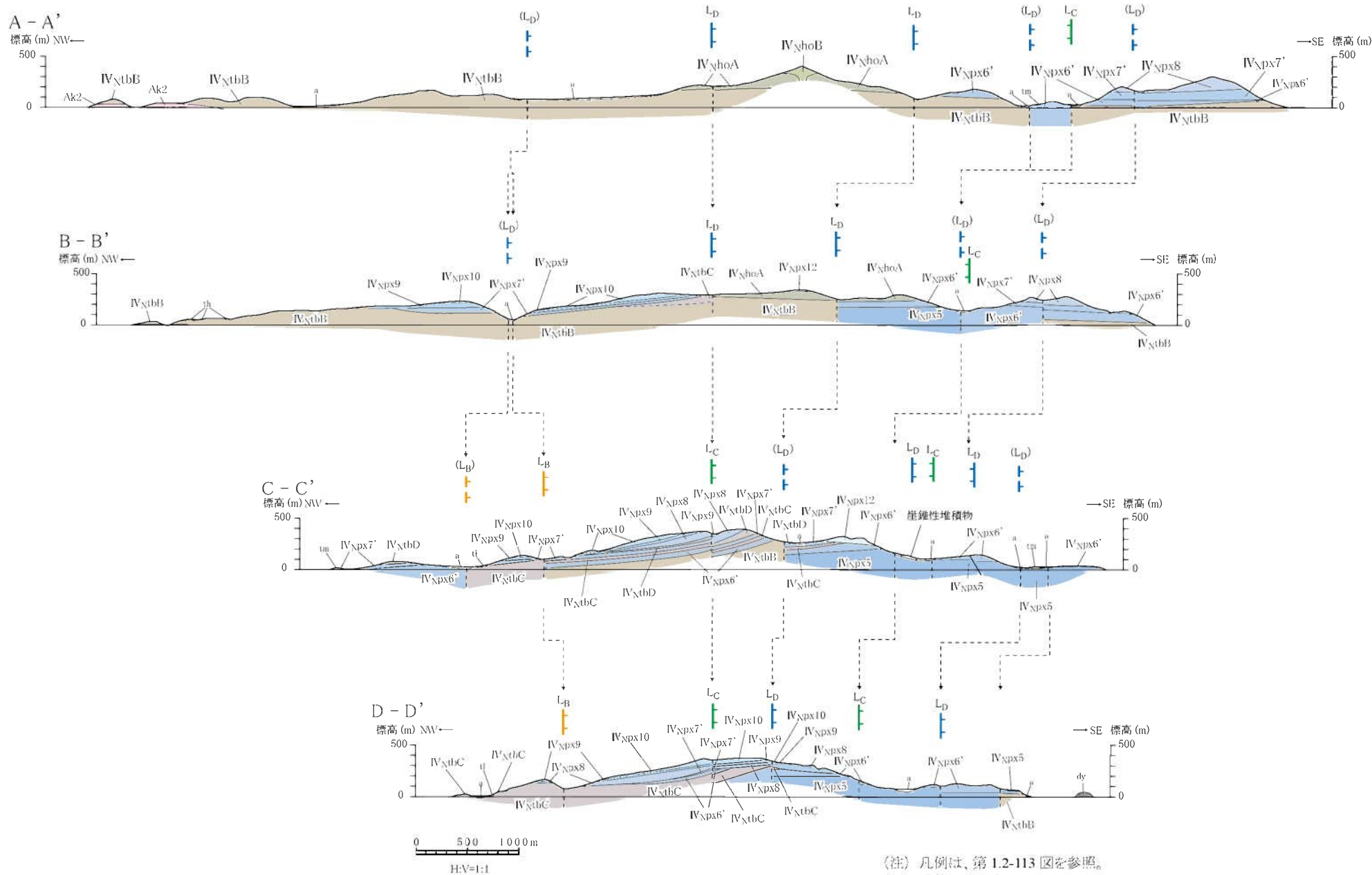
- | 凡 | 例 |
|----------|------------------------|
| [Symbol] | 沖積層 |
| [Symbol] | 崖錐性堆積物 |
| [Symbol] | 低位段丘堆積物 |
| [Symbol] | 中位段丘堆積物 |
| [Symbol] | 高位段丘堆積物 |
| [Symbol] | 角閃石安山岩溶岩 C |
| [Symbol] | 角閃石安山岩溶岩 B |
| [Symbol] | 岩脈 |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 12 |
| [Symbol] | 角閃石安山岩溶岩 A |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 10 |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 9 |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 8 |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 7 |
| [Symbol] | 凝灰角礫岩・火山角礫岩 D |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 7' |
| [Symbol] | 凝灰角礫岩・火山角礫岩 C |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 6' |
| [Symbol] | 輝石安山岩溶岩 5 |
| [Symbol] | 凝灰角礫岩・火山凝灰岩 B |
| [Symbol] | 軽石流堆積物・凝灰角礫岩 A |
| [Symbol] | 阿久根2火砕流堆積物 |
| [Symbol] | 泥岩 本渡層群 |
| [Symbol] | 砂岩泥岩互層・礫岩 弥物層群 |
| [Symbol] | 泥岩・砂岩泥岩互層・砂岩・礫岩 姫浦層群 |
| [Symbol] | 砂岩・砂岩泥岩互層 御所浦層群 |
- 長島
火山岩類IV

- Ng-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断面線位置及び番号

500m 0 500 1000 1500

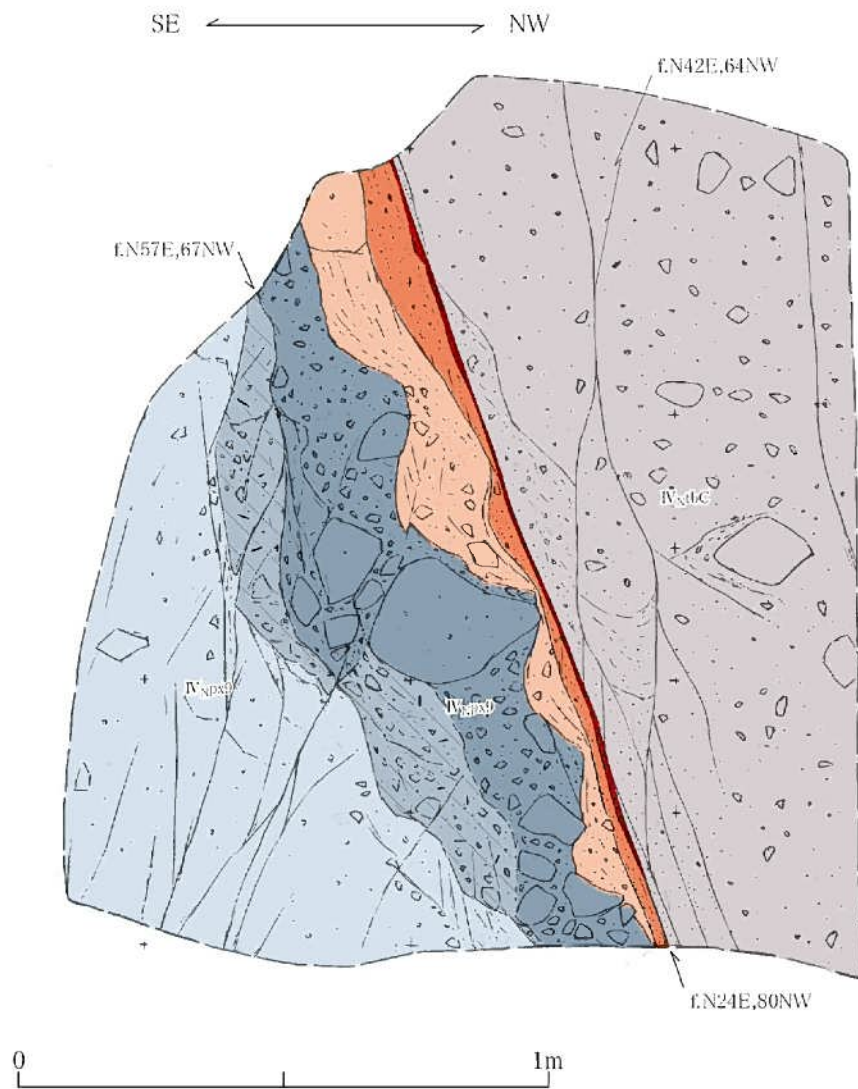
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(阿久根・豊泉・牛深・指江・黒之瀬戸・阿久根)を使用したものである。

第1.2-113図 長島西断層・長島断層群周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-113 図を参照。
 (注) 破線で示す () 付きの L_D などは、リアメントの延長位置を示す。

第1.2-114図 長島西断層・長島断層群周辺の地質断面図



南東側の輝石安山岩溶岩9(長島火山岩類IV)と北西側の凝灰角礫岩C(同火山岩類)とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり、幅5mm~1cm程度の軟質粘土が認められる。

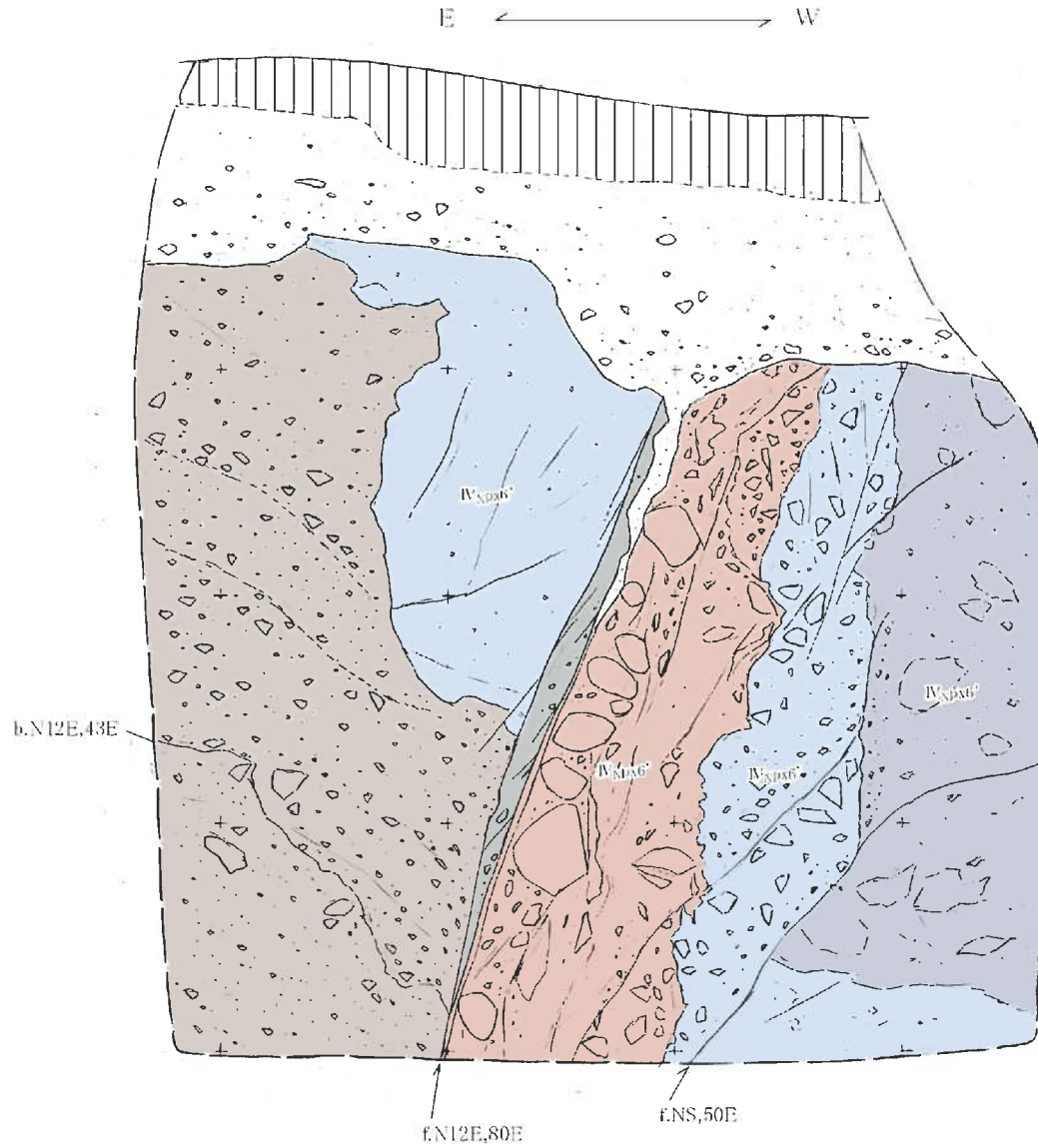
凡例

- | | | | |
|--|--------------|------------|------------|
| | 輝石安山岩溶岩 | } 輝石安山岩溶岩9 | } 長島火山岩類IV |
| | 輝石安山岩溶岩節理破碎部 | | |
| | 輝石安山岩溶岩角礫破碎部 | | |
| | 凝灰角礫岩C | | |
| | 赤褐色細角礫破碎部 | | |
| | 角礫粘土質砂状破碎部 | | |
| | 軟質粘土 | | |

f.N24E,80NW 断層面の走向・傾斜








第1.2-115図(1) 露头スケッチ(Loc.Ng-1, 長島町毎床牧場)

1.2-580



輝石安山岩溶岩6' (長島火山岩類IV)中の高角度断層。
断層面は明瞭であるものの、湾曲しており、癒着している。断層面近傍には節理がみられるものの、軟質な破砕部は認められず、固結している。

凡例

-  黒色土壌
-  礫混じり茶褐色土壌
-  赤紫色変質溶岩
-  角礫状溶岩
-  赤褐色変質溶岩
-  火山礫凝灰岩
-  角礫破砕部

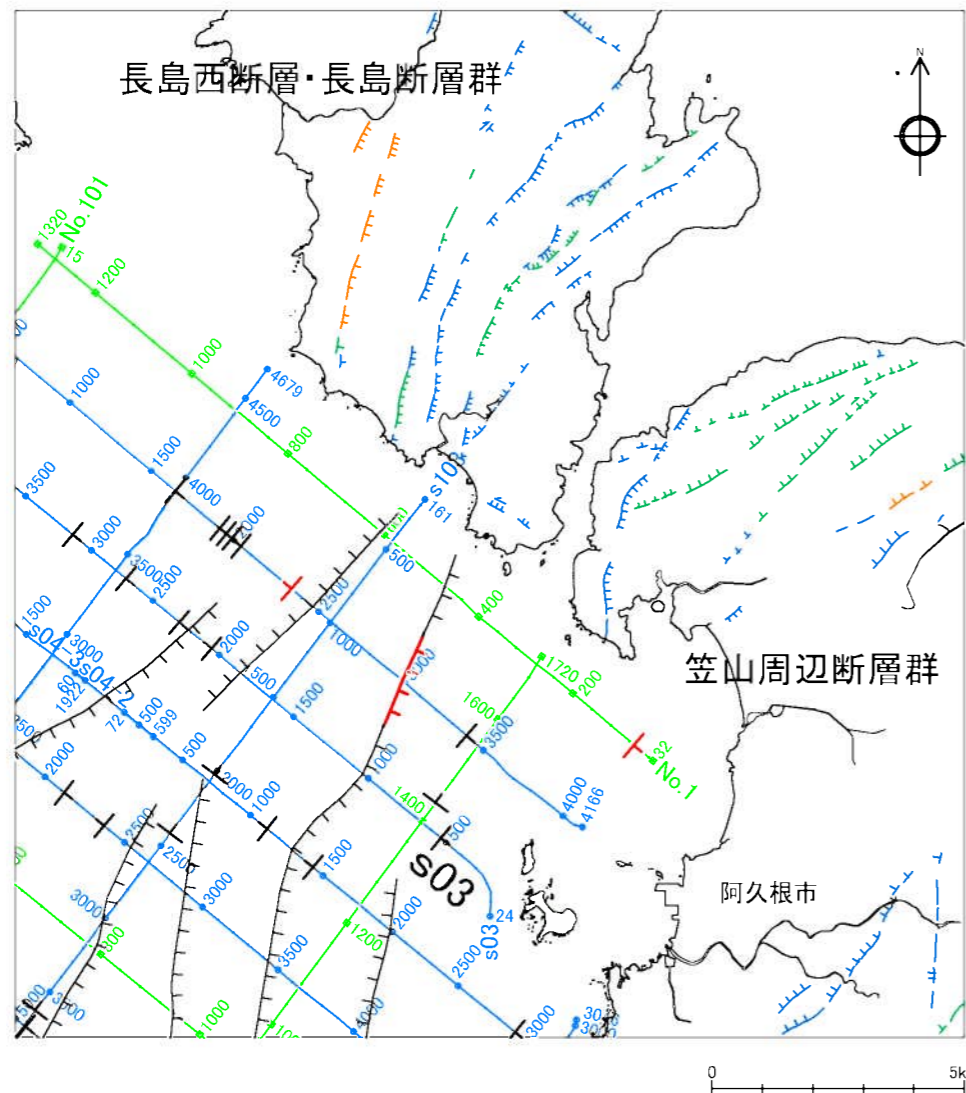
輝石安山岩溶岩6' } 長島火山岩類IV

f.N12E,80E 断層面の走向・傾斜

b.N12E,43E 層理面の走向・傾斜

0 1m

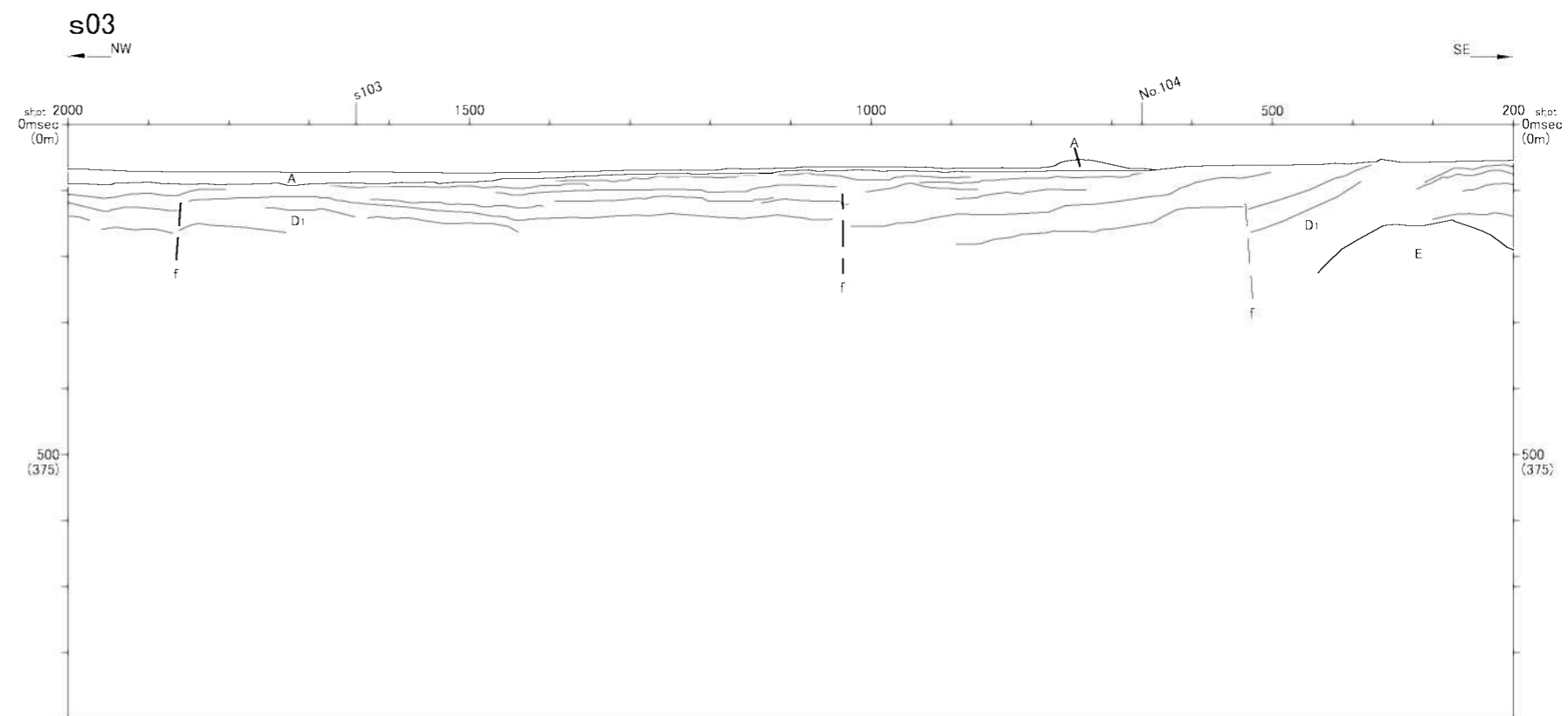
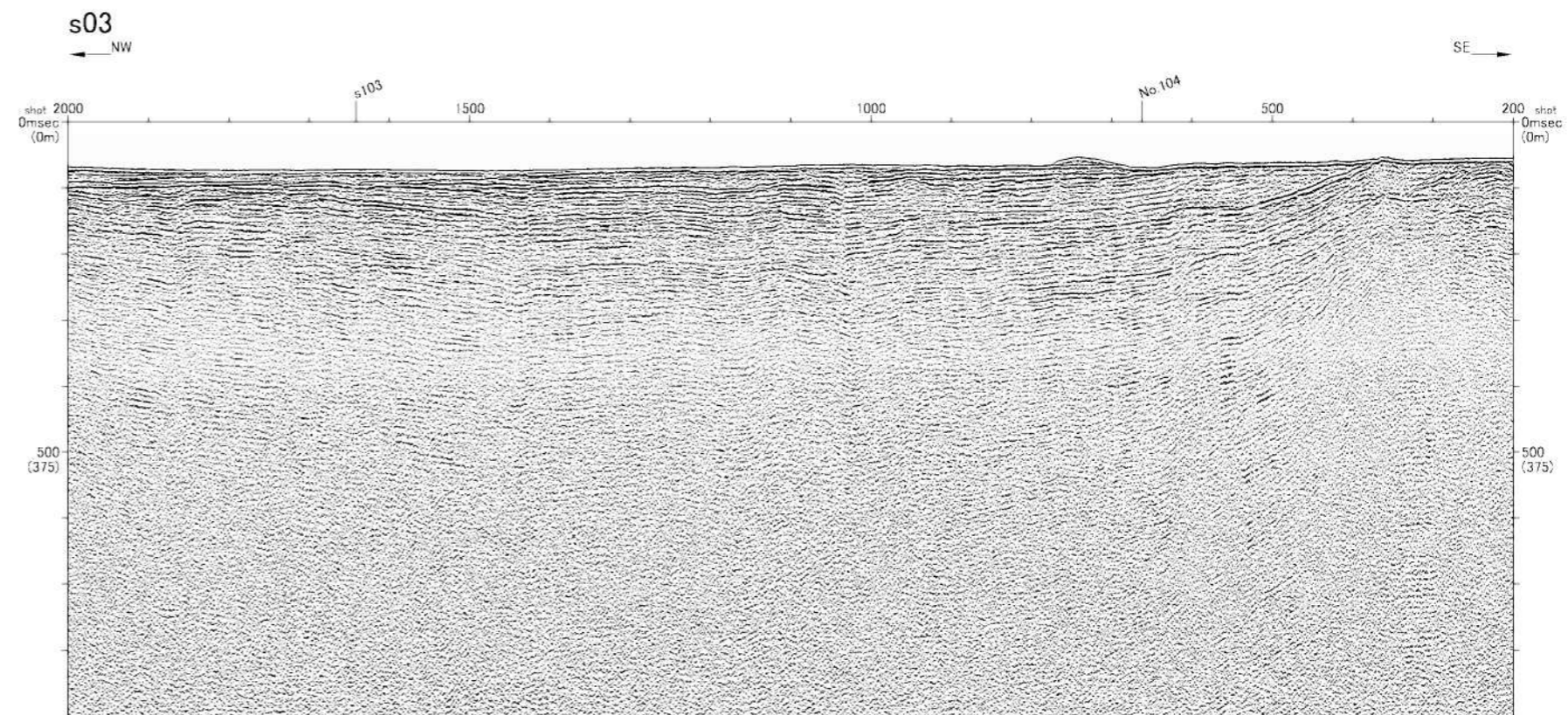
第1.2-115図(2) 露頭スケッチ(Loc.Ng-2, 長島町山門野下)



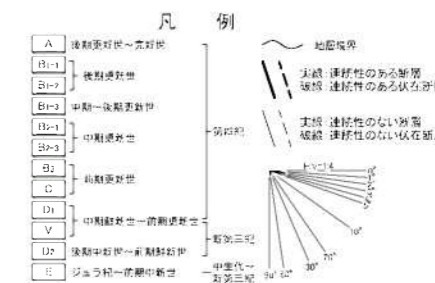
長島西断層・長島断層、笠山周辺断層位置図

凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スーパーカ)
- LBリニアメント
- LCリニアメント
- LDリニアメント

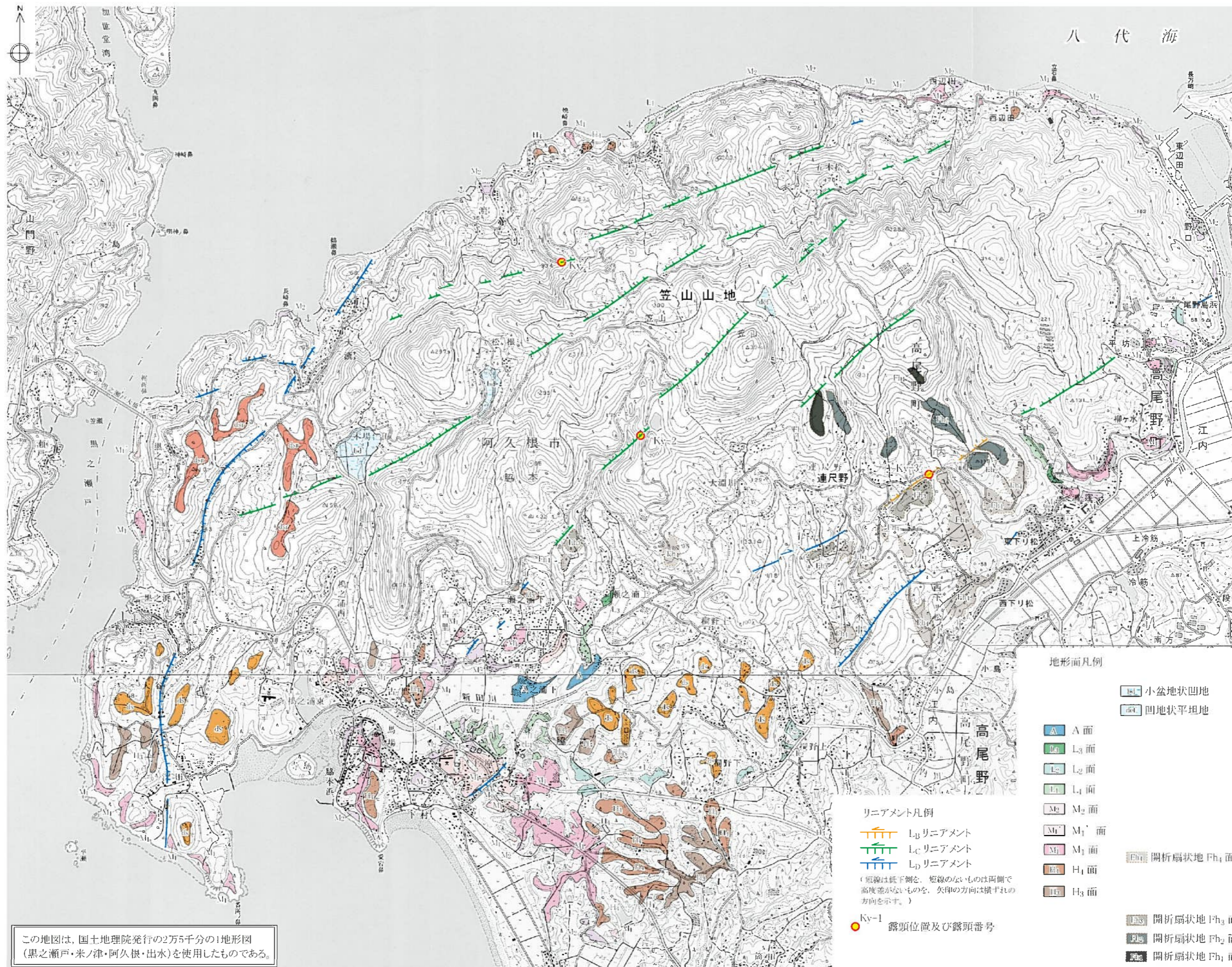


音波探査記録断面図

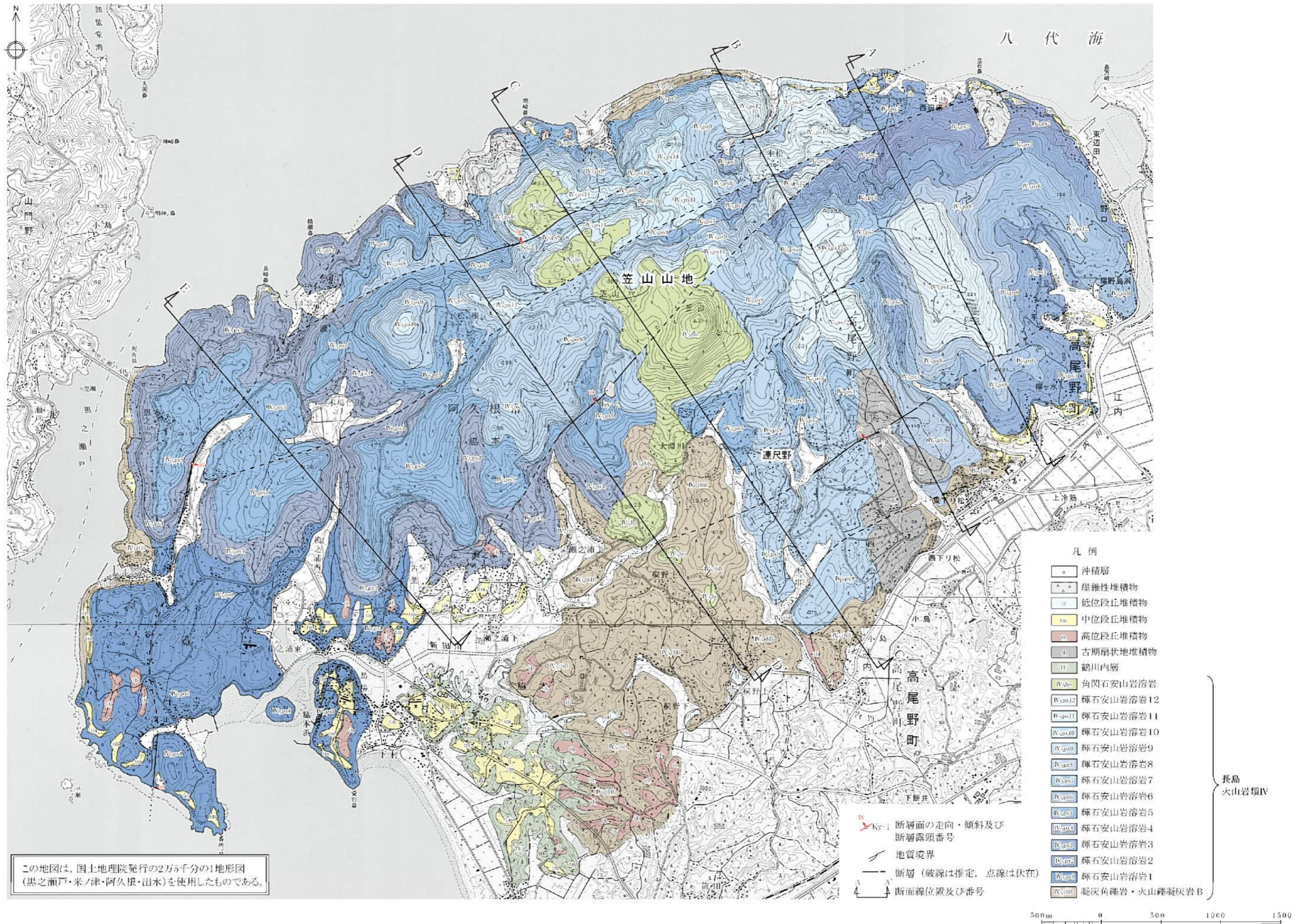


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

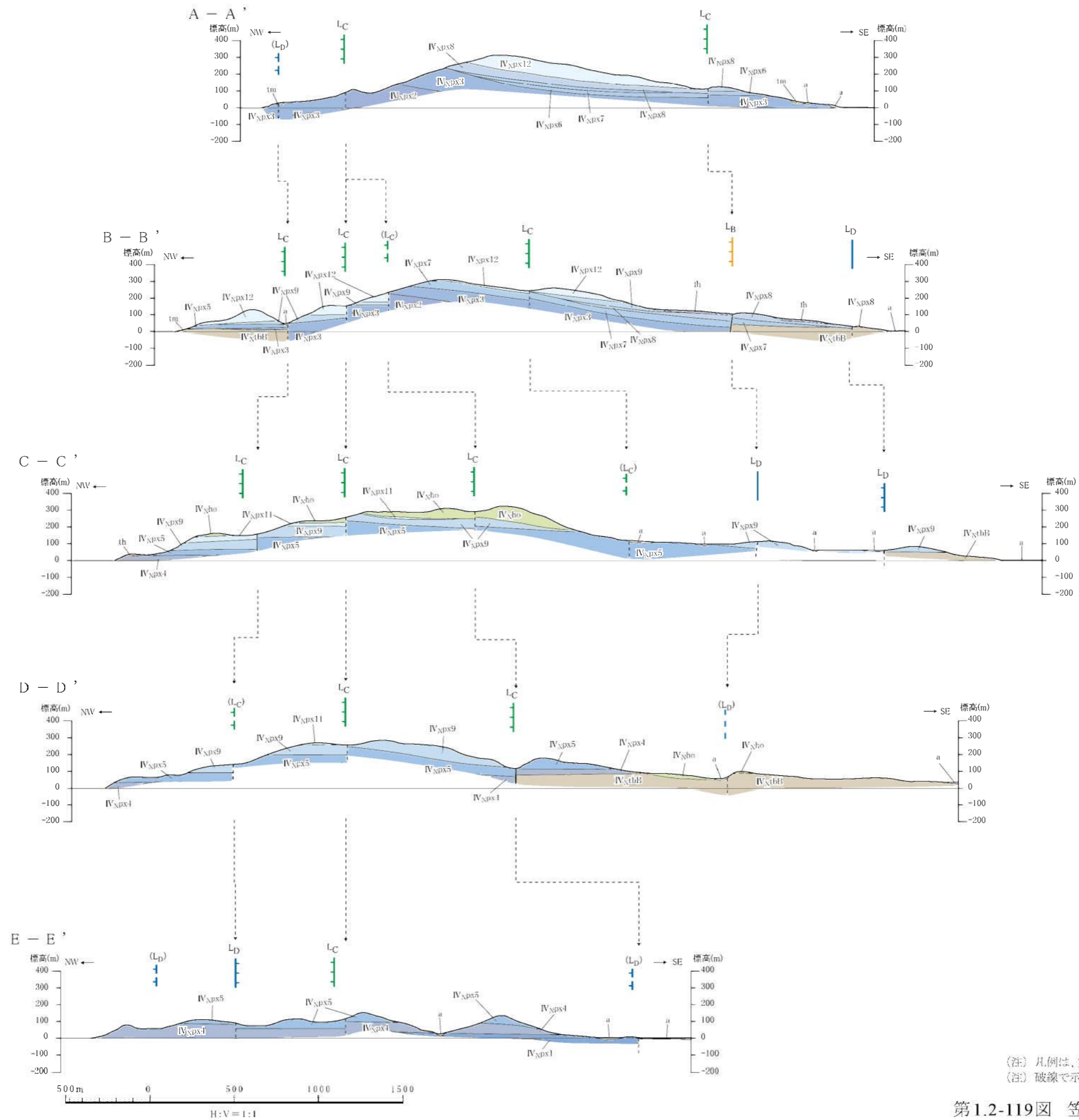
第1.2-116図 長島西断層・長島断層群、笠山周辺断層群海域延長部(s03測線)



第1.2-117図 笠山周辺断層群周辺の空中写真判読図

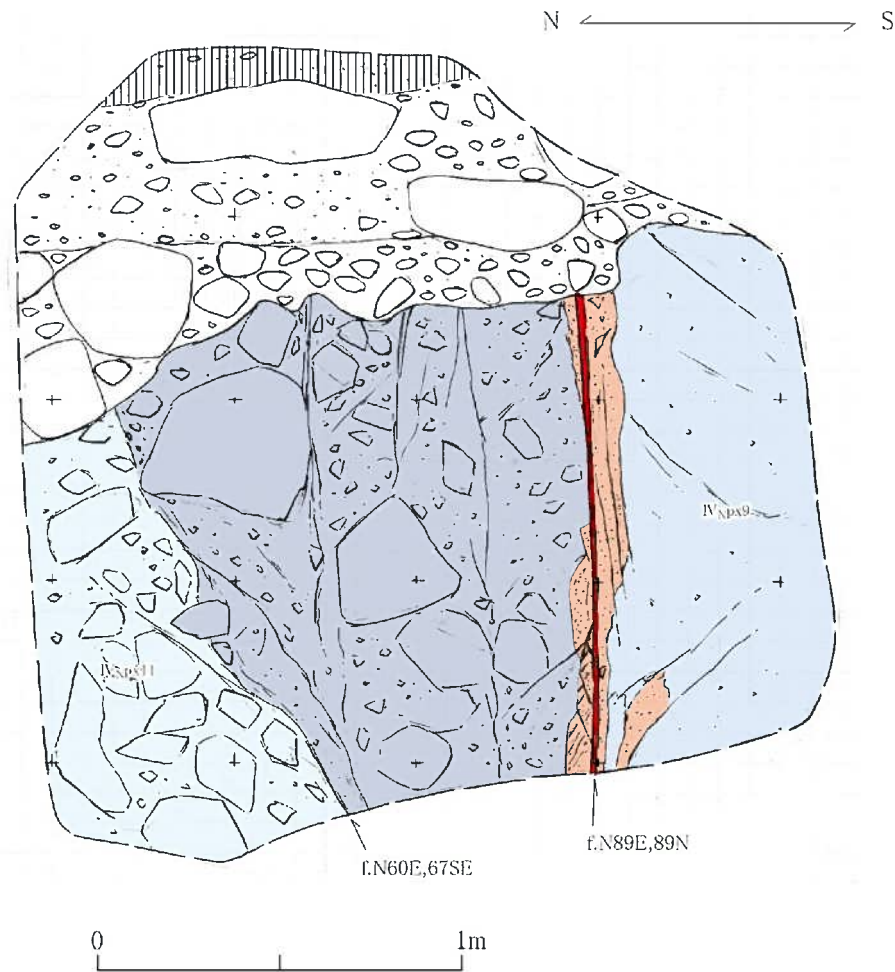


第1.2-118図 笠山周辺断層群周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-118 図を参照。
 (注) 破線で示す()付きの LD などは、リニアメントの延長位置を示す。

第 1.2-119 図 笠山周辺断層群周辺の地質断面図



北側の輝石安山岩溶岩11(長島火山岩類IV)と南側の輝石安山岩溶岩9(同火山岩類)とを境する高角度断層。
断層面は平面的であり、5mm~1cm程度の軟質粘土が認められ、断層面上には鉛直方向の条線が明瞭である。

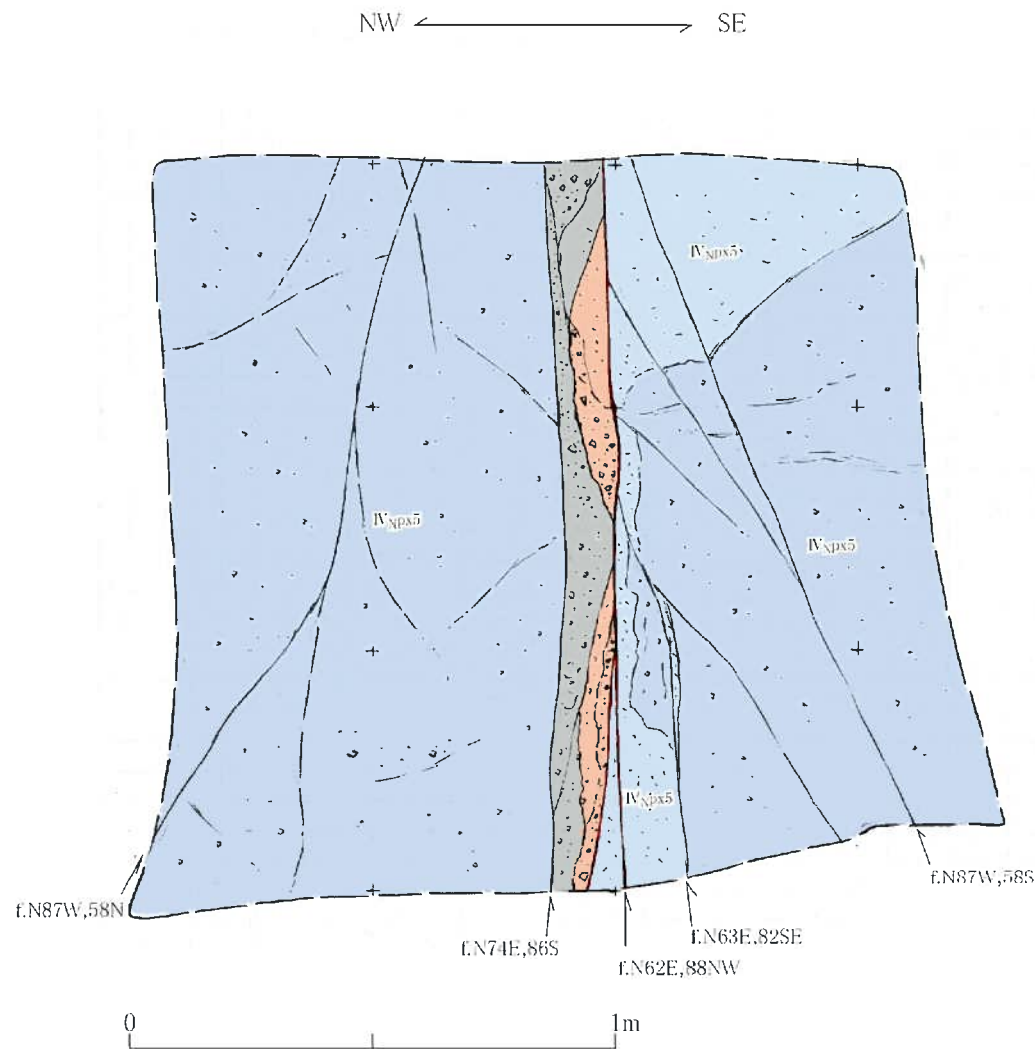
凡例

- 礫混じり茶褐色土壌
- 角礫層
- 自破砕溶岩 } 輝石安山岩溶岩11
- 溶岩弱変質部
- 塊状溶岩 } 輝石安山岩溶岩9
- 含細角礫粘土質砂状破碎部
- 軟質粘土

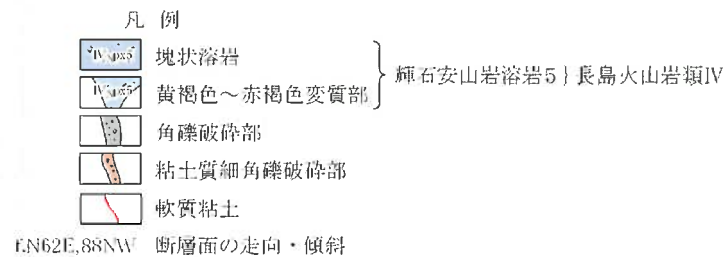
長島火山岩類IV

f.N89E,89N 断層面の走向・傾斜

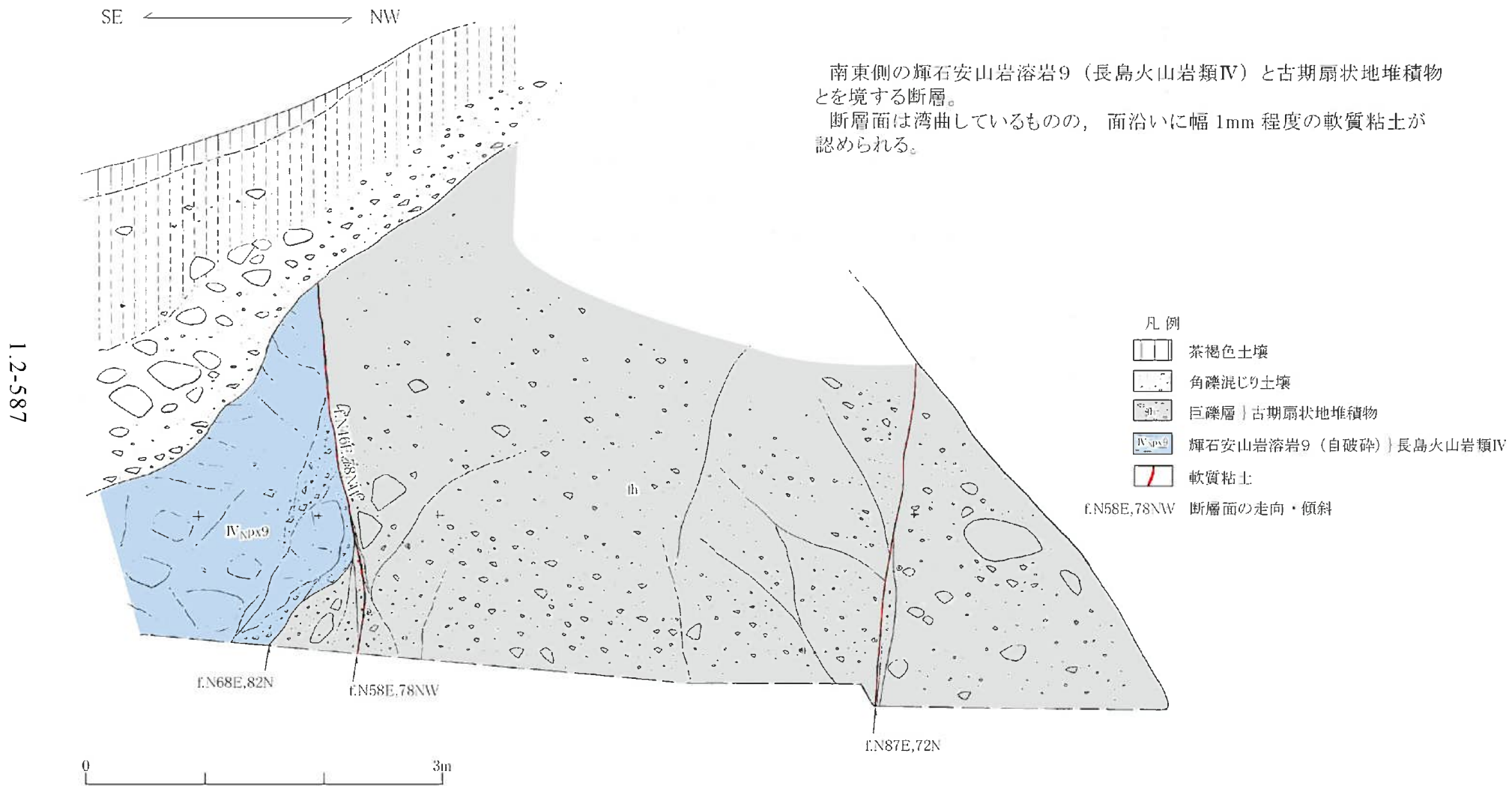
第1.2-120図(1) 露頭スケッチ(Loc.Ky-1, 阿久根市笠山北西)



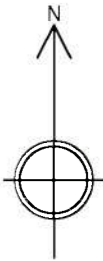
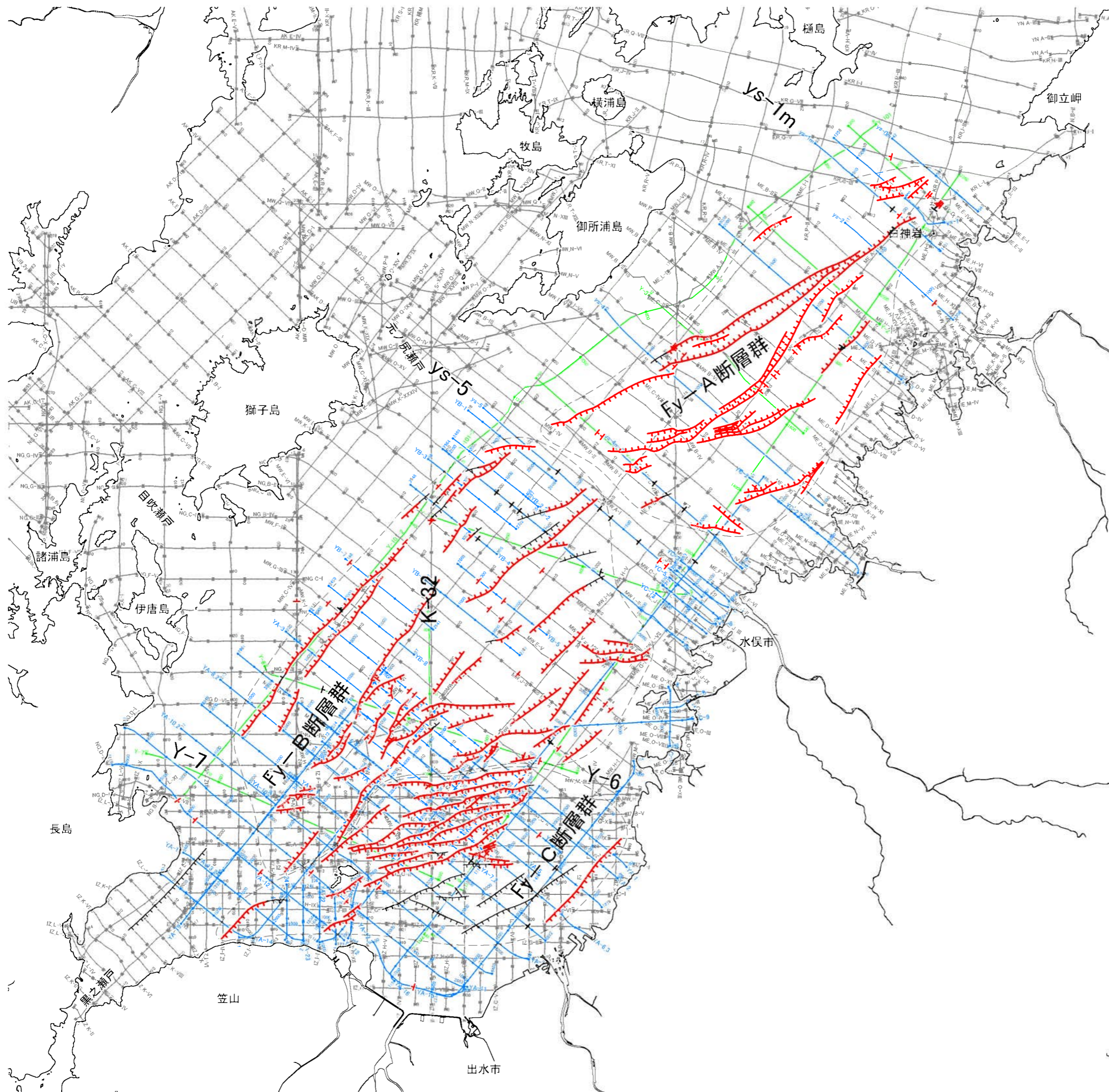
輝石安山岩溶岩5(長島火山岩類IV)中の高角度断層。
断層面は平面的であり、幅1mm程度の軟質粘土が認められる。



第1.2-120図(2) 露頭スケッチ (Loc.Ky-2, 阿久根市笠山南方)



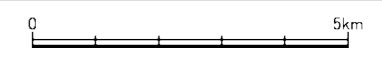
第1.2-120図(3) 露头スケッチ (Loc.Ky-3, 出水市連尺野)



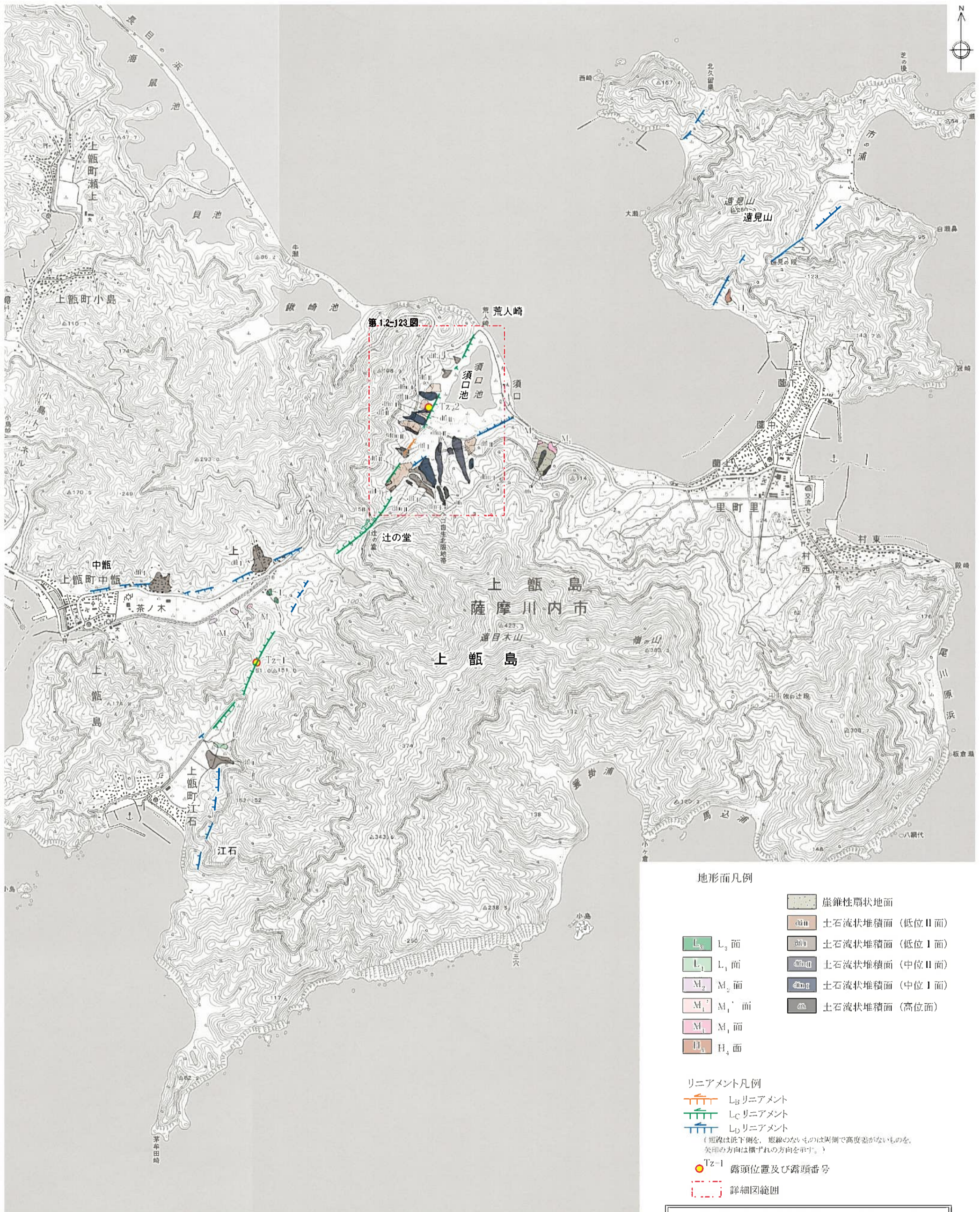
凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G I ガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン, スパーカ)
- 国土地理院による音波探査測線

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

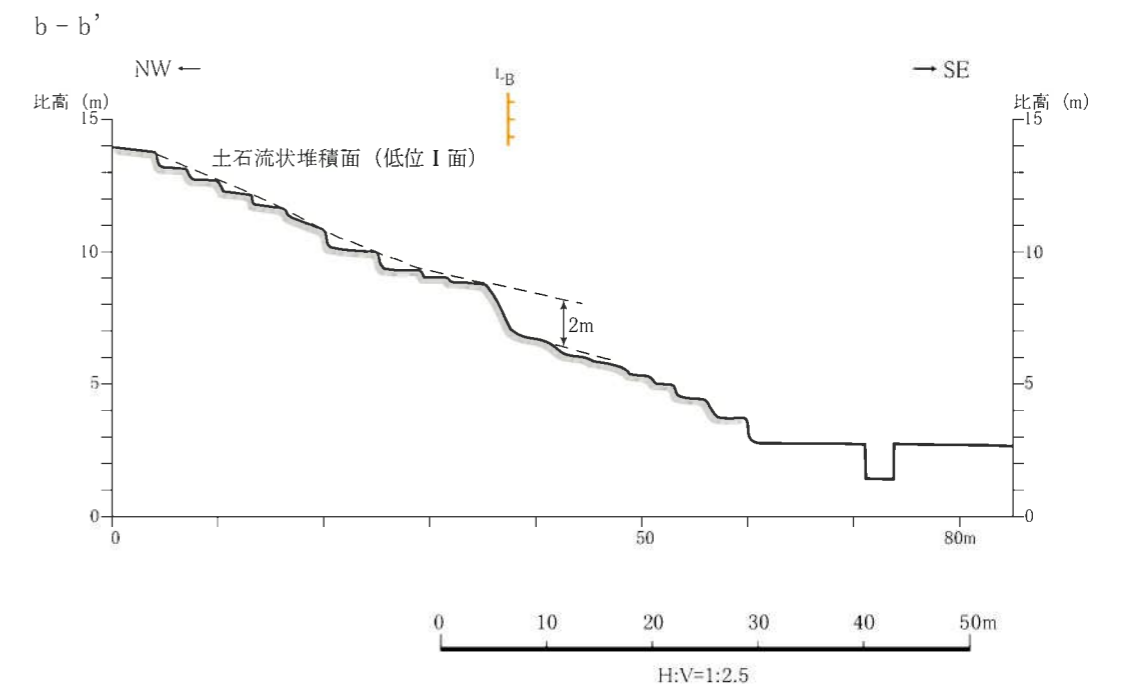
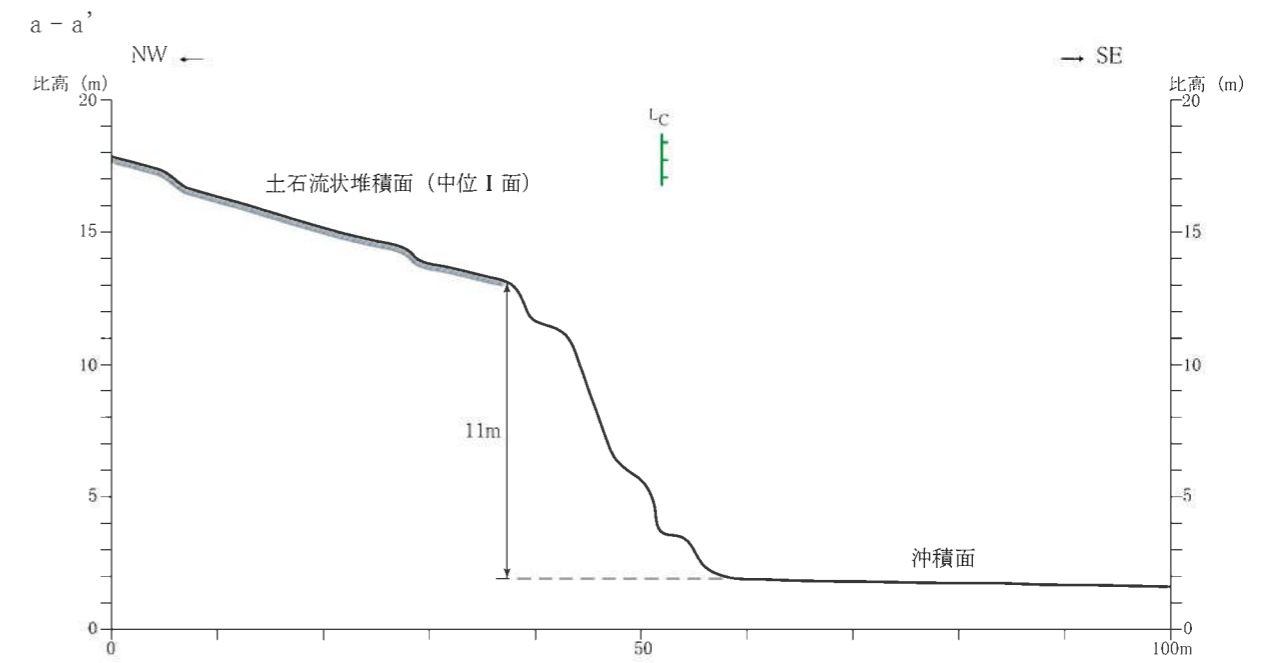
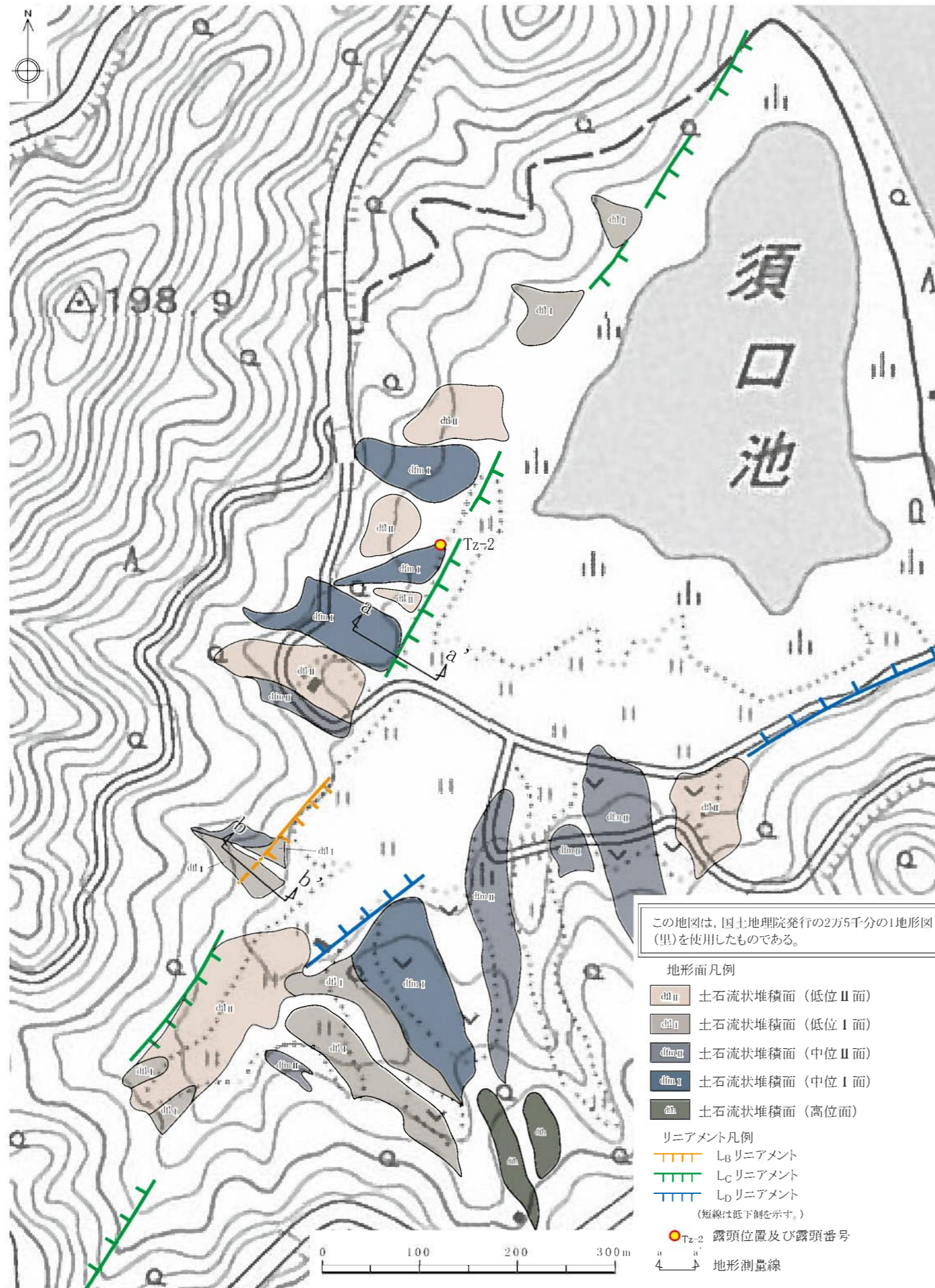


第1.2-121図 八代海の断層分布図

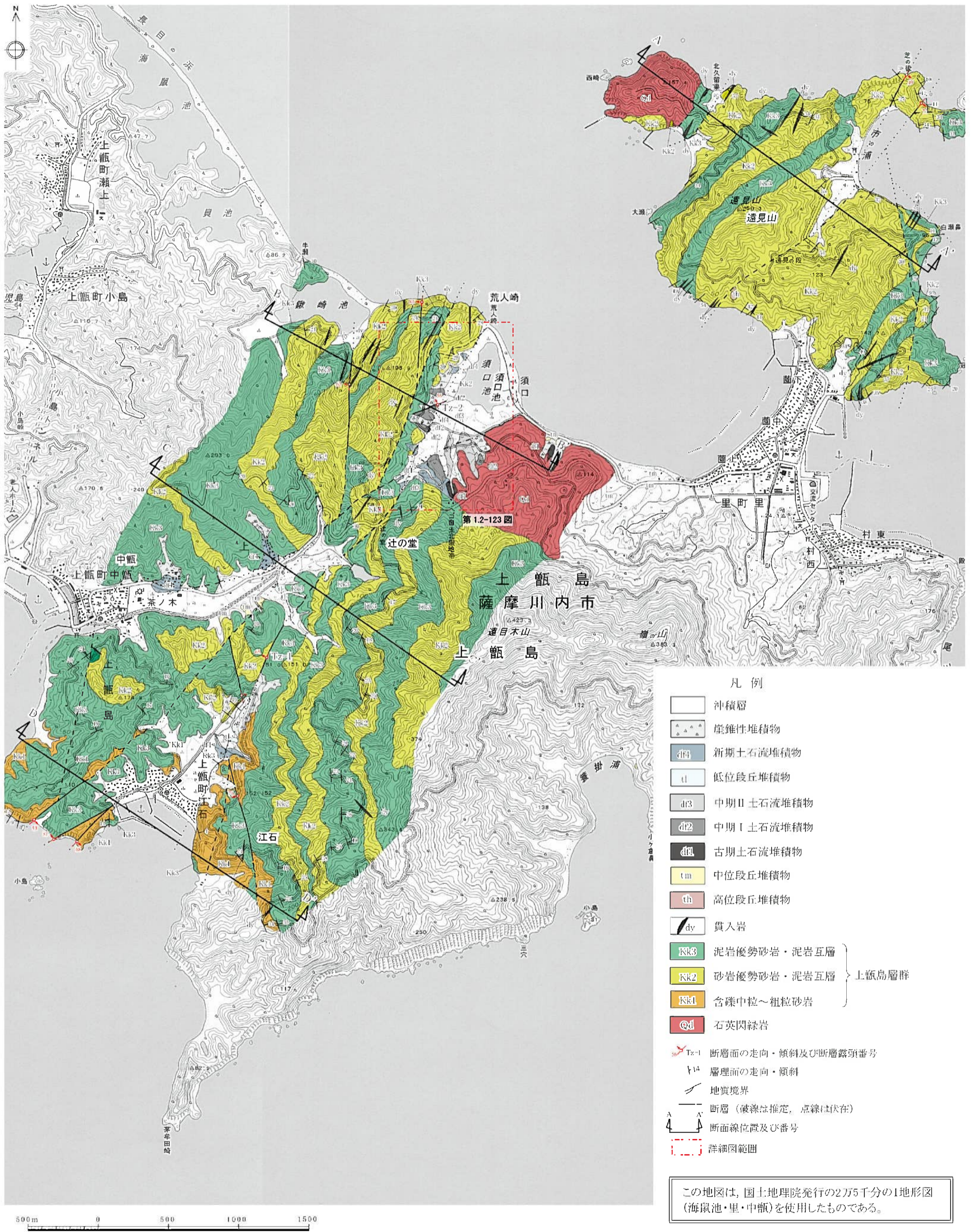


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(海鼠池・里・中瀬)を使用したものである。

第1.2-122図 辻の堂断層周辺の空中写真判読図

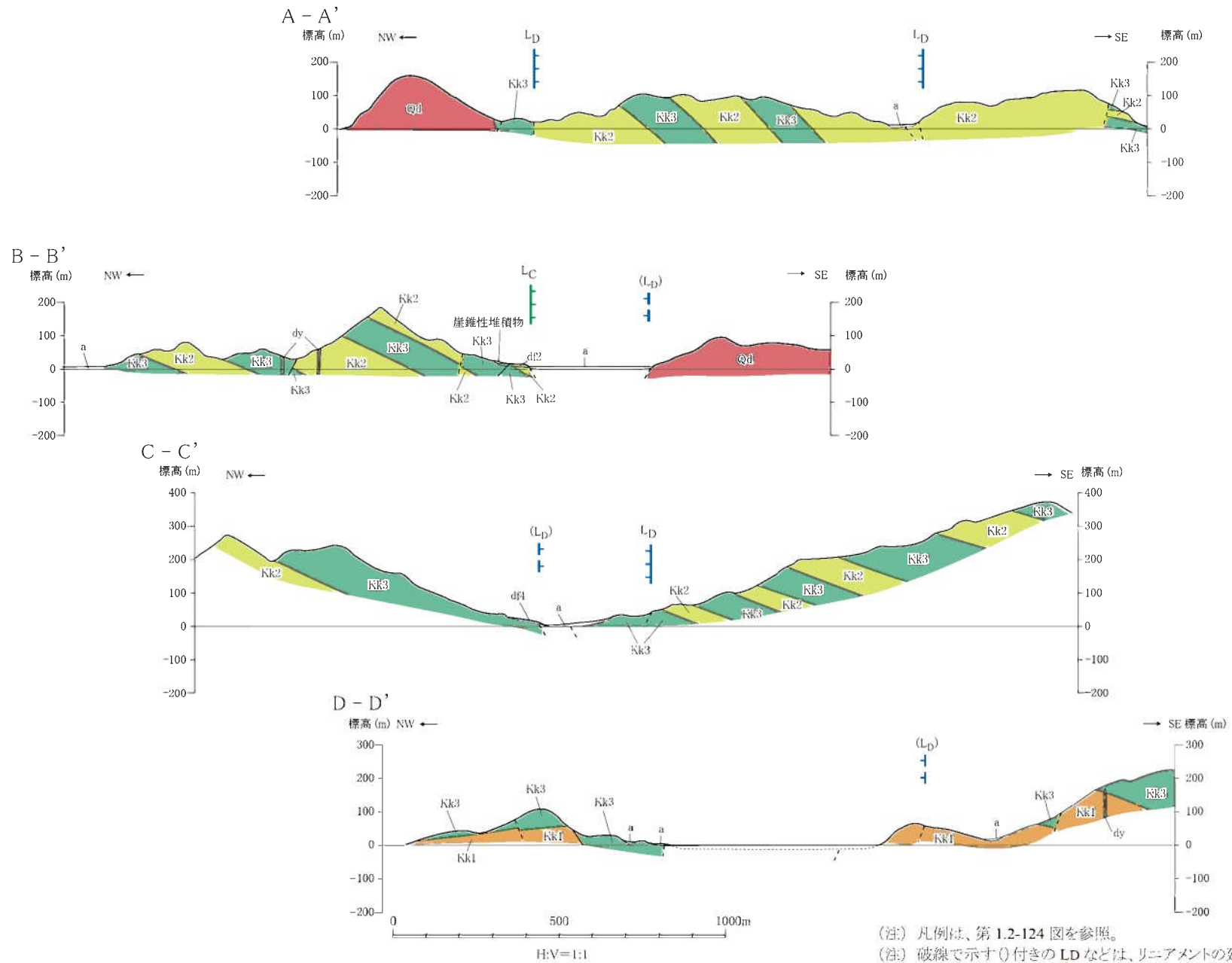


第1.2-123図 空中写真判読図・地形断面図(薩摩川内市須口池南西付近)



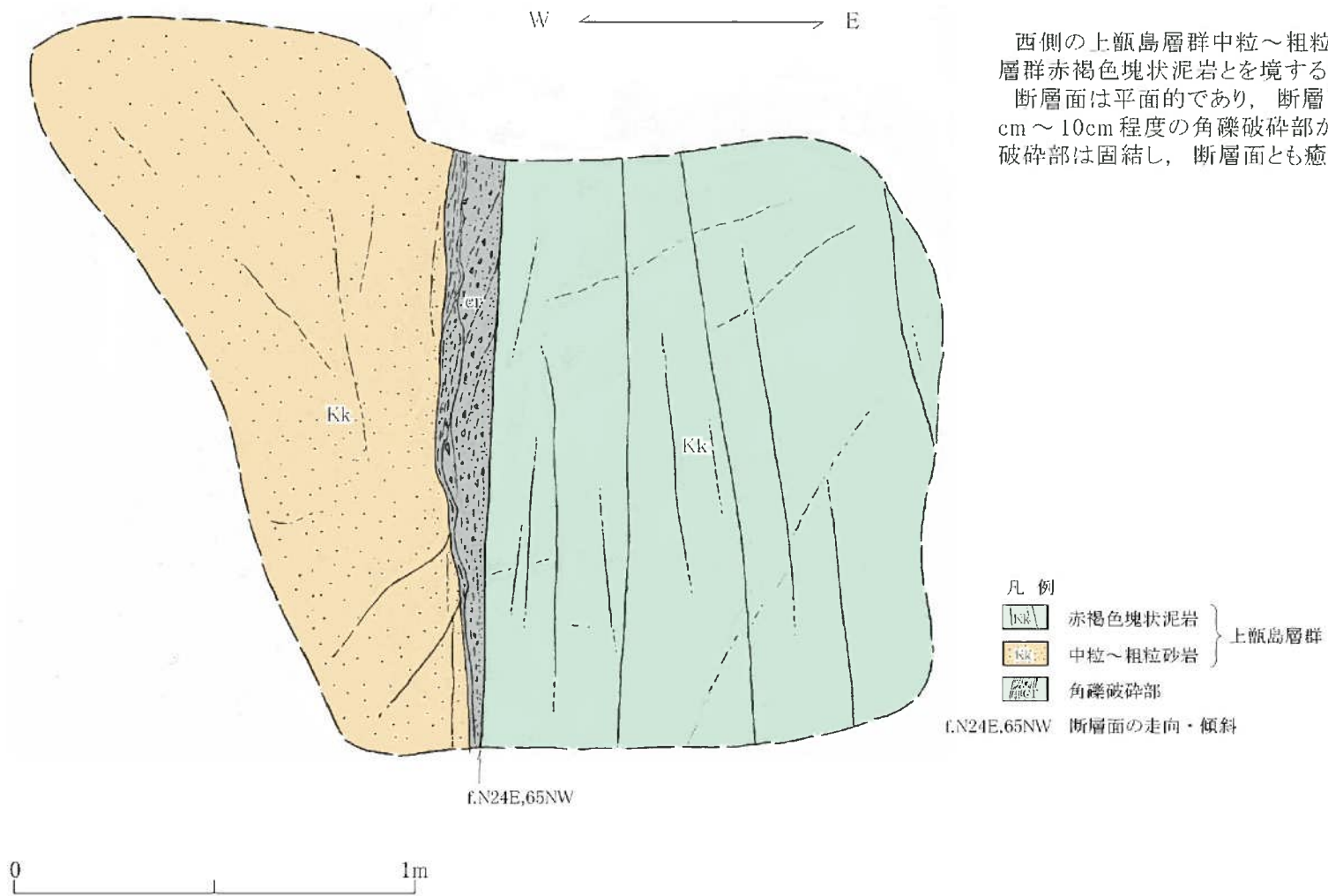
- 凡例
- 沖積層
 - ▲▲▲ 崖錐性堆積物
 - d14 新期土石流堆積物
 - t1 低位段丘堆積物
 - d13 中期II土石流堆積物
 - d12 中期I土石流堆積物
 - d11 古期土石流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - th 高位段丘堆積物
 - / dy 貫入岩
 - Kk3 泥岩優勢砂岩・泥岩互層
 - Kk2 砂岩優勢砂岩・泥岩互層
 - Kk1 含礫中粒～粗粒砂岩
 - Qd 石英閃緑岩
- Tx-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
t14 層理面の走向・傾斜
/ 地質境界
--- 断層(破線は推定, 点線は伏在)
A-A' 断面線位置及び番号
 詳細図範囲

第1.2-124図 辻の堂断層周辺の地質図



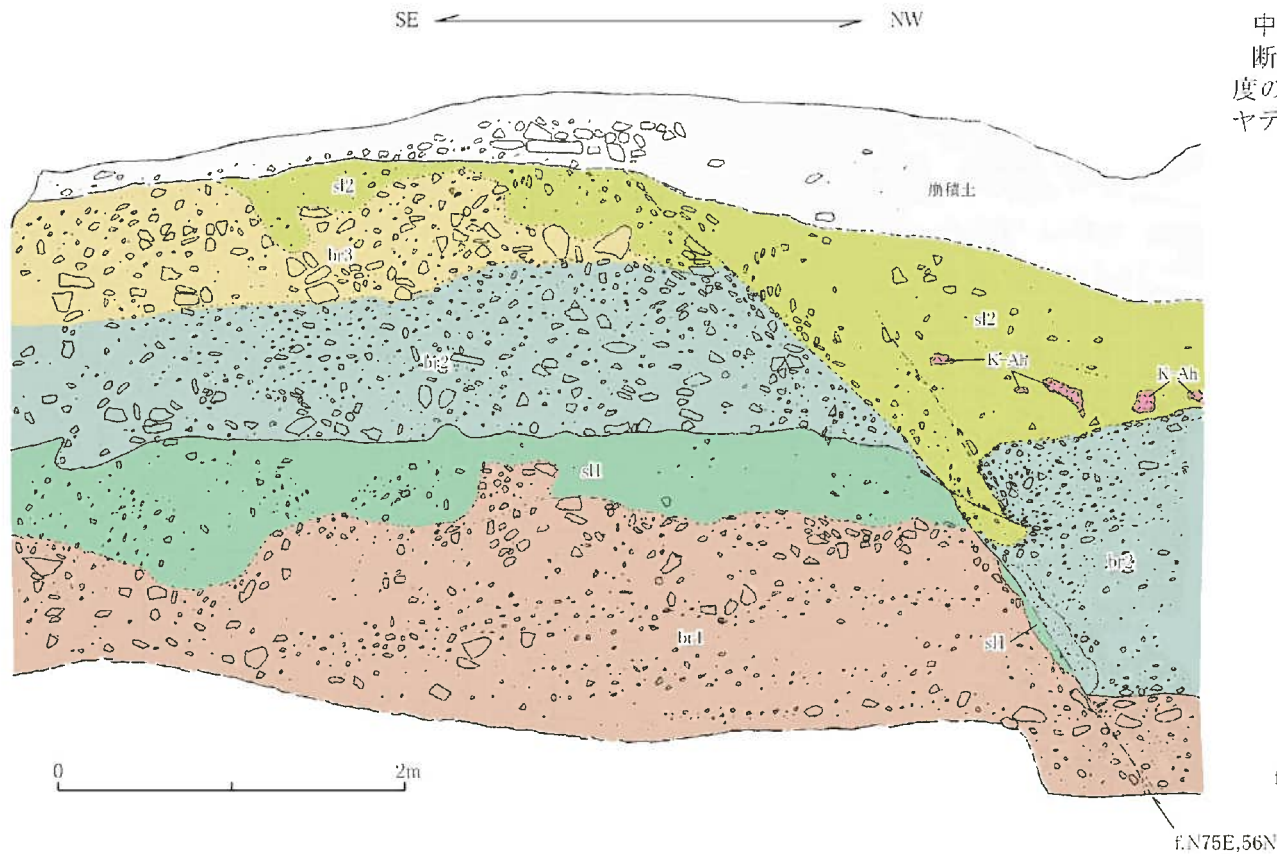
(注) 凡例は、第 1.2-124 図を参照。
 (注) 破線で示す () 付きの LD などは、リアメントの延長位置を示す。

第1.2-125図 辻の堂断層周辺の地質断面図



第1.2-126図(1) 露頭スケッチ (Loc.Tz-1, 薩摩川内市江石北方)

1.2-594



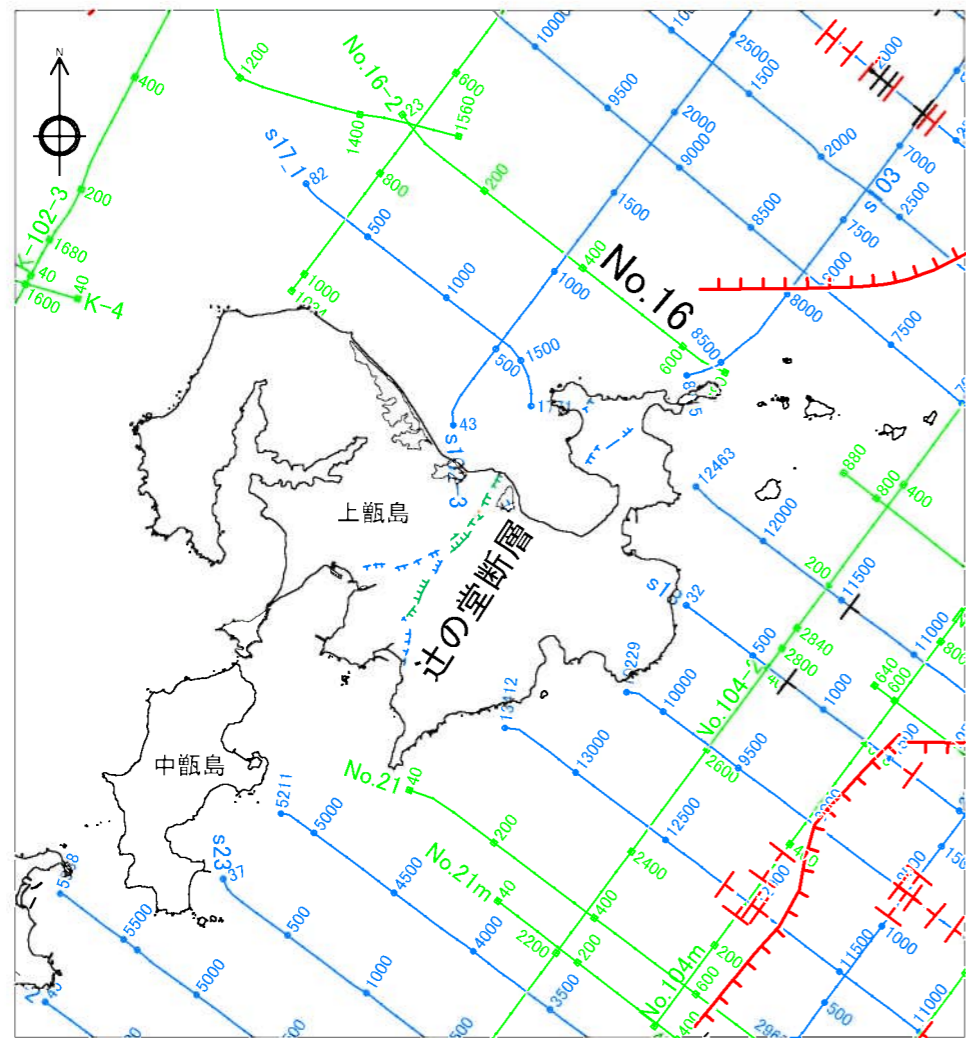
中期 I 土石流堆積物中の正断層。
断層は上位の新时期土石流堆積物基底面に鉛直約 1m 程度の変位を与えており、新时期土石流堆積物中に鬼界アカホヤテフラが挟在する。

凡 例

- 角礫混じり暗褐色ローム質シルト層
- 鬼界アカホヤテフラ
- ローム質角礫層
- 角礫層
- 角礫混じり灰色シルト層
- シルト質角礫層

f.N75E,56N 断層面の走向・傾斜

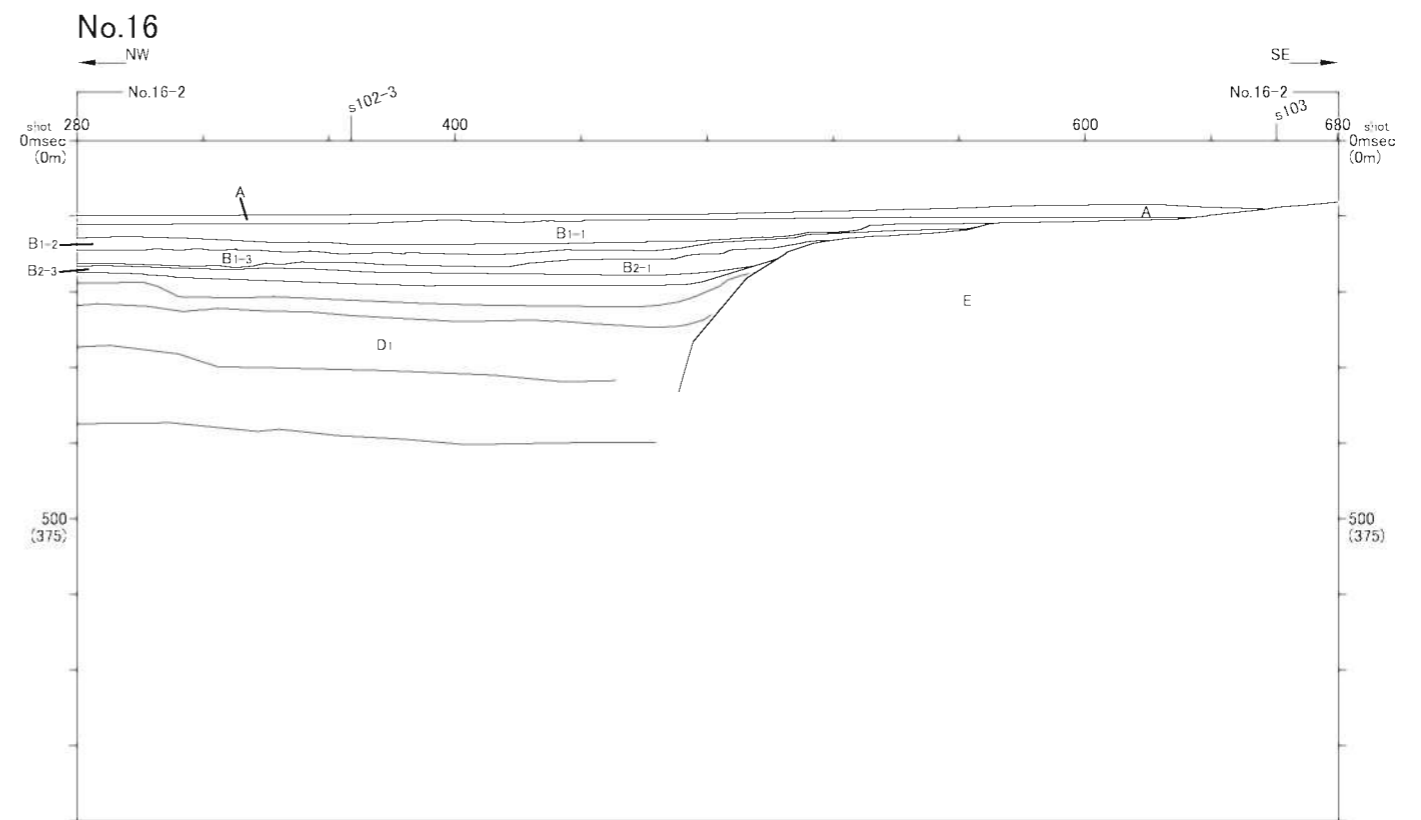
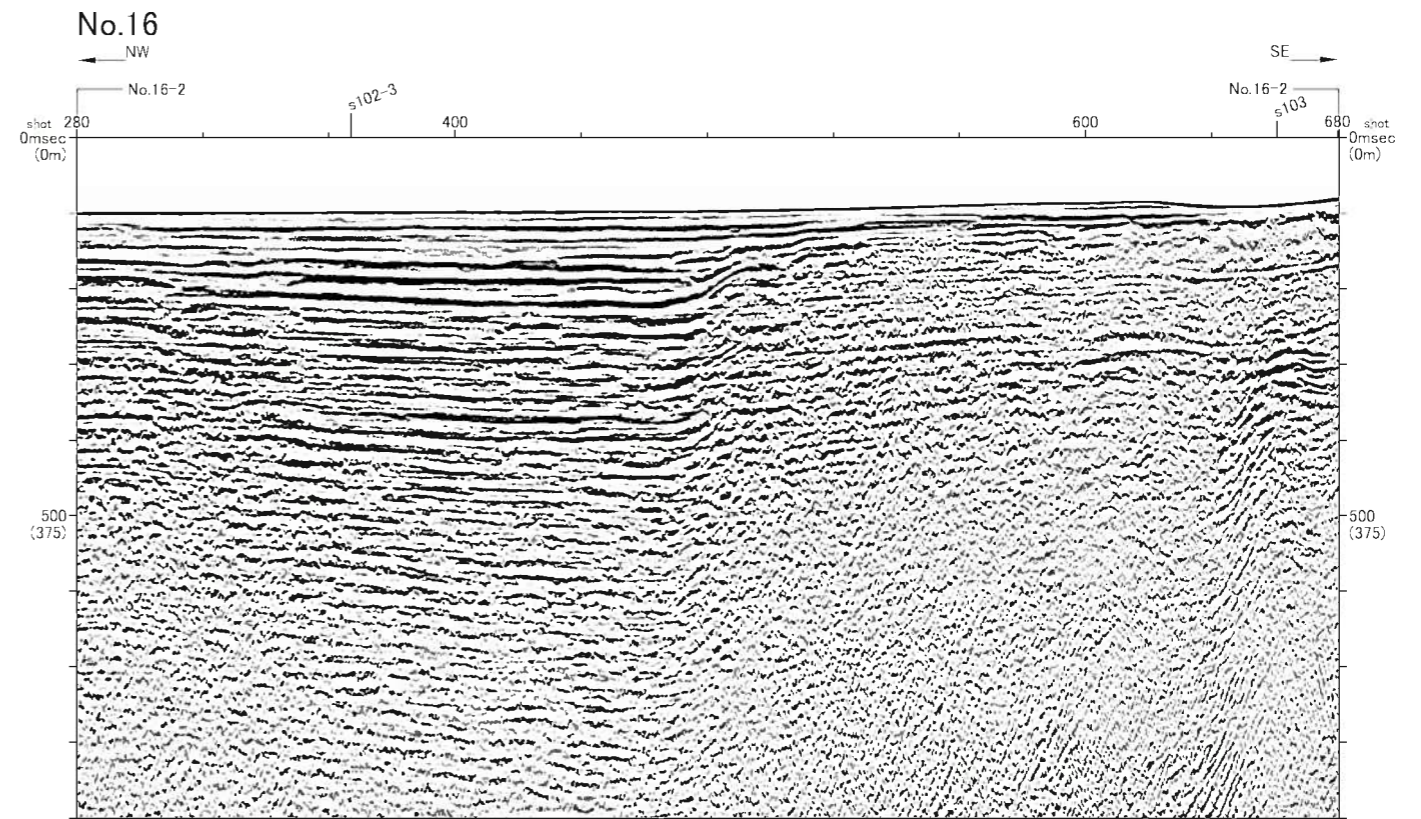
第1.2-126図(2) 露頭スケッチ (Loc.Tz-2, 薩摩川内市須口池南西)



辻の堂断層位置図

凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スーパーカ)
- LBリニアメント
- LCリニアメント
- LDリニアメント

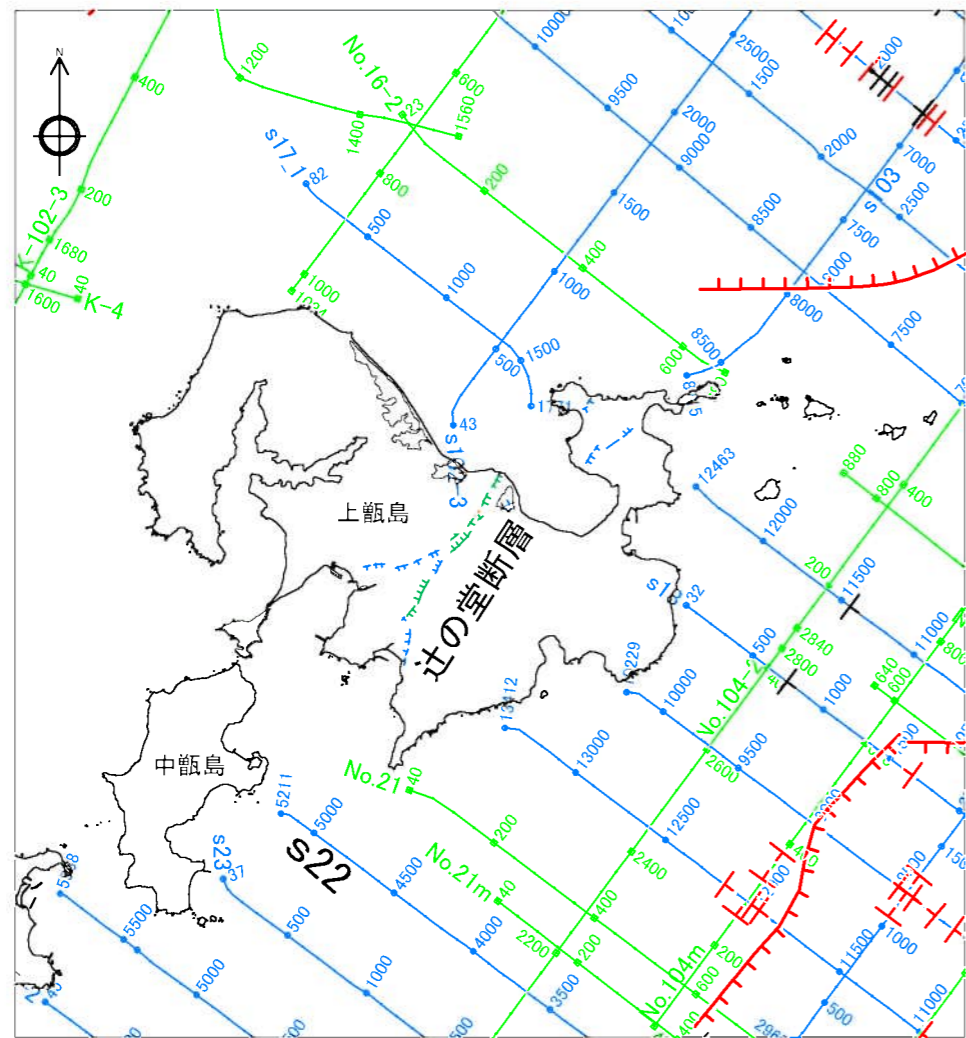


音波探査記録断面図

- 凡 例
- A 後期更新世～全新世
 - B1-1 後期更新世
 - B1-2 中期更新世
 - B1-3 前期更新世
 - B2-1 前期更新世
 - B2-3 前期更新世
 - C 前期更新世
 - D1 前期更新世～旧更新世
 - V 前期更新世
 - U2 後期中新世～旧更新世
 - U1 中新世～旧更新世
 - U 中新世～旧更新世
- 断層記号
- 天候: 連続性のある断層
 - 緑色: 連続性のある伏在断層
 - 赤色: 連続性のない断層
 - 黒色: 連続性のない伏在断層

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。

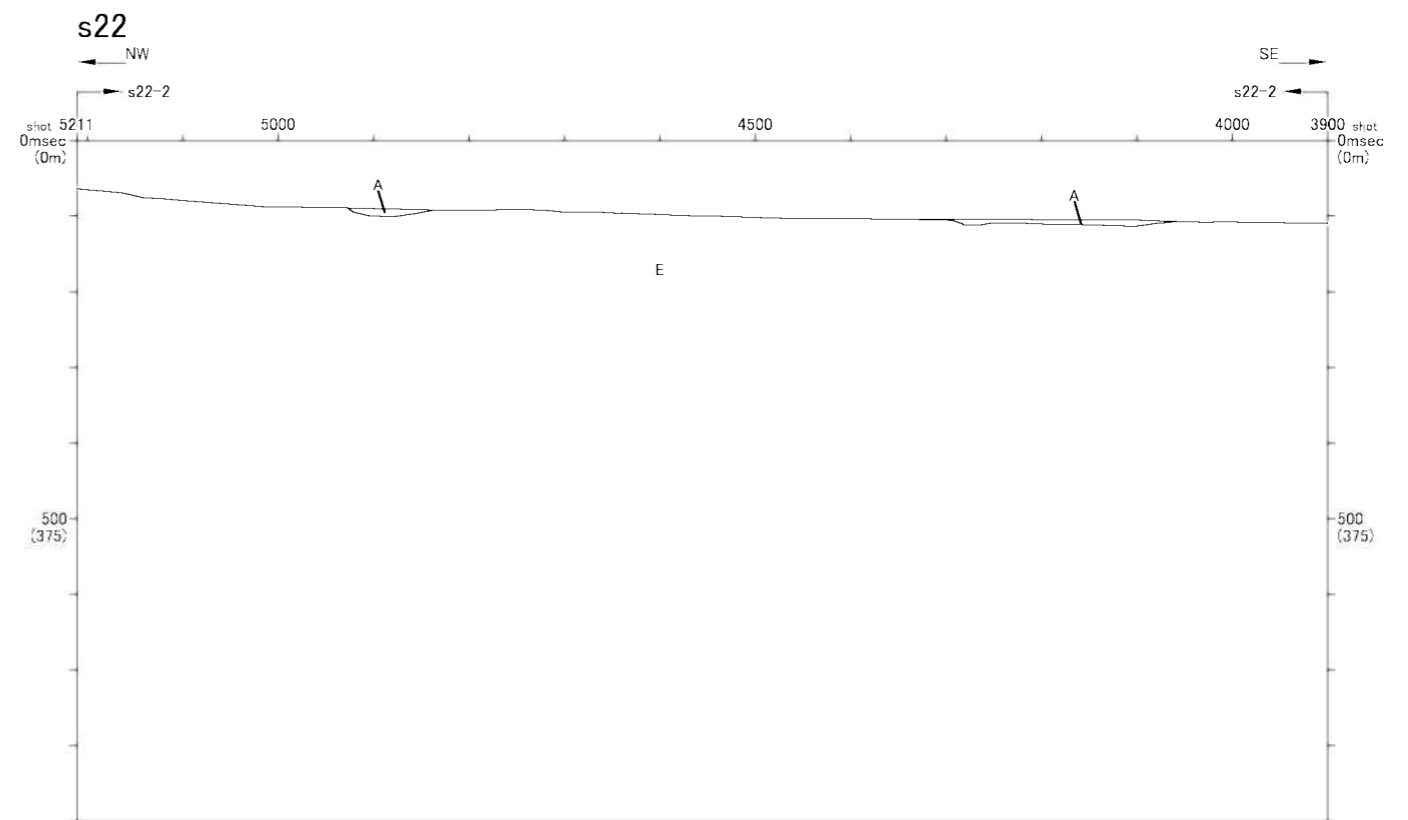
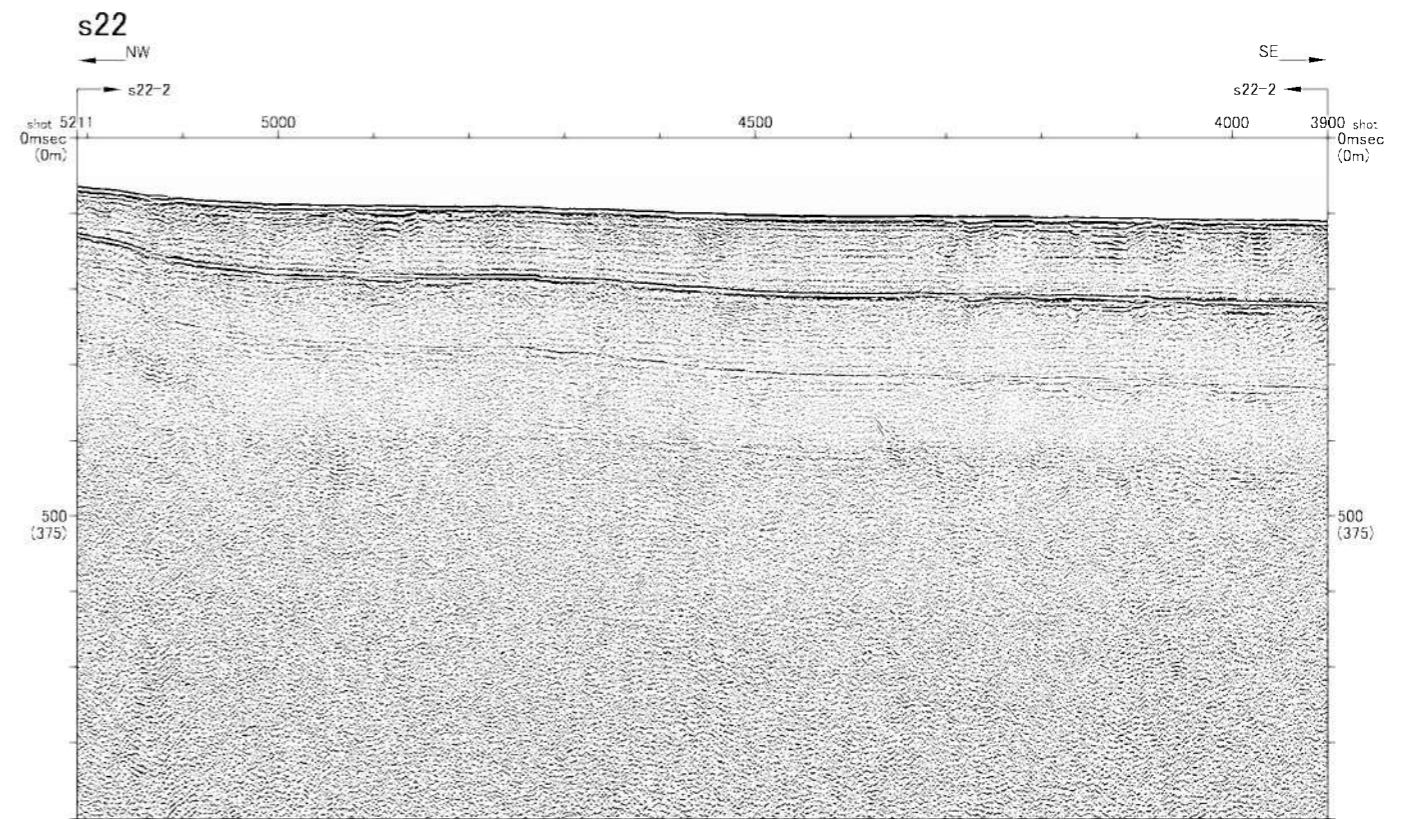
第1.2-127図(1) 辻の堂断層海域延長部(No.16測線)



辻の堂断層位置図

凡 例

- | | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | 連続性のある断層 | | L _B リニアメント |
| | 連続性のある伏在断層 | | L _C リニアメント |
| | 連続性のない断層 | | L _D リニアメント |
| | 連続性のない伏在断層 | | |
| | 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線
(G1ガン、ウォーターガン) | | |
| | 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スーパーカ) | | |

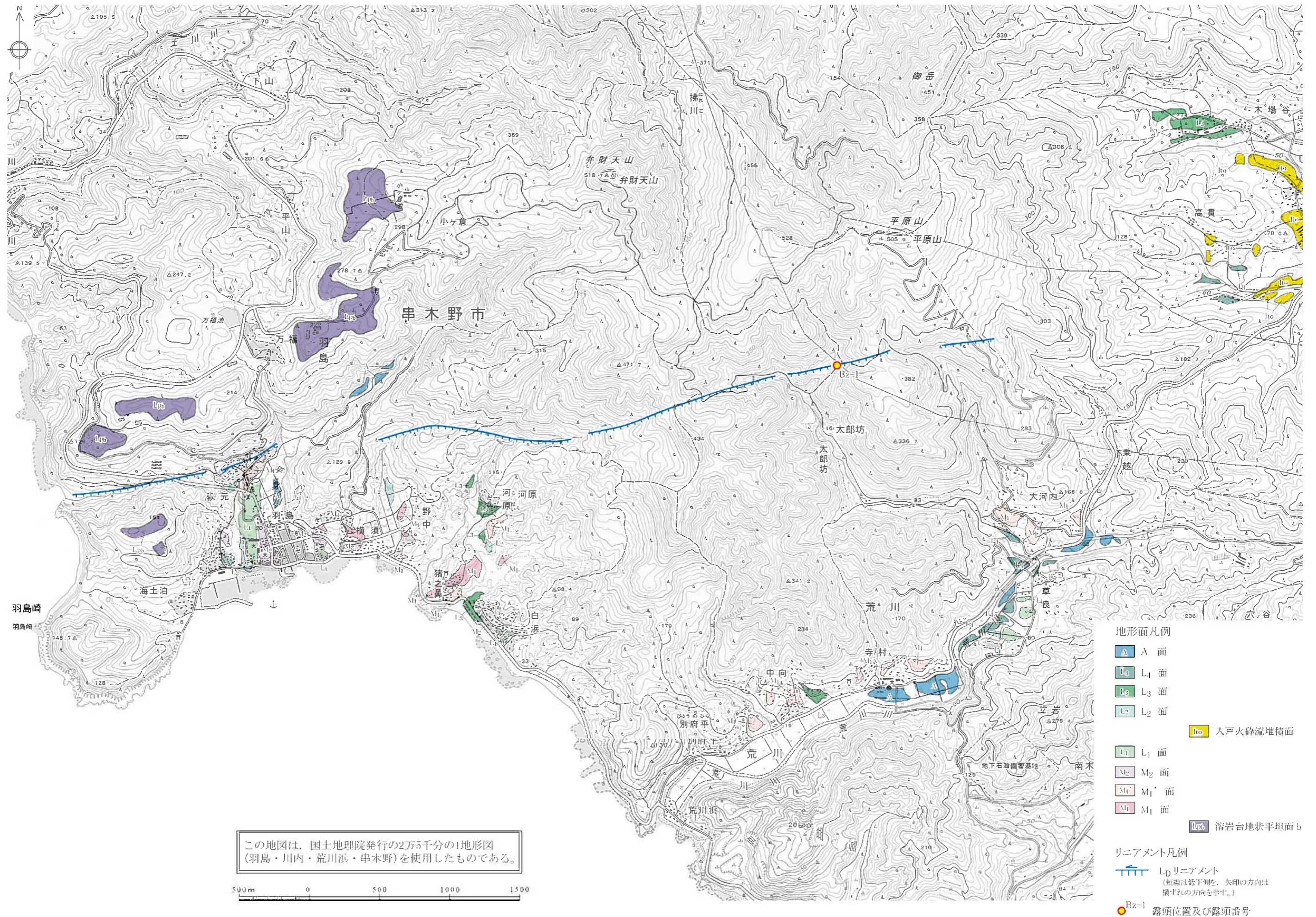


音波探査記録断面図

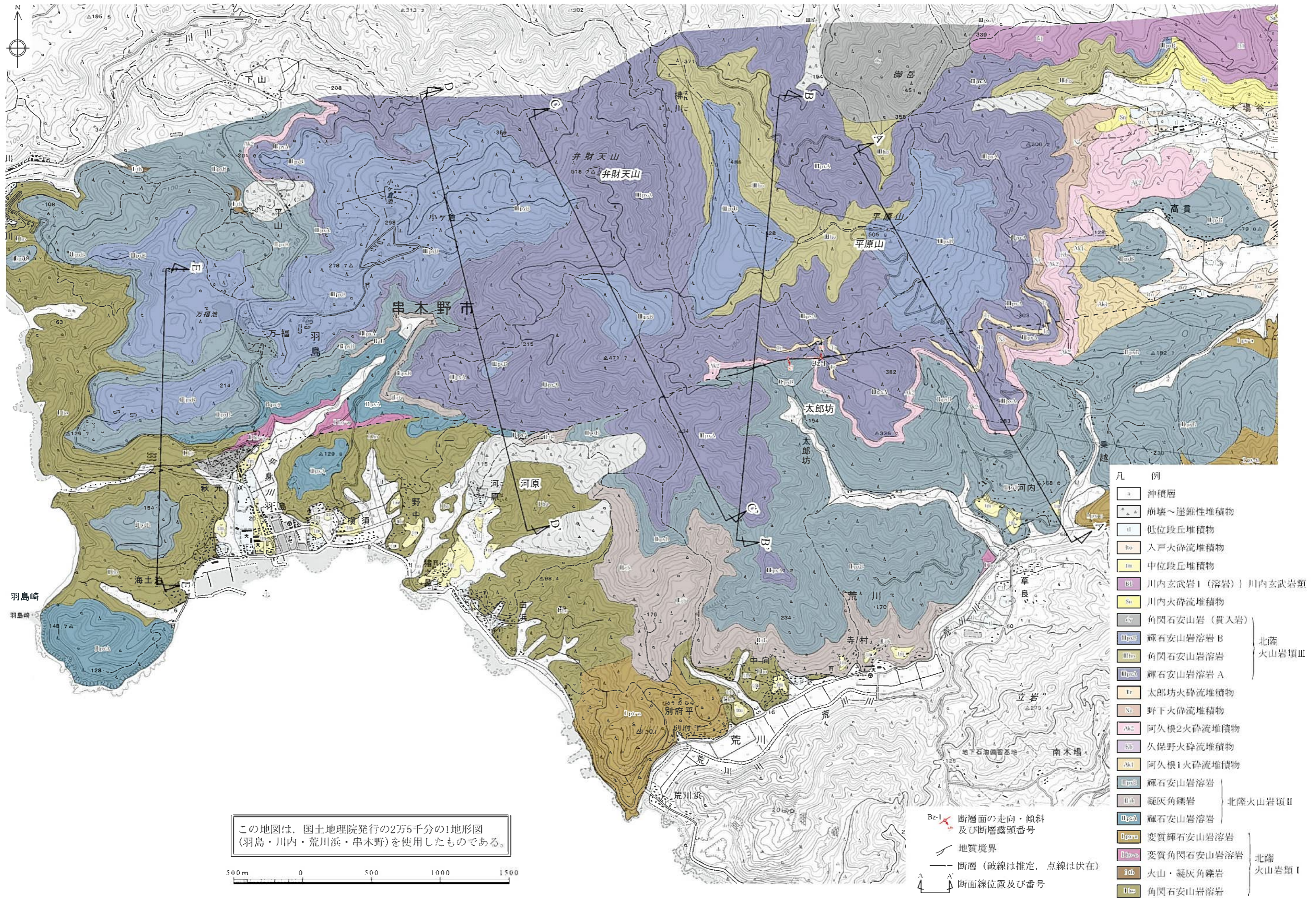
- 凡 例
- | | | | |
|------|-------------|--|--------------------------------|
| A | 後期更新世～全新世 | | 構造線 |
| B1-1 | 後期更新世 | | 天候: 連続性のある断層
構造: 連続性のある伏在断層 |
| B1-2 | 中期更新世 | | 天候: 連続性のない断層
構造: 連続性のない伏在断層 |
| B2 | 前期更新世 | | |
| C | 前期更新世 | | |
| D1 | 中期更新世～前期更新世 | | |
| V | 前期更新世 | | |
| B2 | 後期中新世～前期更新世 | | 新第三紀 |
| E | ジュラ紀～前期中新世 | | 中生代～新第三紀 |

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。

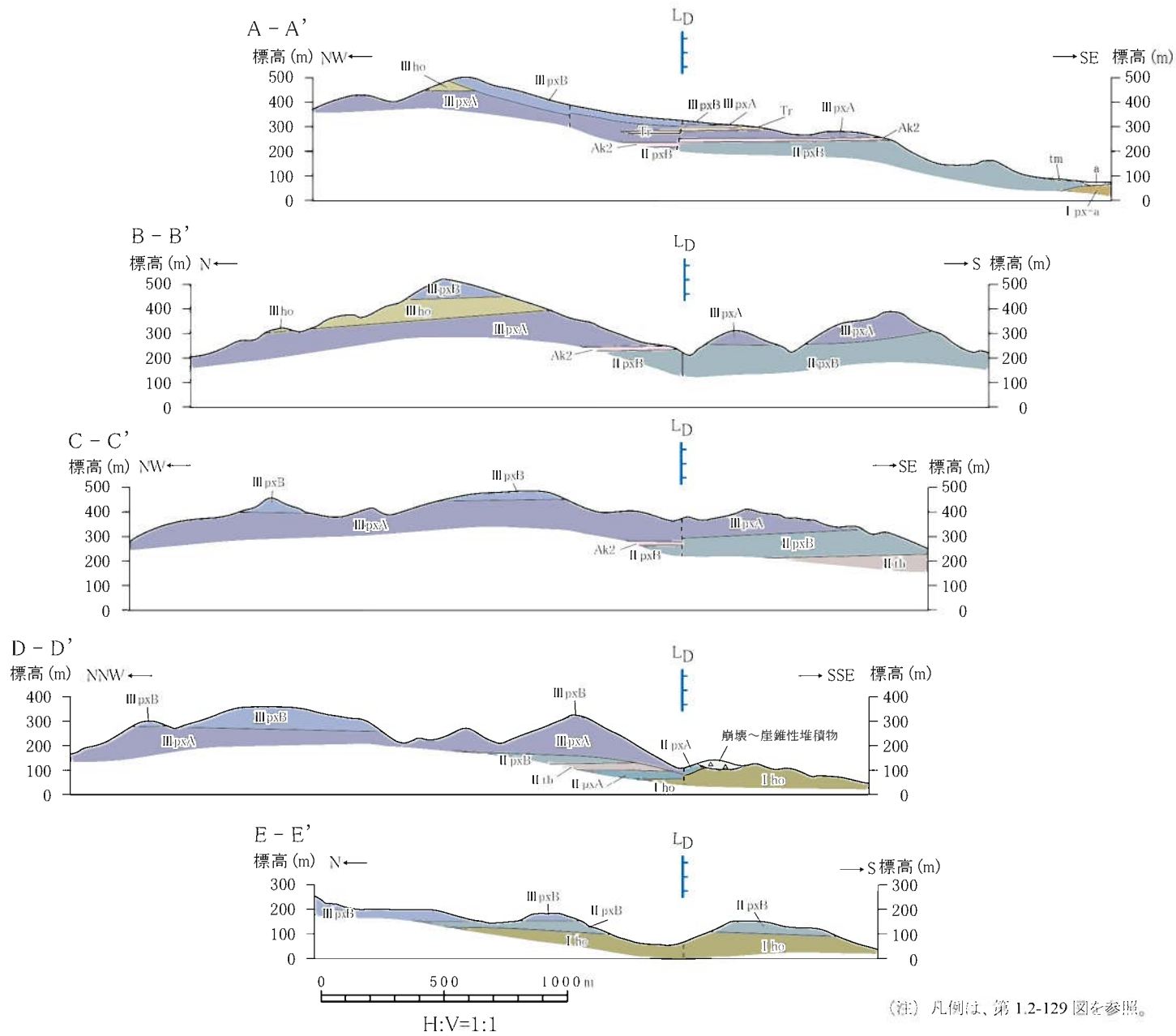
第1.2-127図(2) 辻の堂断層海域延長部(s22測線)



第1.2-128図 弁財天山南リニアメント周辺の空中写真判読図

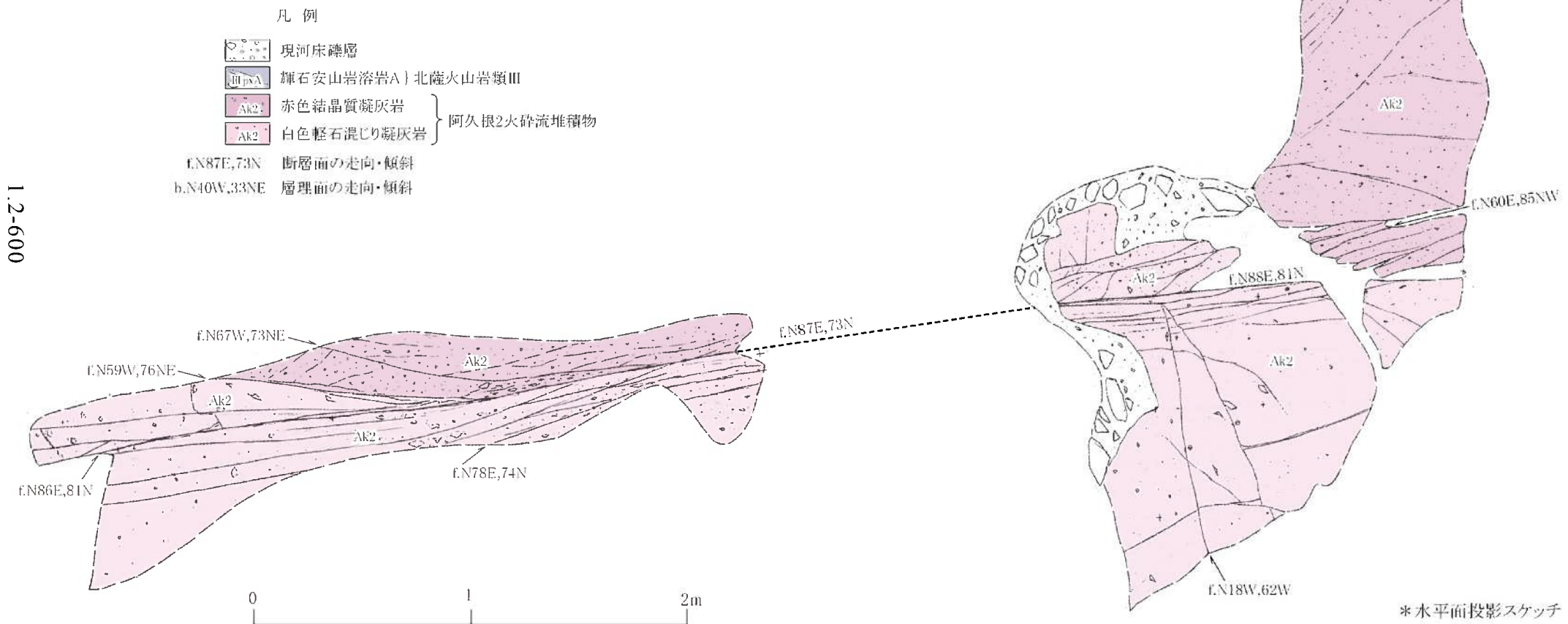


第1.2-129図 弁財天山南リニアメント周辺の地質図

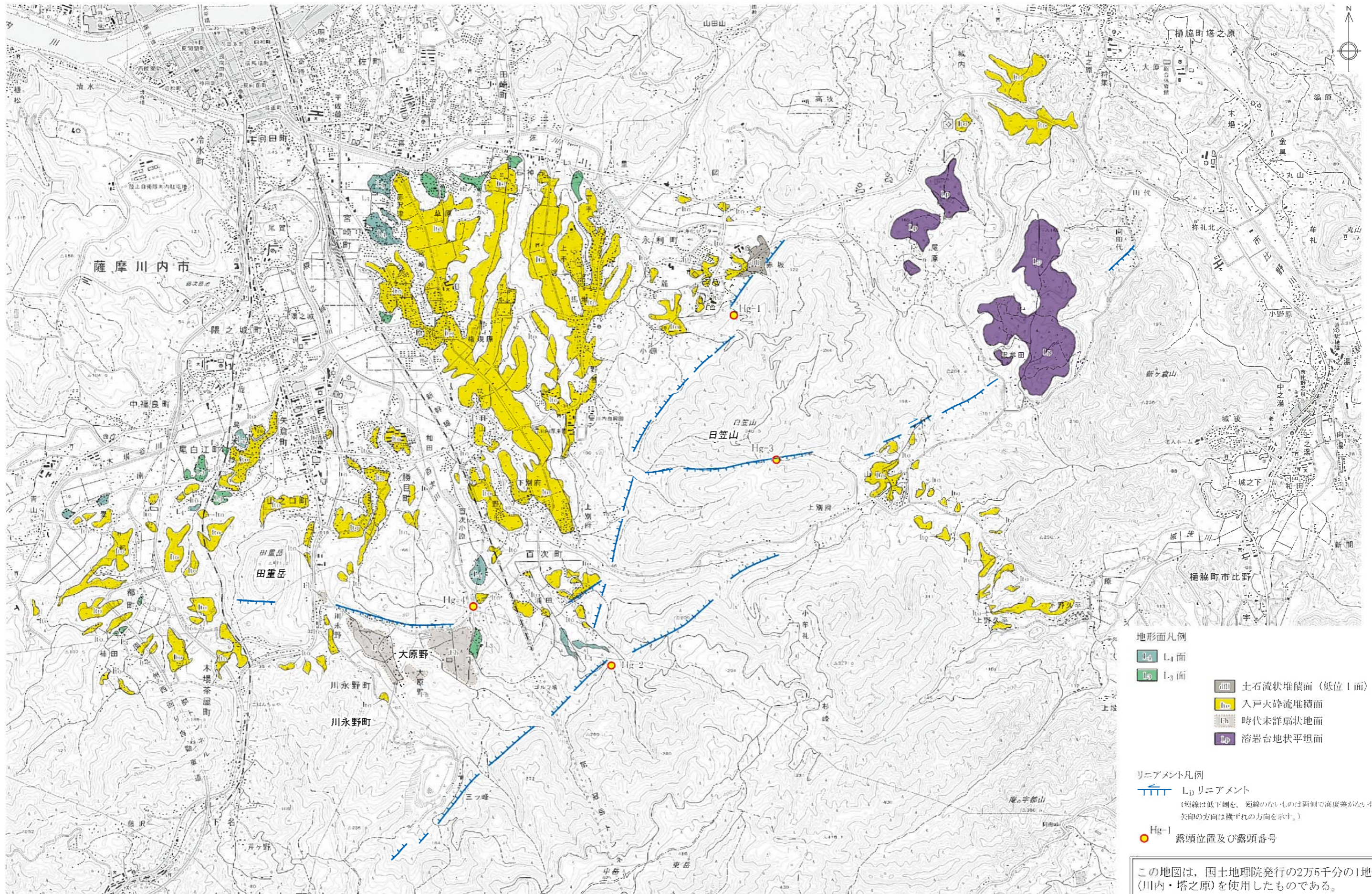


第1.2-130図 弁財天山南リニアメント周辺の地質断面図

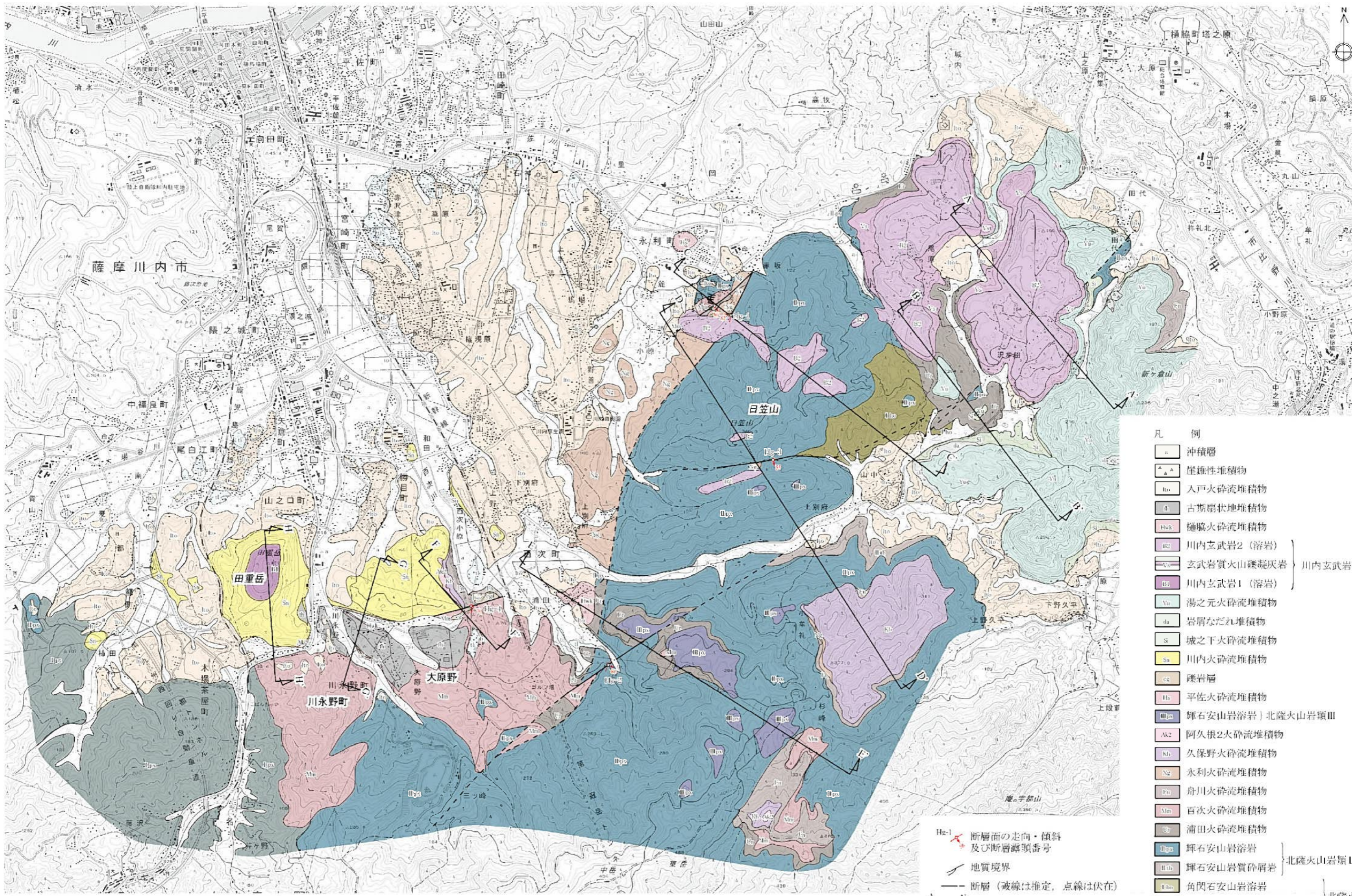
阿久根2火砕流堆積物中の高角度断層。
 断層面は明瞭かつ平面的であるものの、癒着しており、軟質粘土は認められない。また、
 断層近傍の阿久根2火砕流堆積物には、節理が多く認められるものの、固結している。



第1.2-131図 露頭スケッチ (Loc.Bz-1, いちき串木野市太郎坊北方)



第1.2-132図 日笠山リニアメント周辺の空中写真判読図



- 凡 例
- a 沖積層
 - △ A 屋簷性堆積物
 - to 入戸火砕流堆積物
 - G 古期扇状地堆積物
 - Hsk 極端火砕流堆積物
 - H2 川内玄武岩2 (溶岩)
 - H1 川内玄武岩1 (溶岩)
 - Yu 湯之元火砕流堆積物
 - da 岩屑なだれ堆積物
 - S 城之下火砕流堆積物
 - Sn 川内火砕流堆積物
 - cc 礫岩層
 - Hs 平佐火砕流堆積物
 - Hps 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類III
 - Ak2 阿久根2火砕流堆積物
 - Ks 久保野火砕流堆積物
 - Ng 永利火砕流堆積物
 - Fh 舟川火砕流堆積物
 - Mn 百次火砕流堆積物
 - U 浦田火砕流堆積物
 - Hps 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
 - Hsb 輝石安山岩質砕屑岩 } 北薩火山岩類I
 - Hsa 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類I
 - Hps 輝石安山岩溶岩・同質砕屑岩 } 北薩火山岩類I

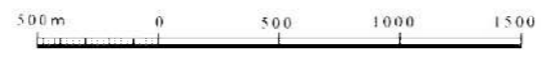
He-1 断層面の走向・傾斜
及び断層露頭番号

地質境界

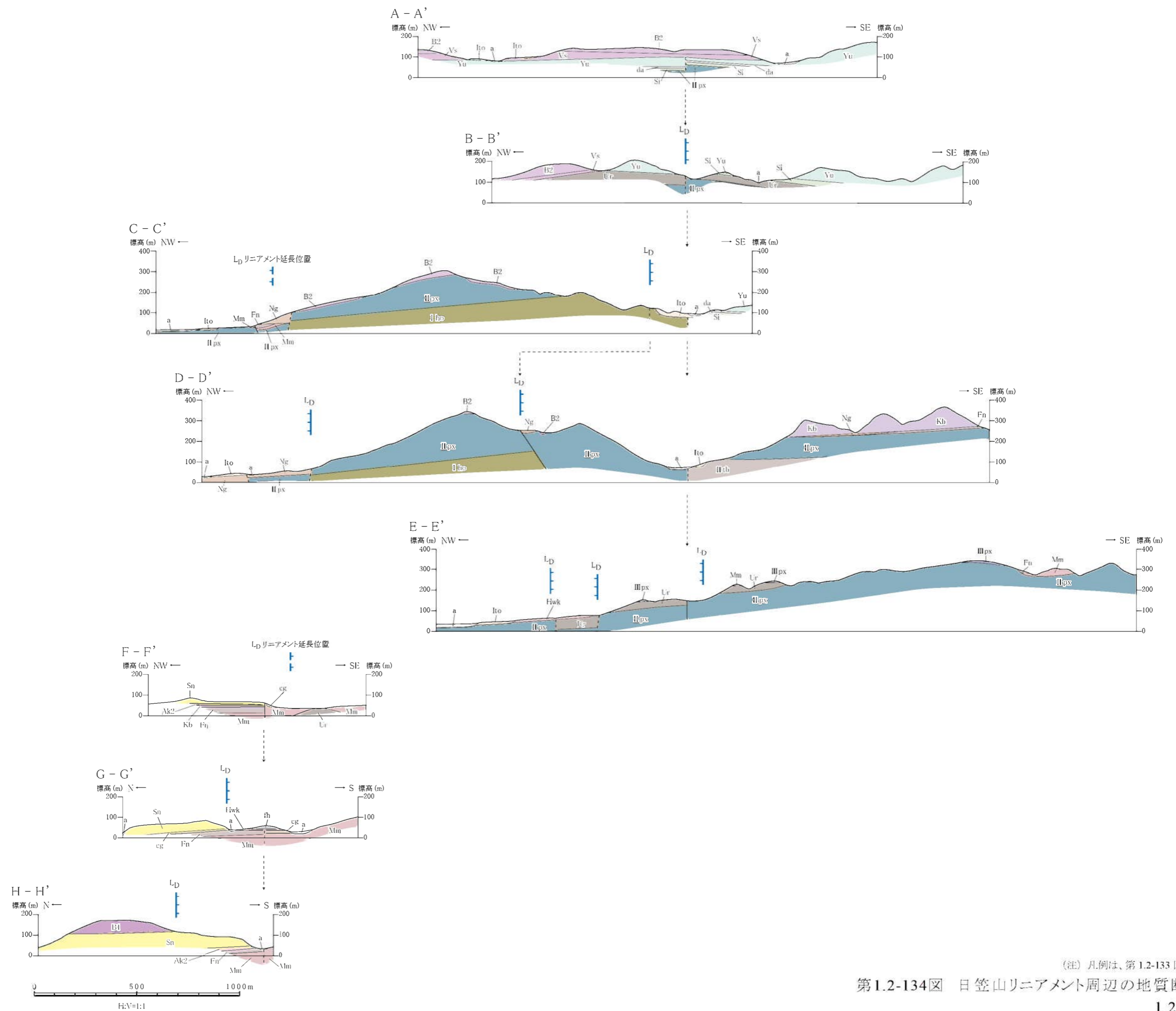
断層 (破線は推定, 点線は伏在)

断面線位置及び番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(川内・塔之原)を使用したものである。

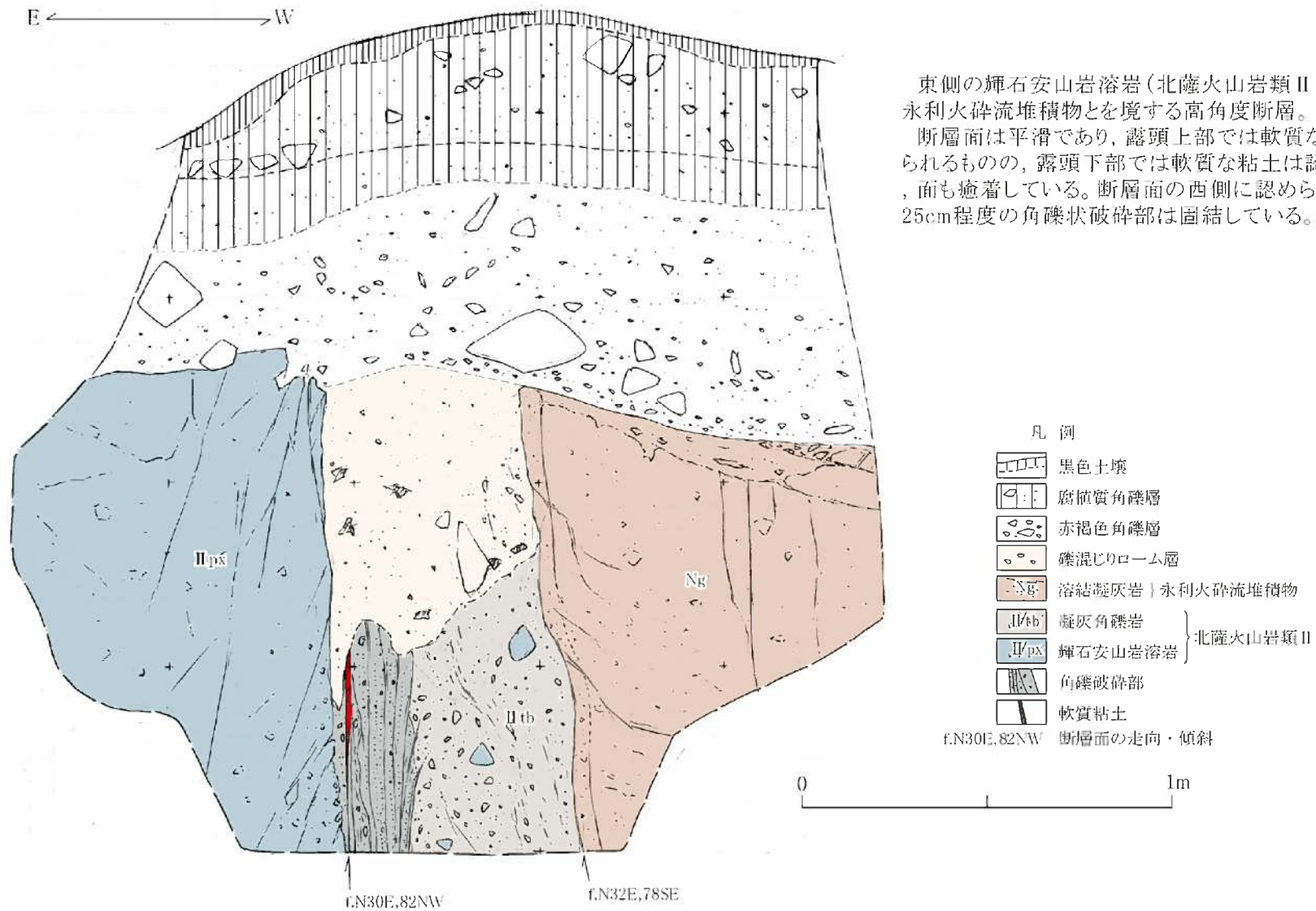


第1.2-133図 日笠山リニアメント周辺の地質図



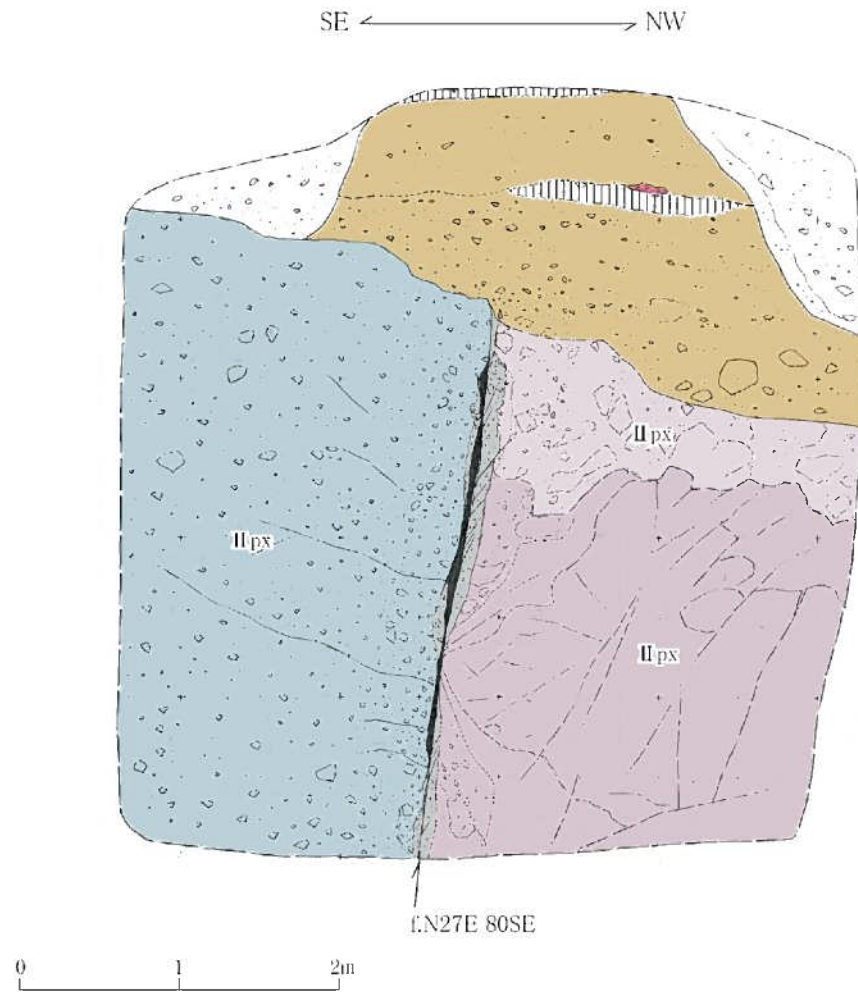
(注) 凡例は、第1.2-133図を参照。

第1.2-134図 日笠山リニアメント周辺の地質断面図



東側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）と西側の永利火砕流堆積物とを境する高角度断層。
 断層面は平滑であり、露頭上部では軟質な粘土がみられるものの、露頭下部では軟質な粘土は認められず、面も癒着している。断層面の西側に認められる幅25cm程度の角礫状破砕部は固結している。

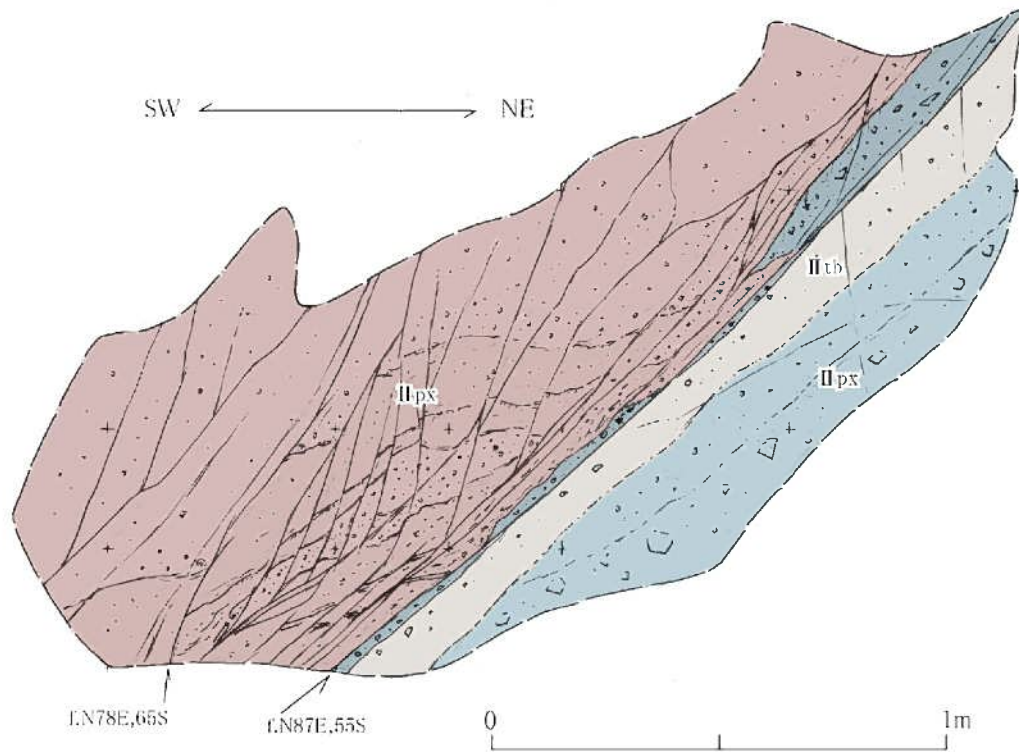
第1.2-135図(1) 露頭スケッチ(Loc.Hg-1, 薩摩川内市永利町)



南東側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と北西側の輝石安山岩溶岩(同火山岩類Ⅱ)とを境する高角度断層。
断層面は平滑であるが、断層面は癒着しており、破碎部も固結している。



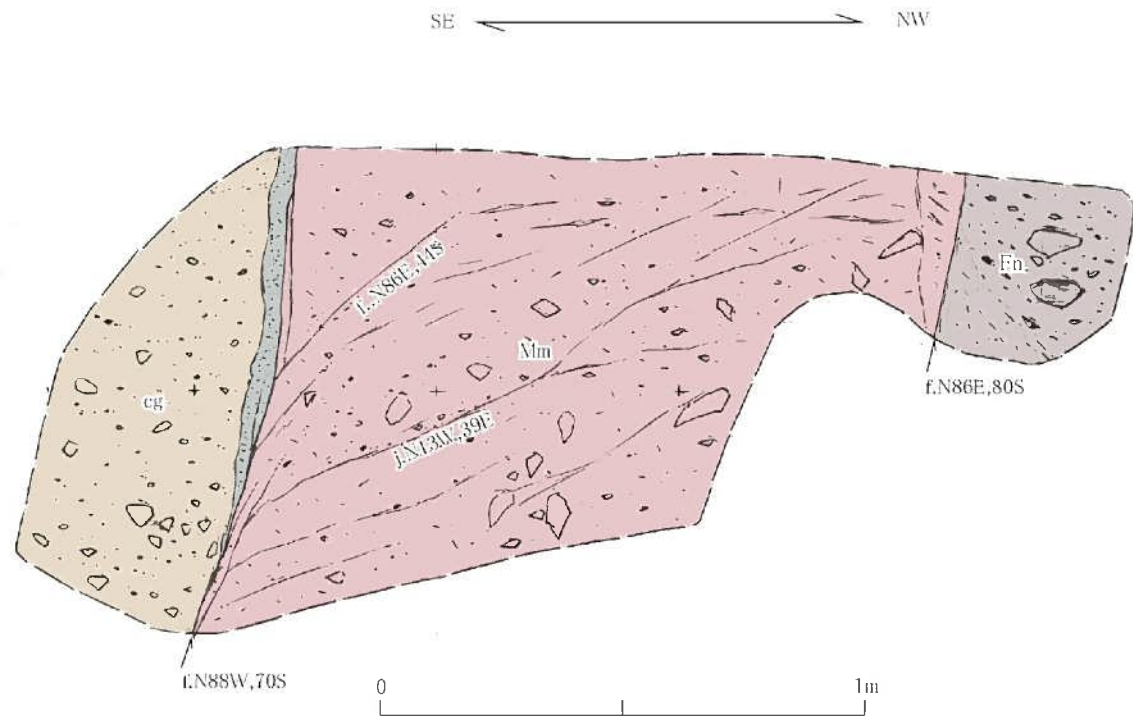
第1.2-135図(2) 露頭スケッチ(Loc.Hg-2, 薩摩川内市浦田)



南西側の弱変質輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と北東側の凝灰角礫岩(同火山岩類Ⅱ)とを境する正断層。
断層面は平滑であるが、癒着しており、破碎部も固結している。

- 凡例
- IIpx 弱変質輝石安山岩溶岩
 - IIpx 輝石安山岩自破碎溶岩
 - IIth 凝灰角礫岩
 - 角礫破碎部
- } 北薩火山岩類Ⅱ
- I.N87E,55S 断層面の走向・傾斜

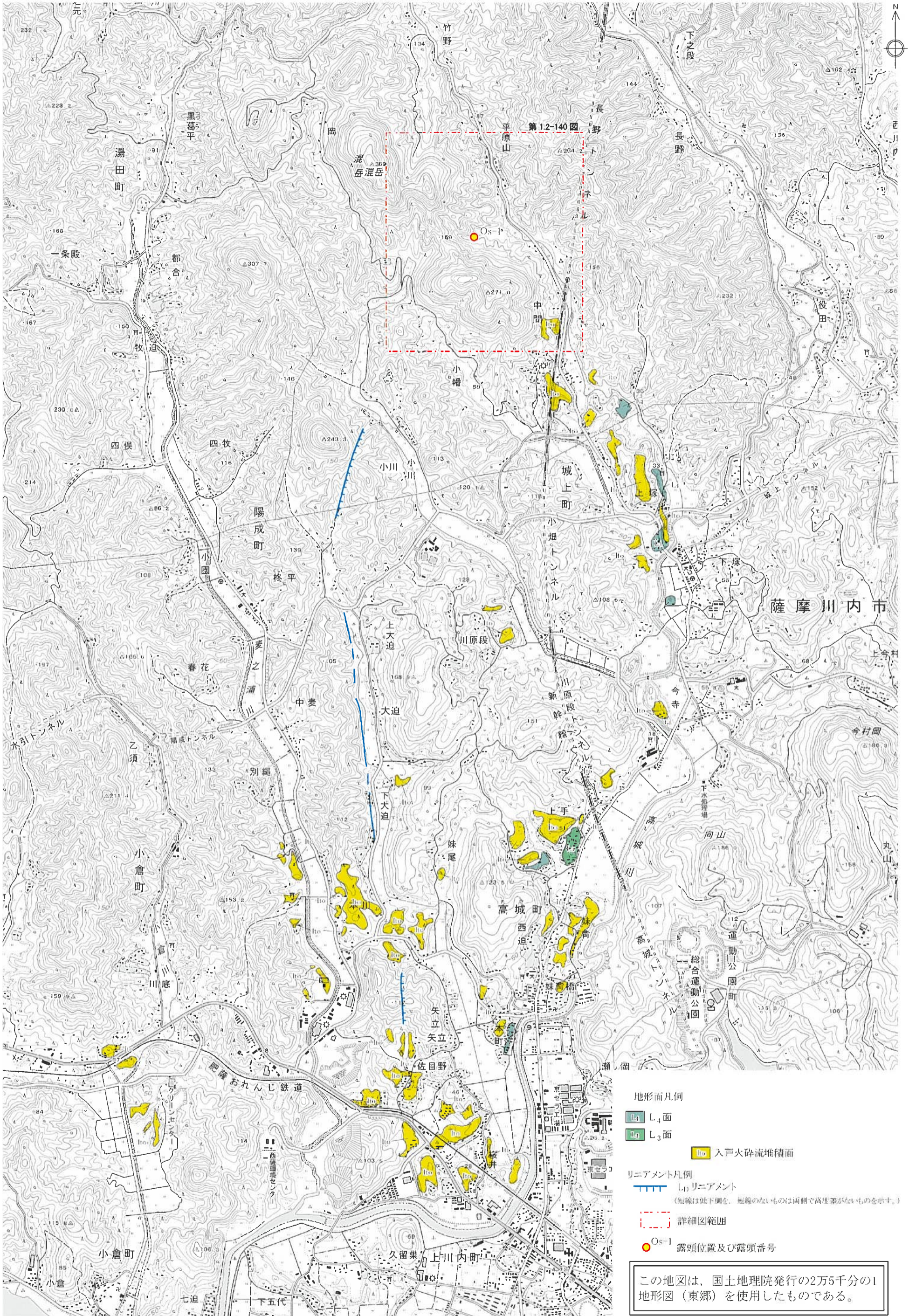
第1.2-135図(3) 露頭スケッチ (Loc.Hg-3, 薩摩川内市日笠山南方)



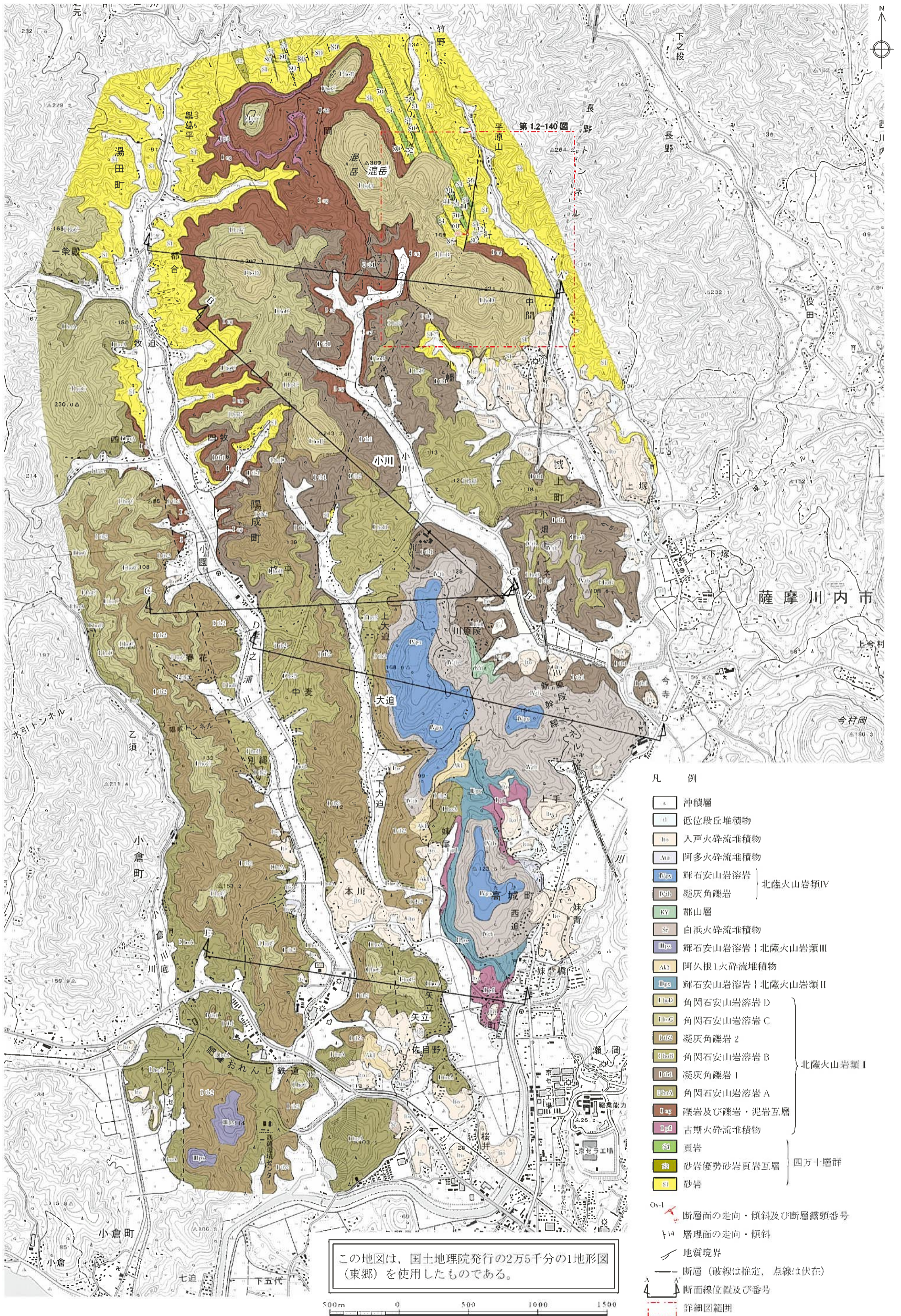
露頭南側に南東側の礫岩層と北西側の百次火砕流堆積物とを境する正断層が、露頭北側に南東側の百次火砕流堆積物と北西側の舟川火砕流堆積物とを境する高角度断層が認められる。
 いずれの断層面も湾曲し、癒着しており、破碎部も固結している。

- 凡例
-  礫岩 | 礫岩層
 -  スコリア流堆積物 | 舟川火砕流堆積物
 -  溶結凝灰岩 | 百次火砕流堆積物
 -  細粒破碎部
- f.N88W,70S 断層面の走向・傾斜
 j.N13W,39E 節理面の走向・傾斜

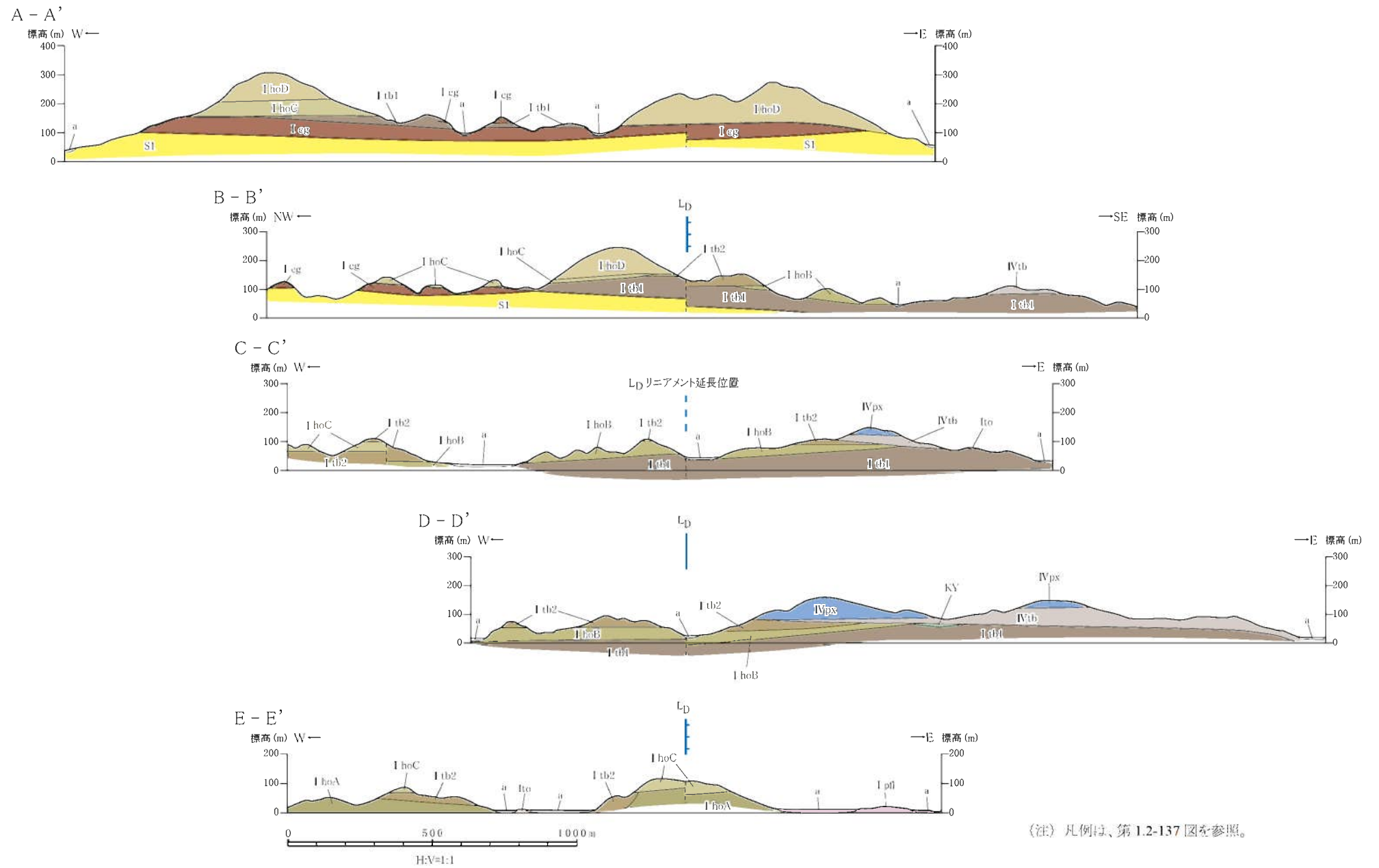
第1.2-135図(4) 露頭スケッチ (Loc.Hg-4, 薩摩川内市大原野東方)



第1.2-136図 大迫リアメント周辺の空中写真判読図



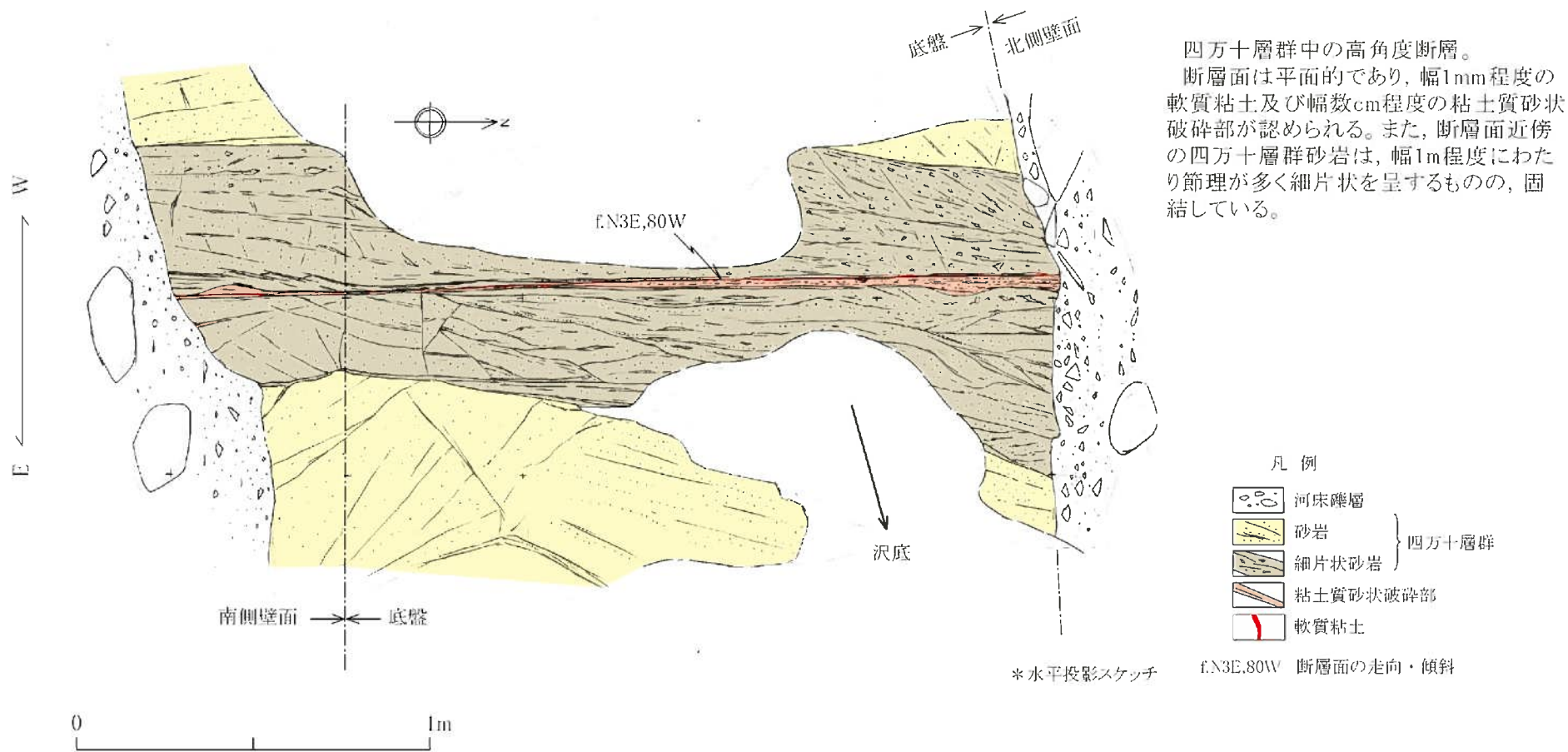
第1.2-137図 大迫リニアメント周辺の地質図



〔注〕凡例は、第1.2-137図を参照。

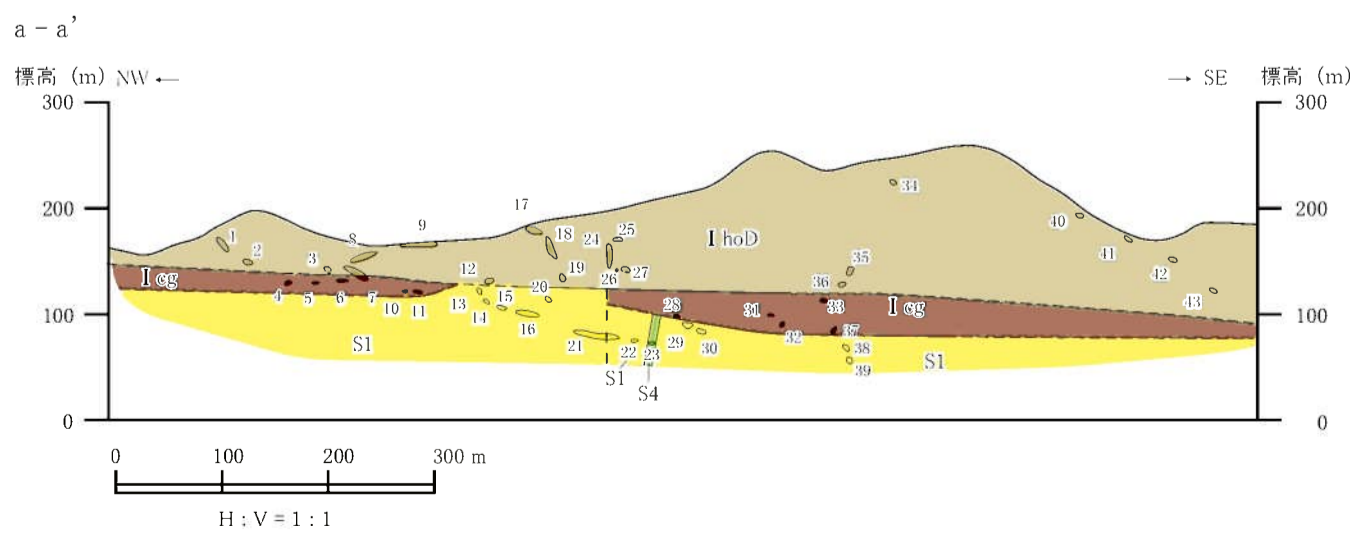
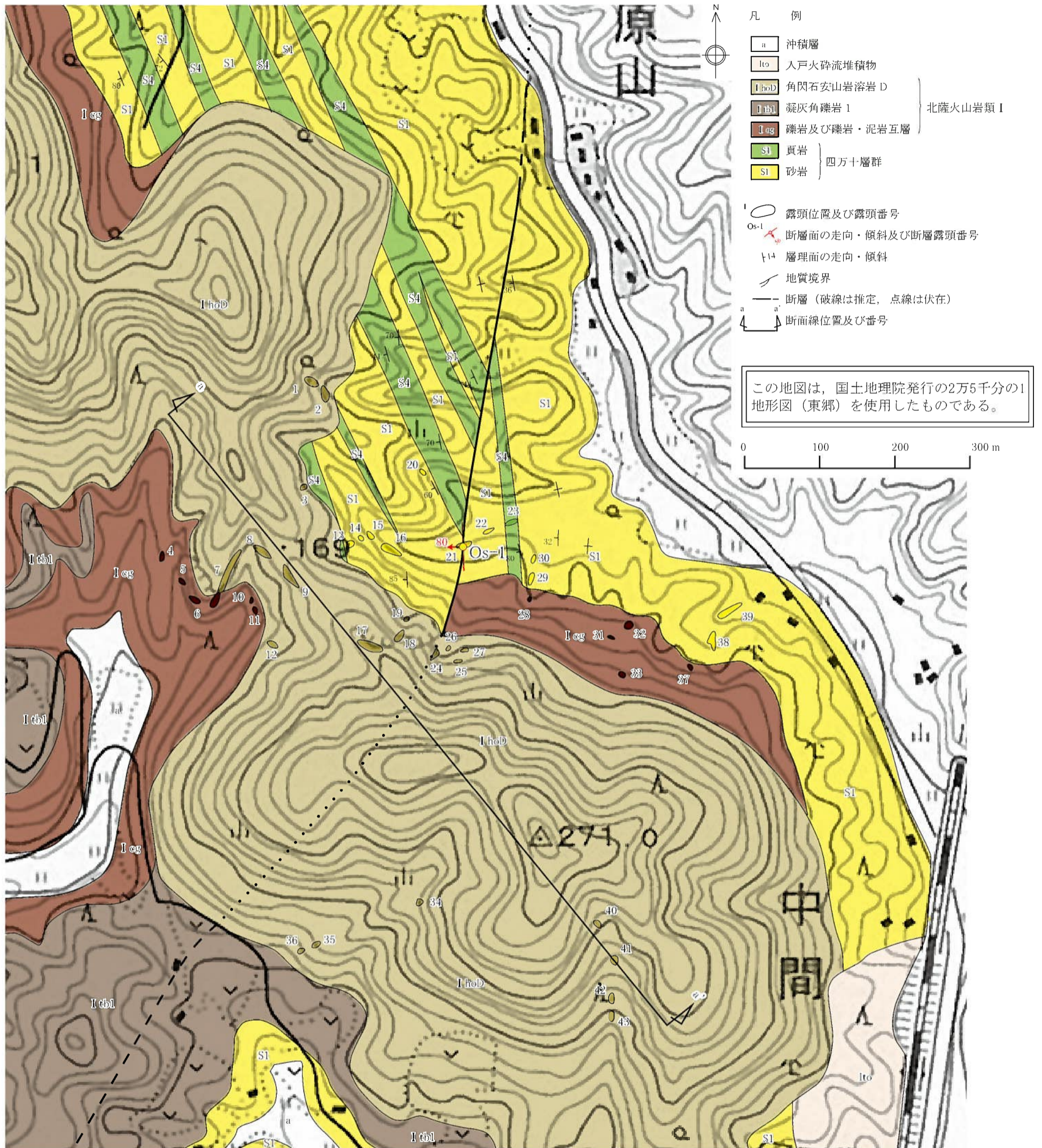
第1.2-138図 大迫リニアメント周辺の地質断面図

1.2-611

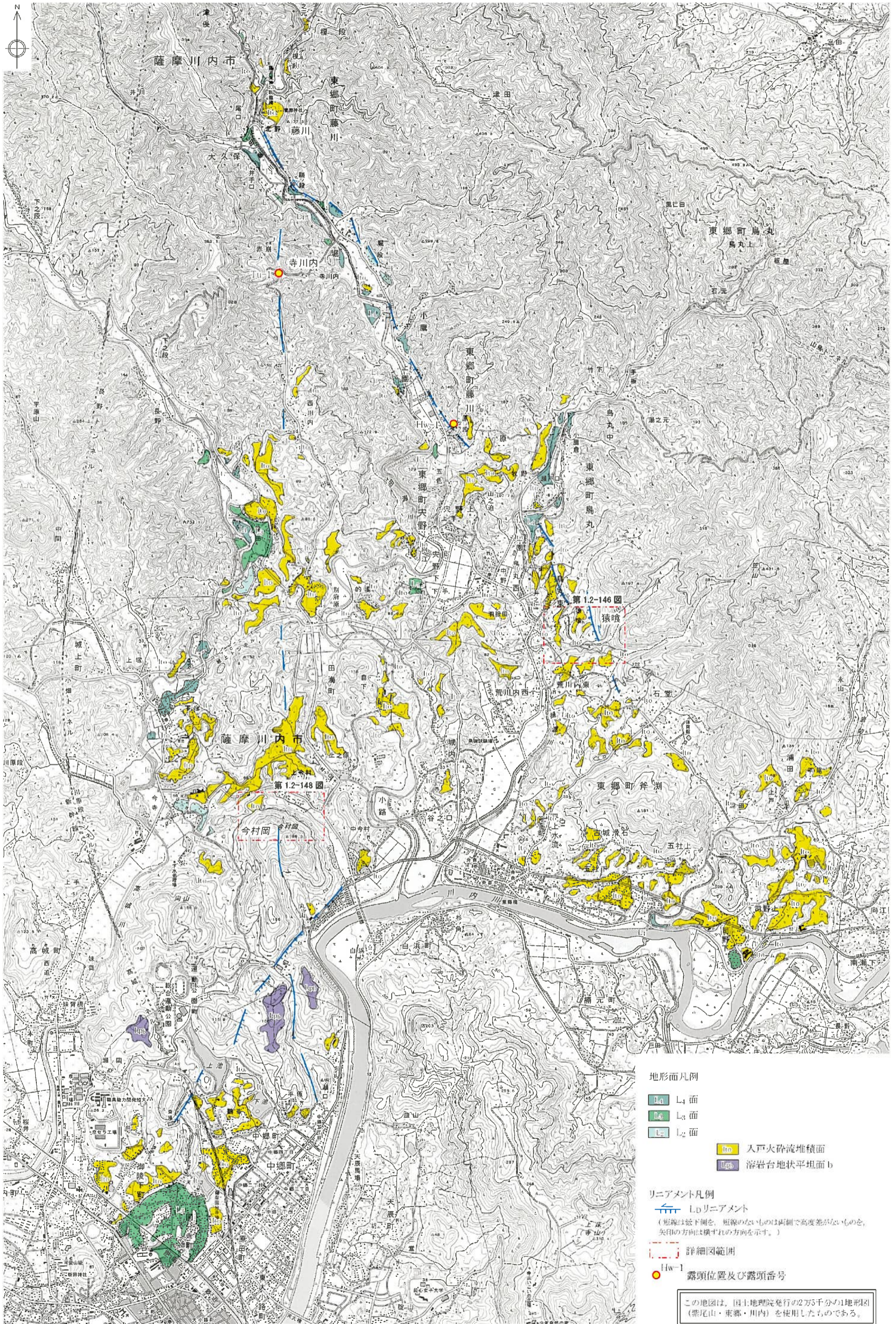


四万十層群中の高角度断層。
 断層面は平面的であり、幅1mm程度の軟質粘土及び幅数cm程度の粘土質砂状破碎部が認められる。また、断層面近傍の四万十層群砂岩は、幅1m程度にわたり節理が多く細片状を呈するものの、固結している。

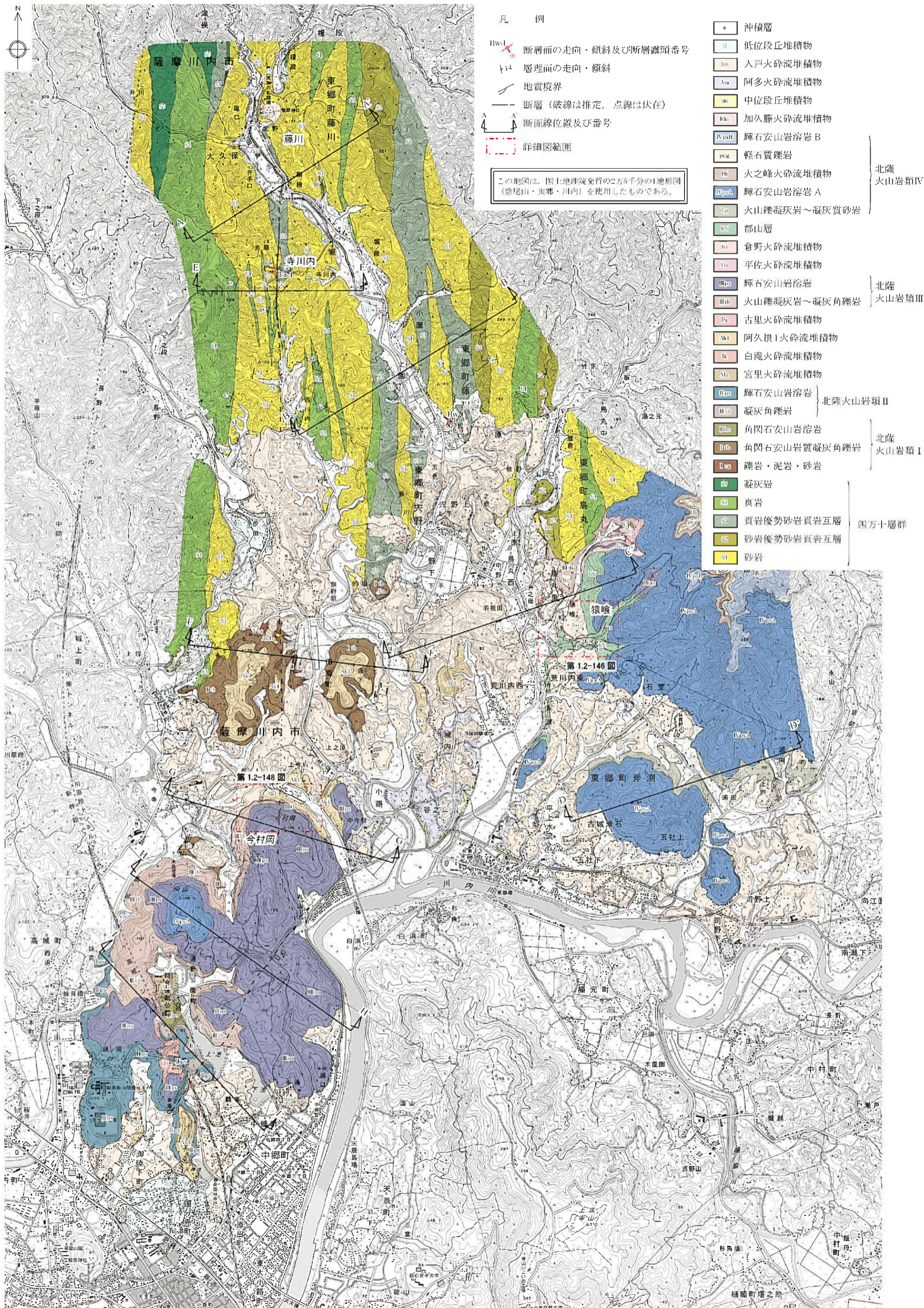
第1.2-139図 露頭スケッチ (Loc.Os-1, 薩摩川内市混岳南東)



第1.2-140図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市混岳付近)



第1.2-141図 樋渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の空中写真判読図



凡 例

Hw-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号

1/14 層理面の走向・傾斜

地質境界

断層 (破線は推定, 点線は伏在)

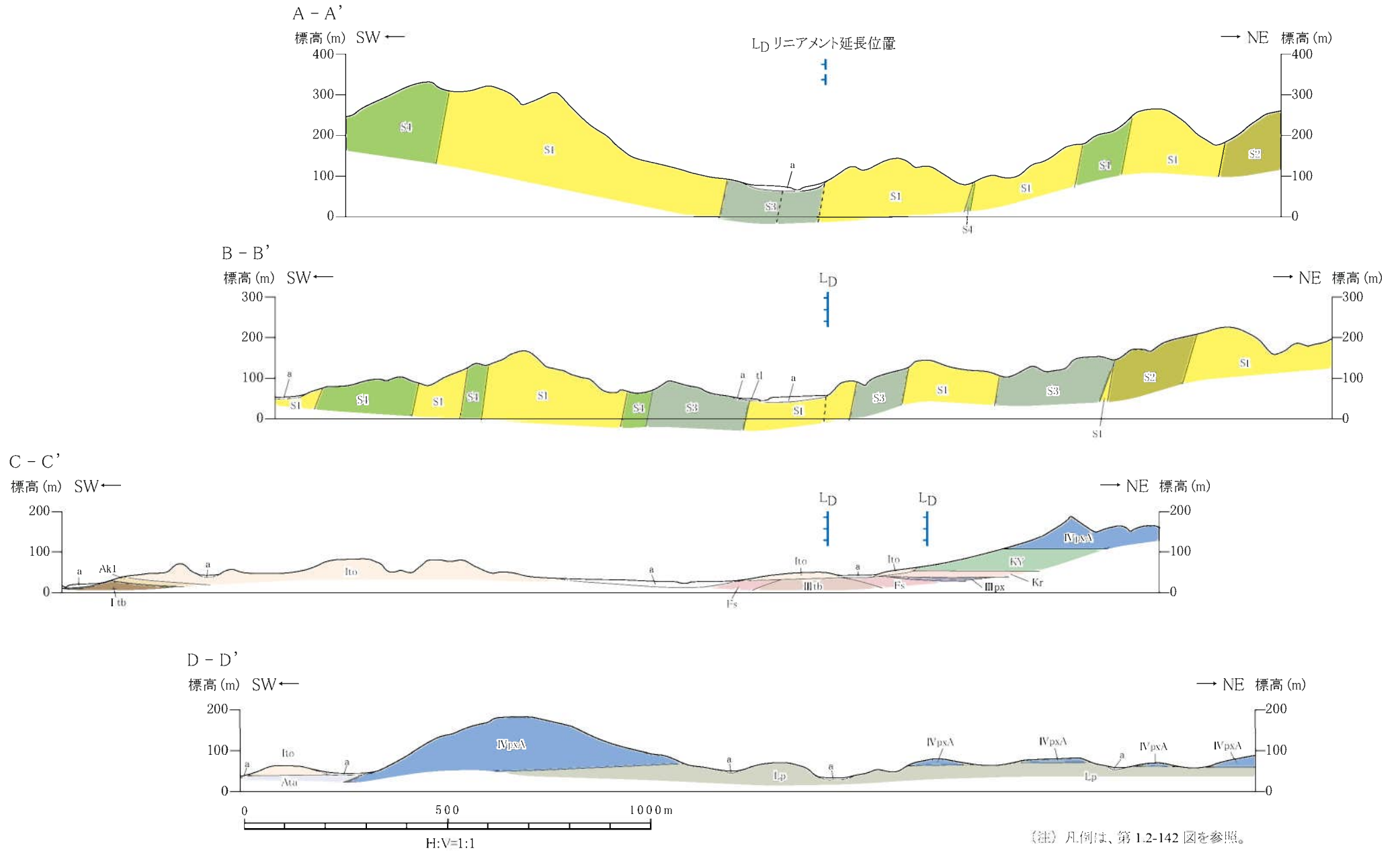
断面線位置及び番号

詳細図範囲

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の地形図 (紫尾山・東郷・川内) を使用したものである。

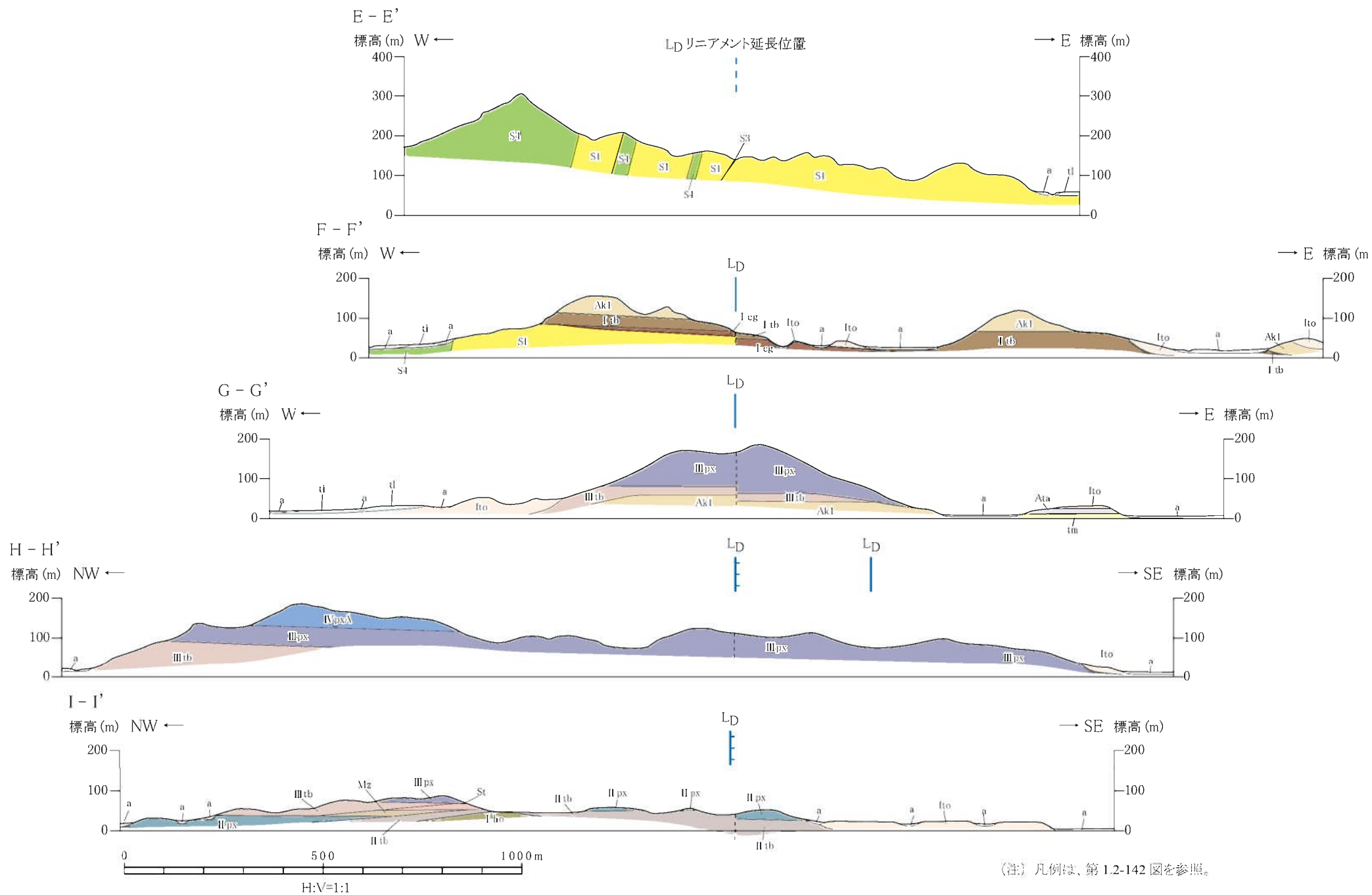
- a 沖積層
 - d 低位段丘堆積物
 - hw 入戸火砕流堆積物
 - Au 阿多火砕流堆積物
 - in 中位段丘堆積物
 - Kk 加久藤火砕流堆積物
 - IpsB 輝石安山岩溶岩 B
 - pcg 軽石質礫岩
 - Hu 火之峰火砕流堆積物
 - IpsA 輝石安山岩溶岩 A
 - lp 火山礫凝灰岩～凝灰質砂岩
 - tsv 郡山層
 - kr 倉野火砕流堆積物
 - hs 平佐火砕流堆積物
 - Ips 輝石安山岩溶岩
 - llcb 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
 - fs 古里火砕流堆積物
 - aki 阿久根1火砕流堆積物
 - st 白滝火砕流堆積物
 - ma 宮里火砕流堆積物
 - Ips 輝石安山岩溶岩
 - llc 凝灰角礫岩
 - llca 角閃石安山岩溶岩
 - llcb 角閃石安山岩質凝灰角礫岩
 - lcs 礫岩・泥岩・砂岩
 - ss 凝灰岩
 - sl 頁岩
 - ss 頁岩優勢砂岩頁岩互層
 - ss 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - sl 砂岩
- 北陸火山岩類IV
- 北陸火山岩類III
- 北陸火山岩類II
- 北陸火山岩類I
- 四万十層群

第1.2-142図 樋渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の地質図

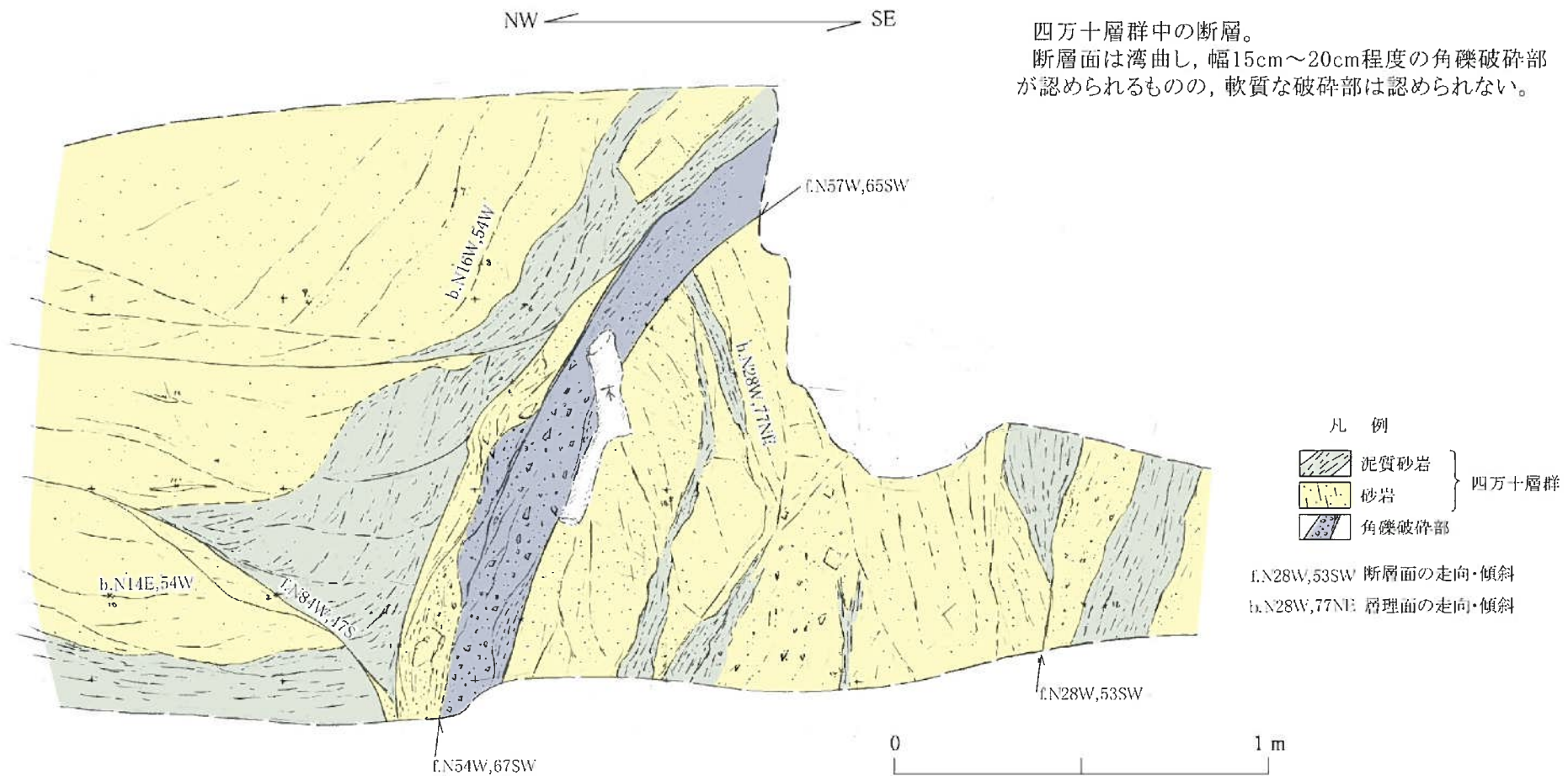


(注) 凡例は、第 1.2-142 図を参照。

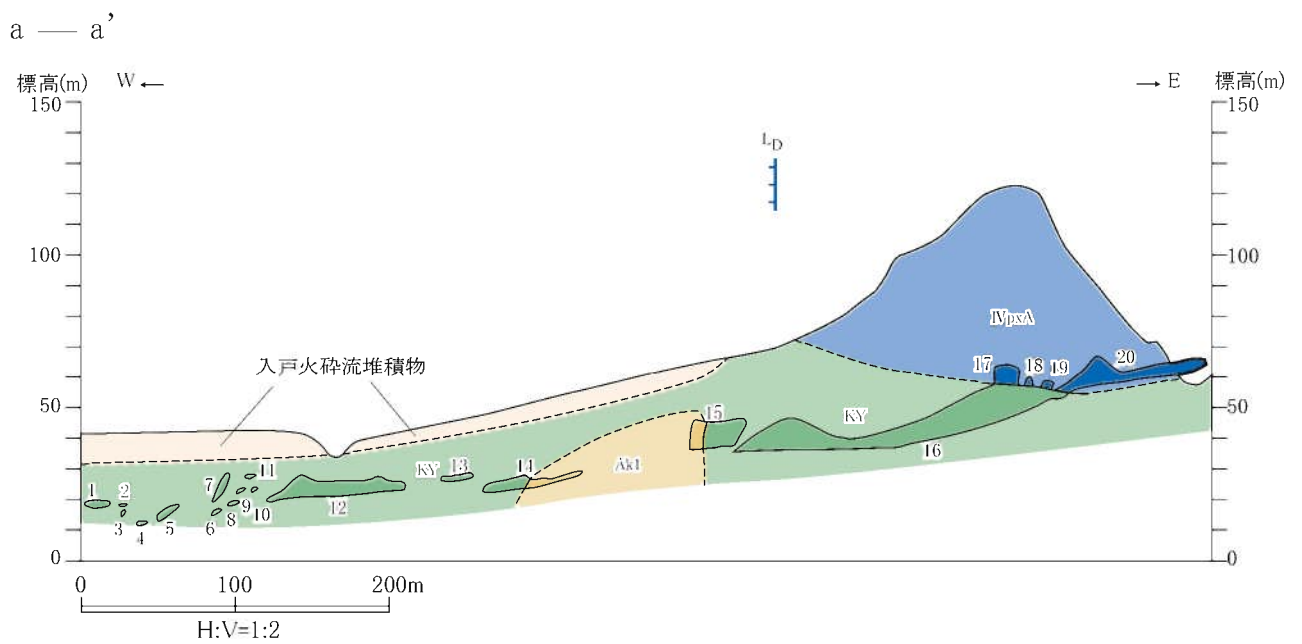
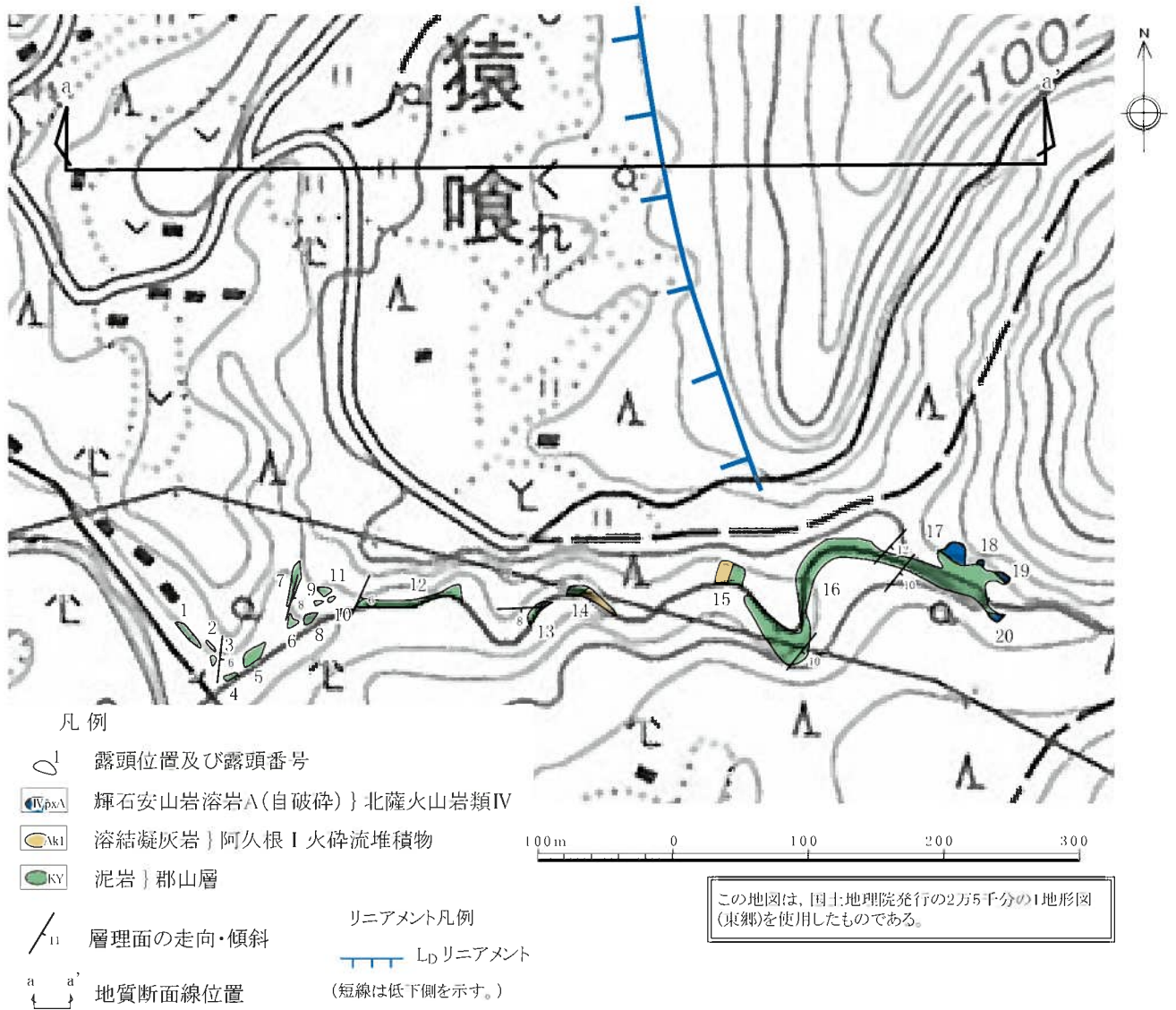
第 1.2-143 図 樋波川リニアメント周辺の地質断面図



第1.2-144図 田海リニアメント周辺の地質断面図

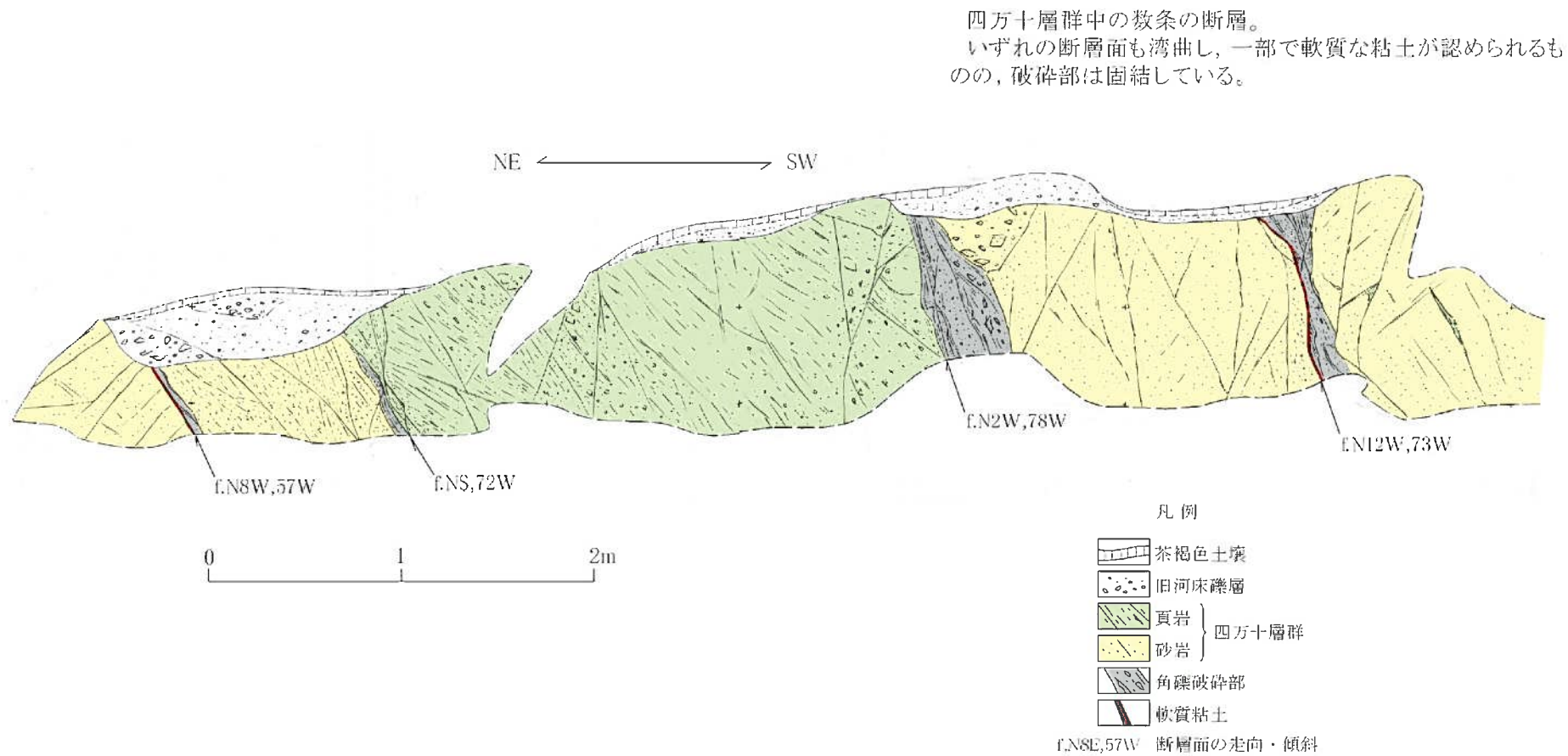


第1.2-145図 露頭スケッチ (Loc.Hw-1, 薩摩川内市東郷町藤川)



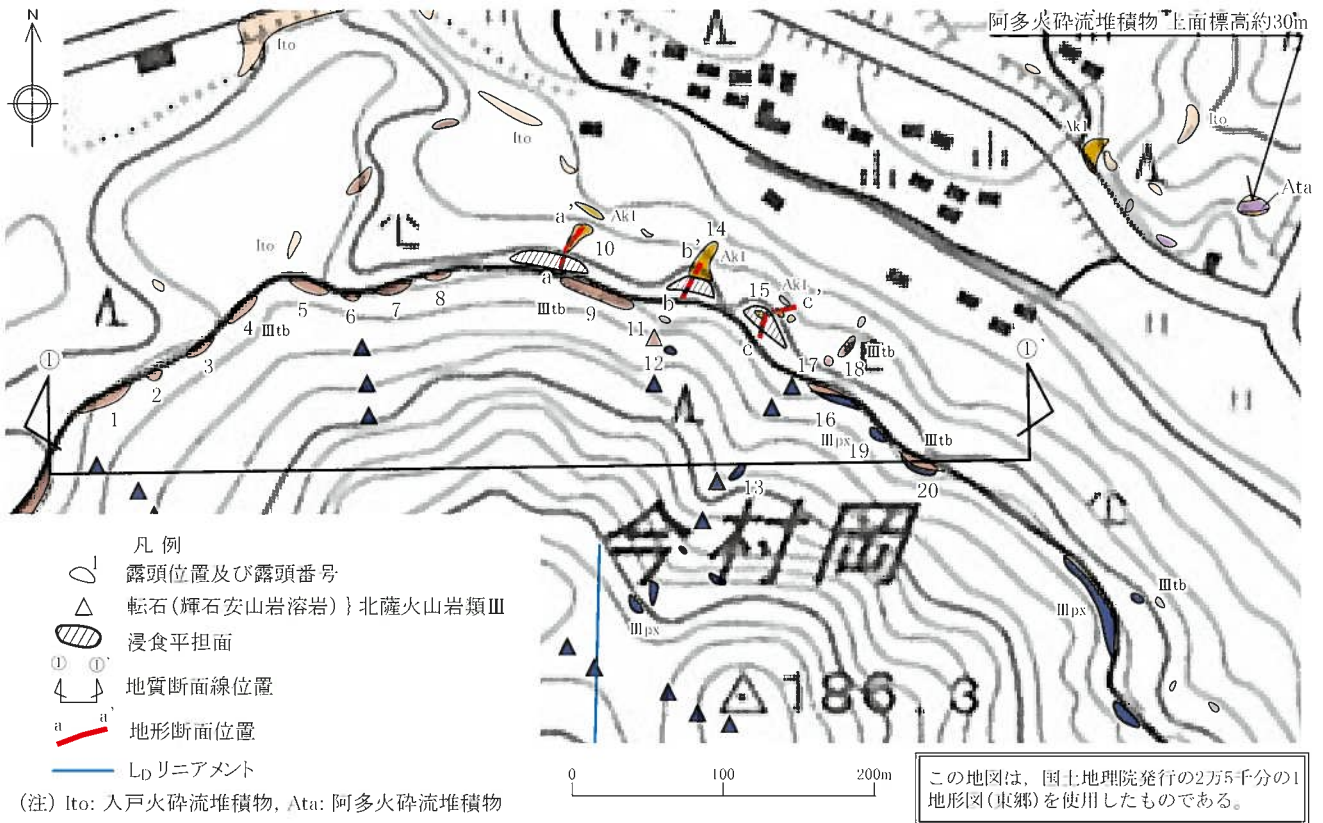
第1.2-146図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市東郷町猿喰付近)

1.2-619

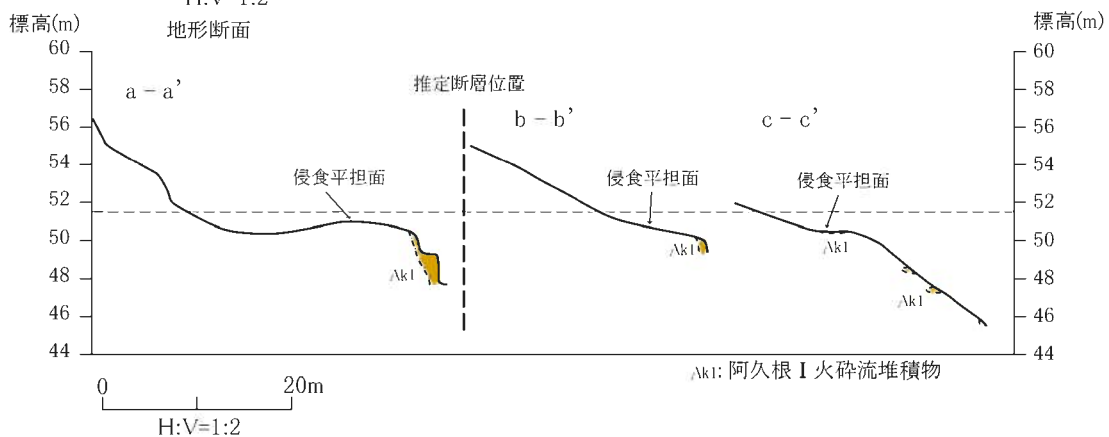
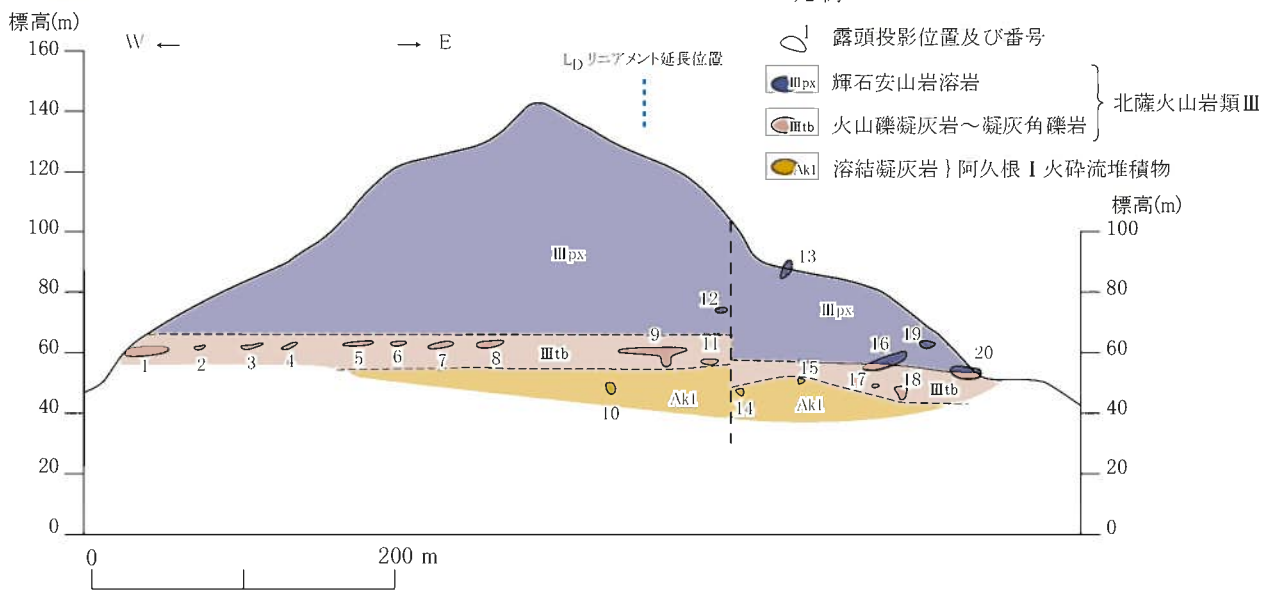


四万十層群中の数条の断層。
 いずれの断層面も湾曲し、一部で軟質な粘土が認められるものの、破碎部は固結している。

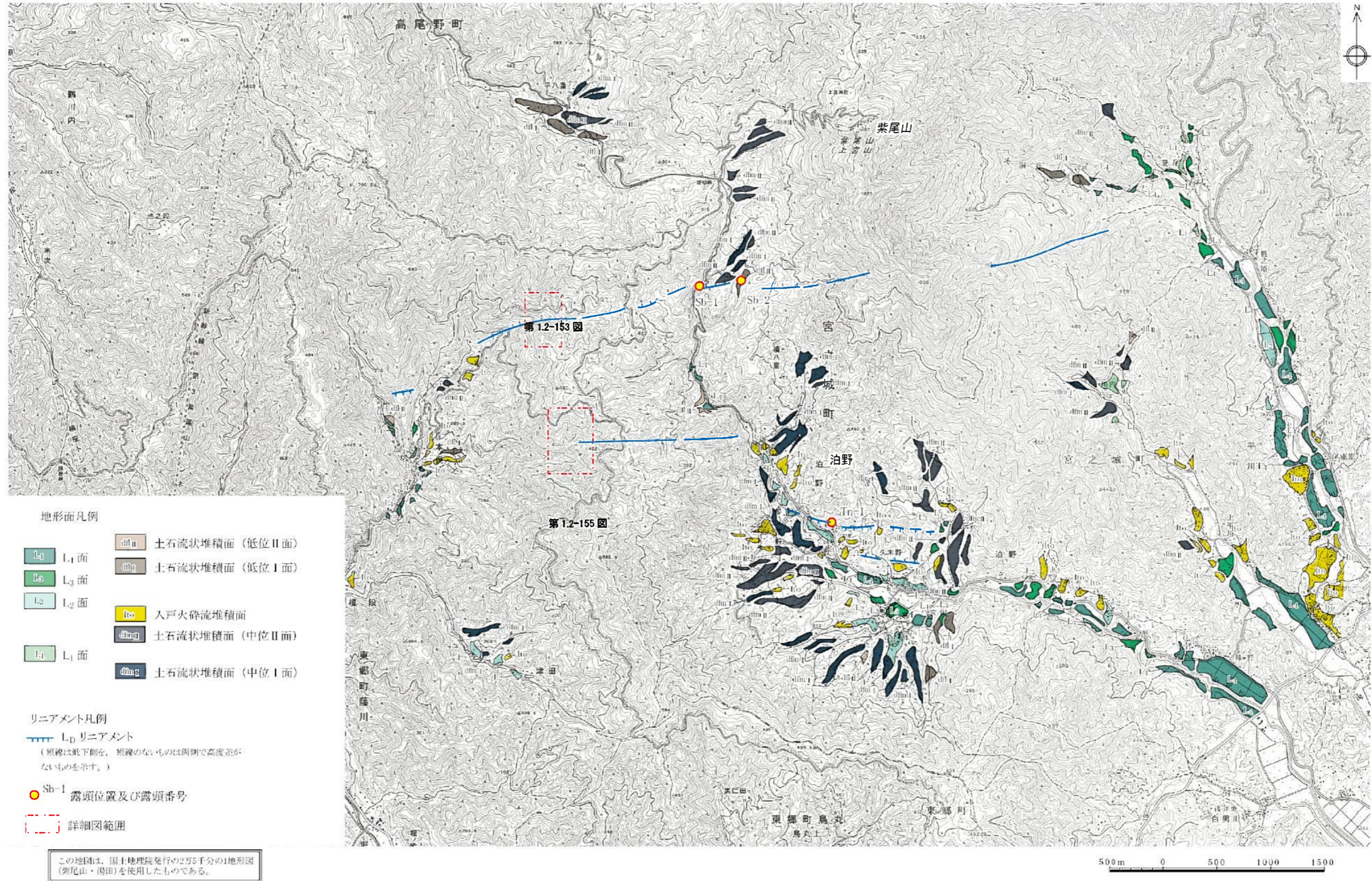
第1.2-147図 露頭スケッチ (Loc.Tu-1, 薩摩川内市東郷町藤川南西)



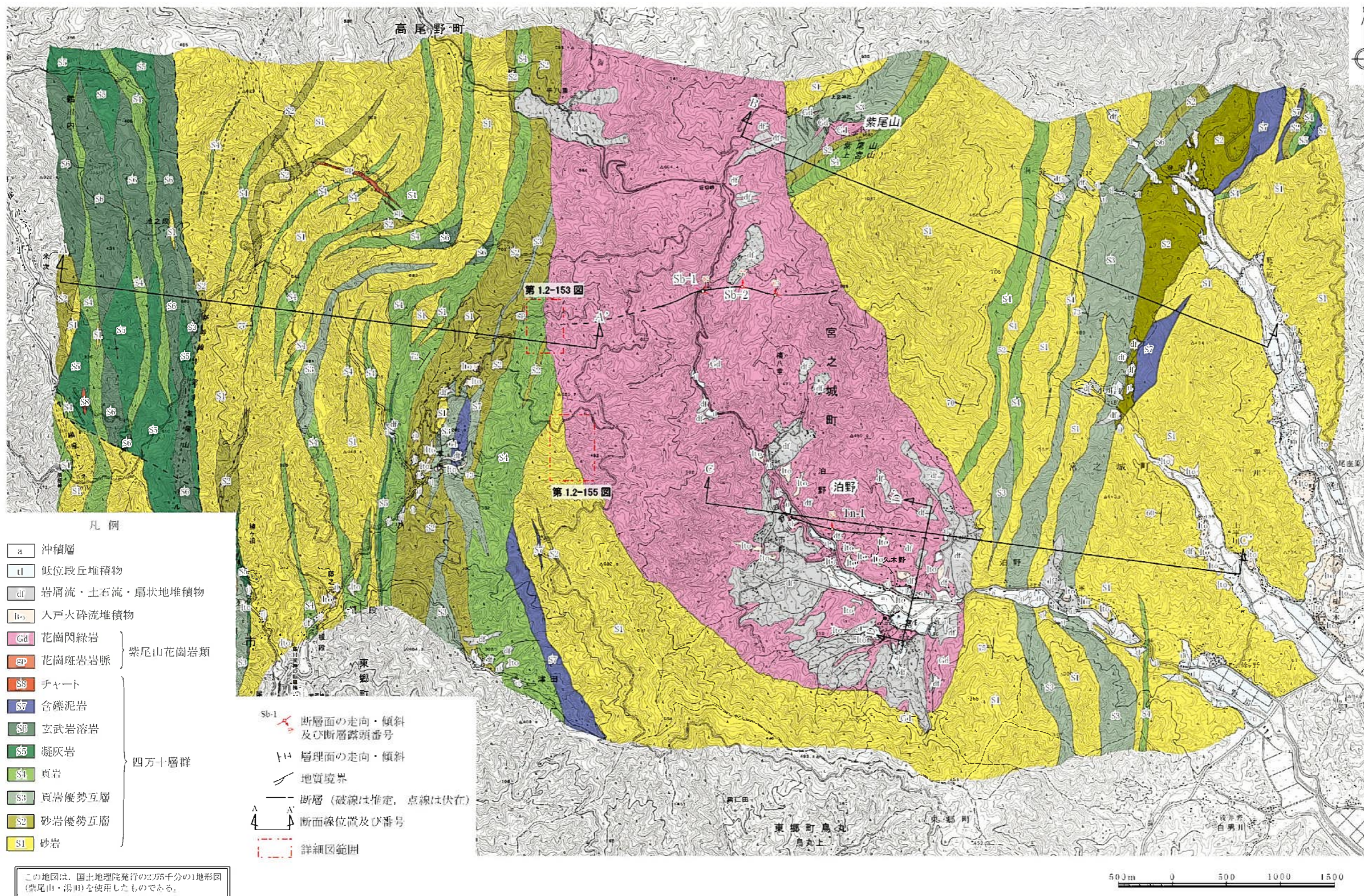
① - ①' 断面



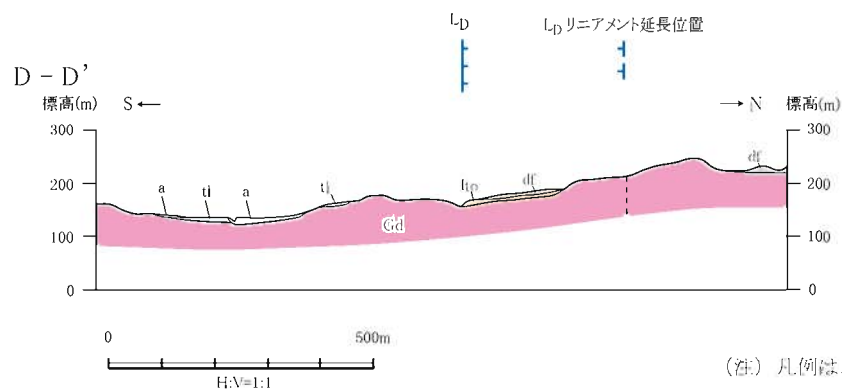
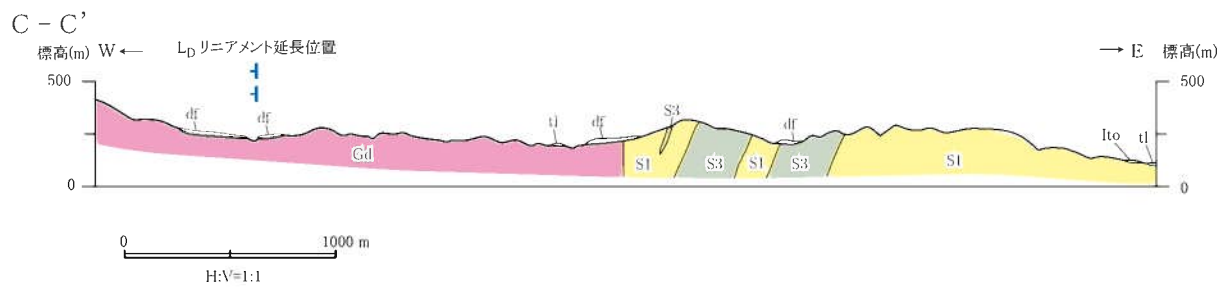
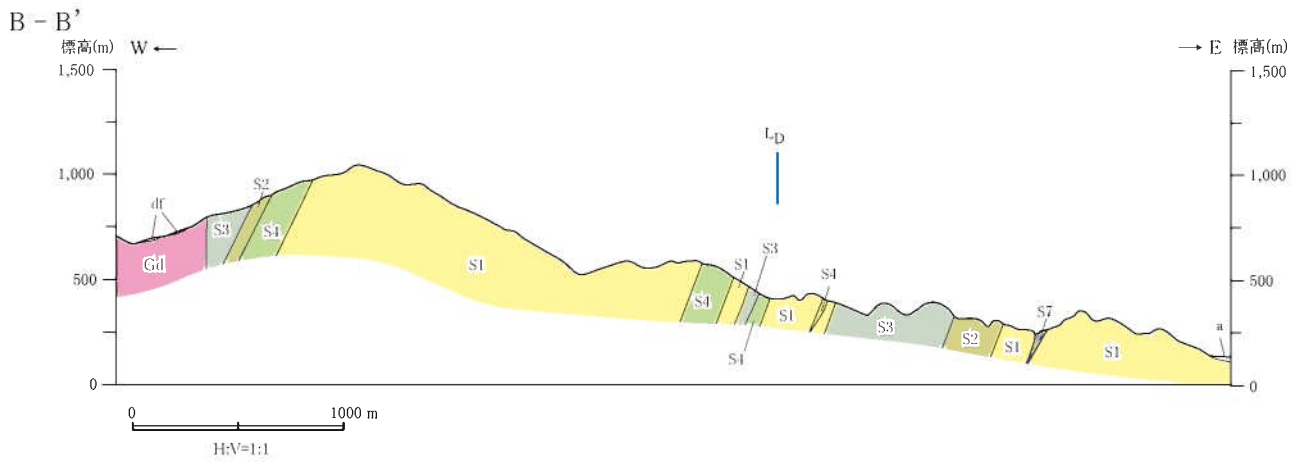
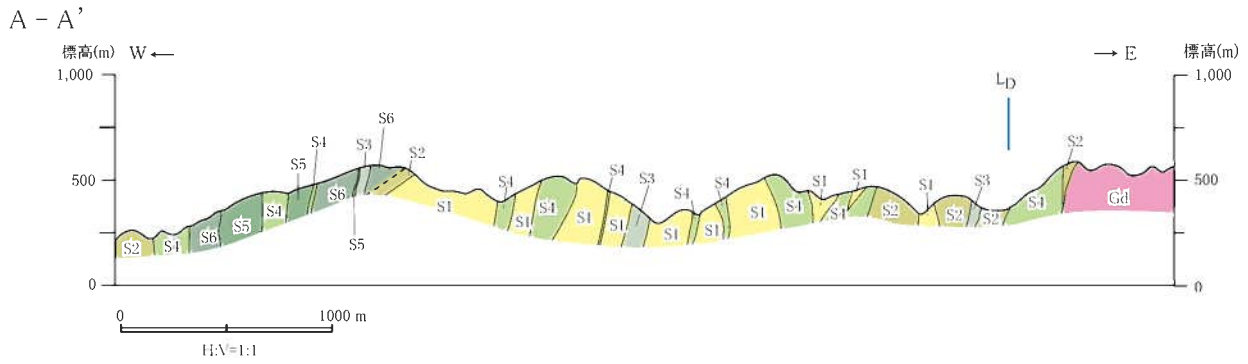
第1.2-148図 ルートマップ及び地質・地形断面図(薩摩川内市今村岡付近)



第1.2-149図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の空中写真判読図



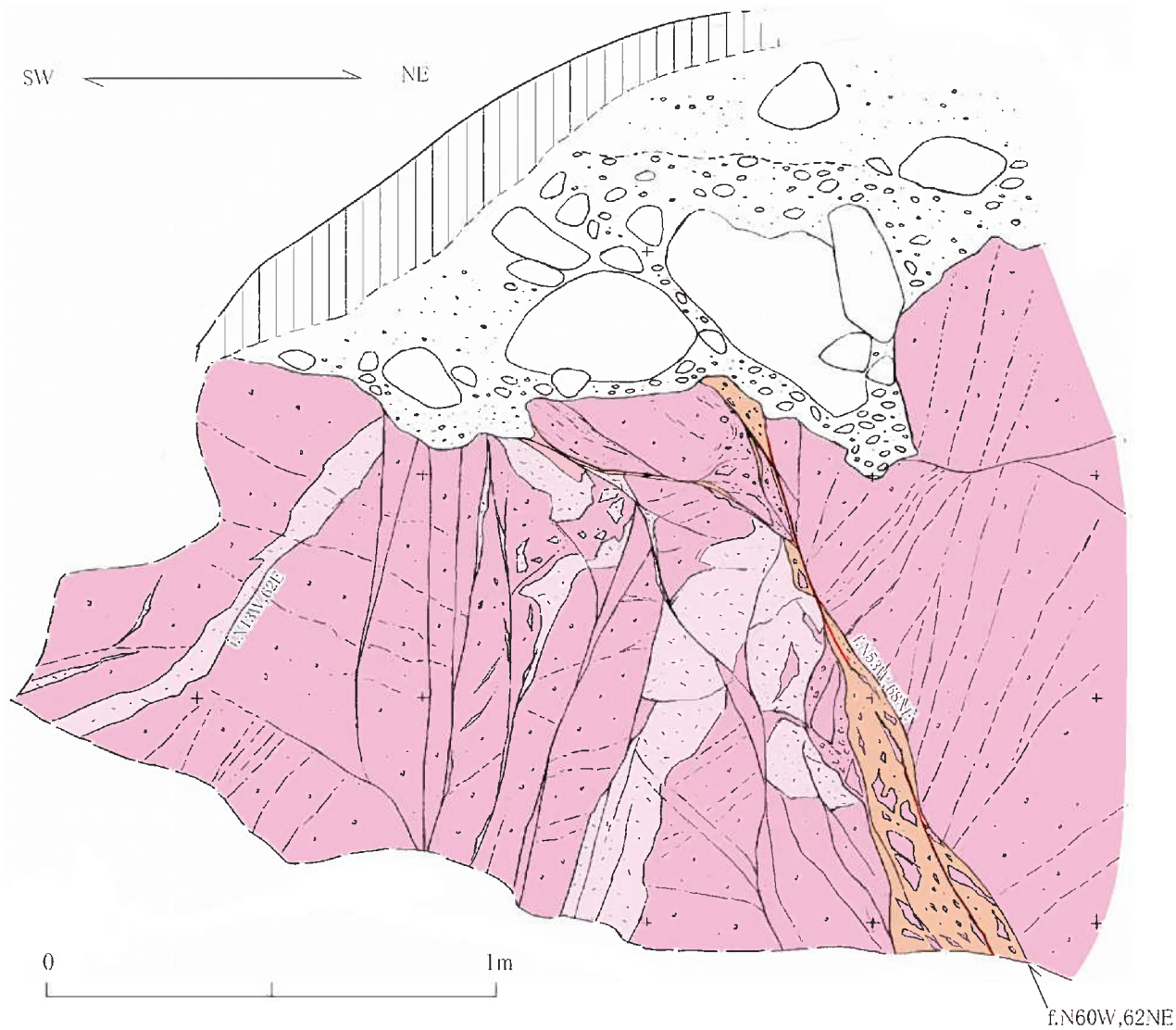
第1.2-150図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-150 図を参照。

第 1.2-151 図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質断面図

1.2-624



花崗閃緑岩（紫尾山花崗岩類）中の断層。
断層面は湾曲し、幅 1mm 程度の軟質粘土
及び幅数 cm ~ 30cm 程度の鱗片状破碎部が
認められる。

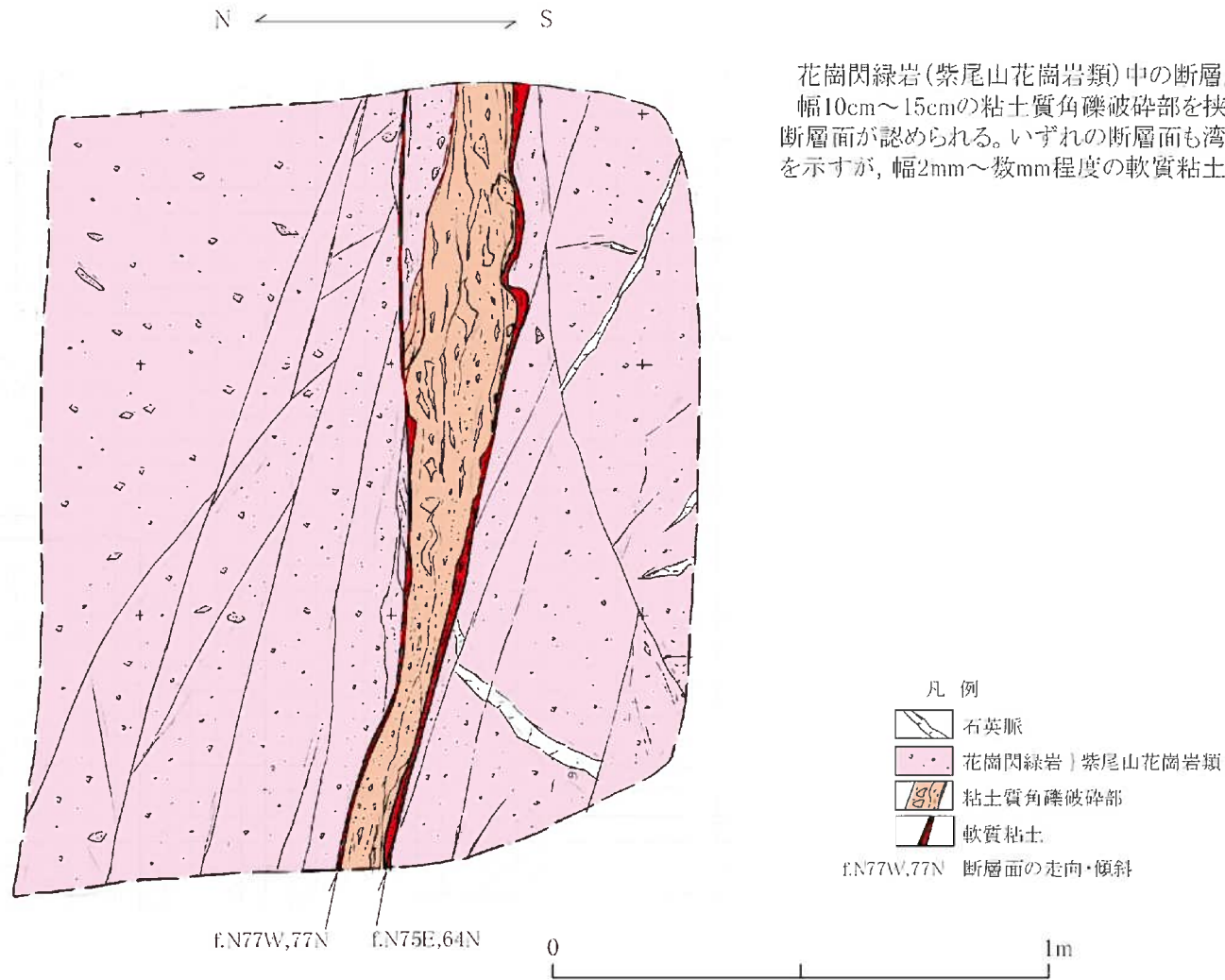
凡例

- 褐色土壌
- 礫層 | 旧河床礫層
- 花崗閃緑岩 | 紫尾山花崗岩類
- アプライト脈
- 含礫鱗片状破碎部
- 軟質粘土

f.N60W,62NE 断層面の走向・傾斜

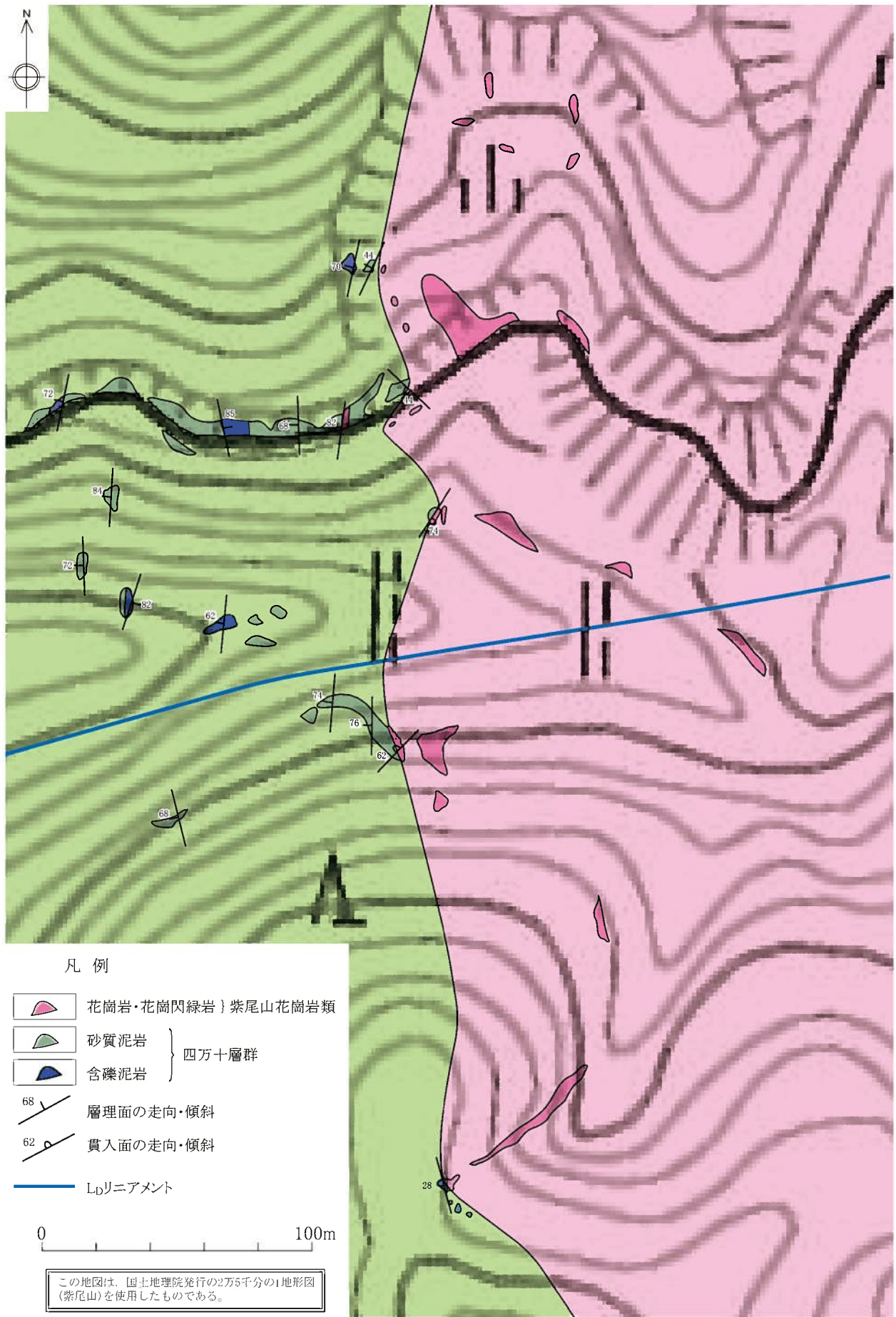
i.N13W,62E 貫入面の走向・傾斜

第1.2-152図(1) 露頭スケッチ (Loc.Sb-1, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)

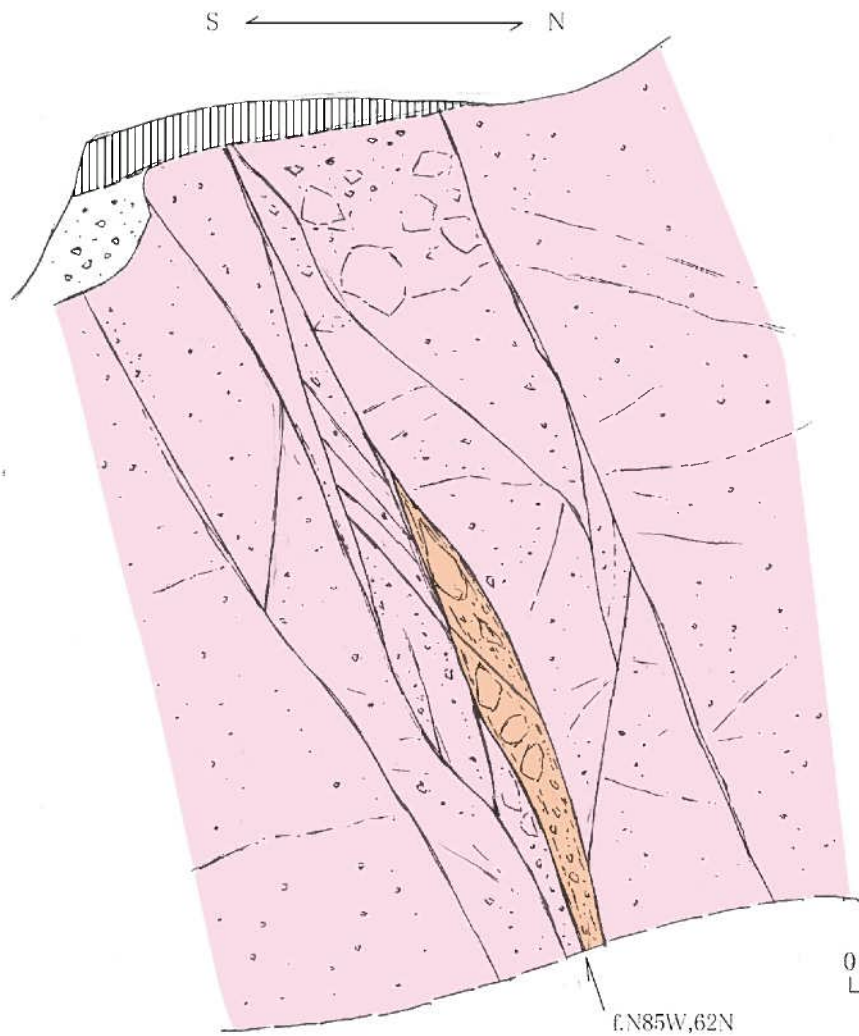


花崗閃緑岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
 幅10cm~15cmの粘土質角礫破碎部を挟んでその両側に断層面が認められる。いずれの断層面も湾曲あるいは凹凸を示すが、幅2mm~数mm程度の軟質粘土が認められる。




第1.2-152図(2) 露頭スケッチ (Loc.Sb-2, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)



第1.2-153図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本俣北東付近)

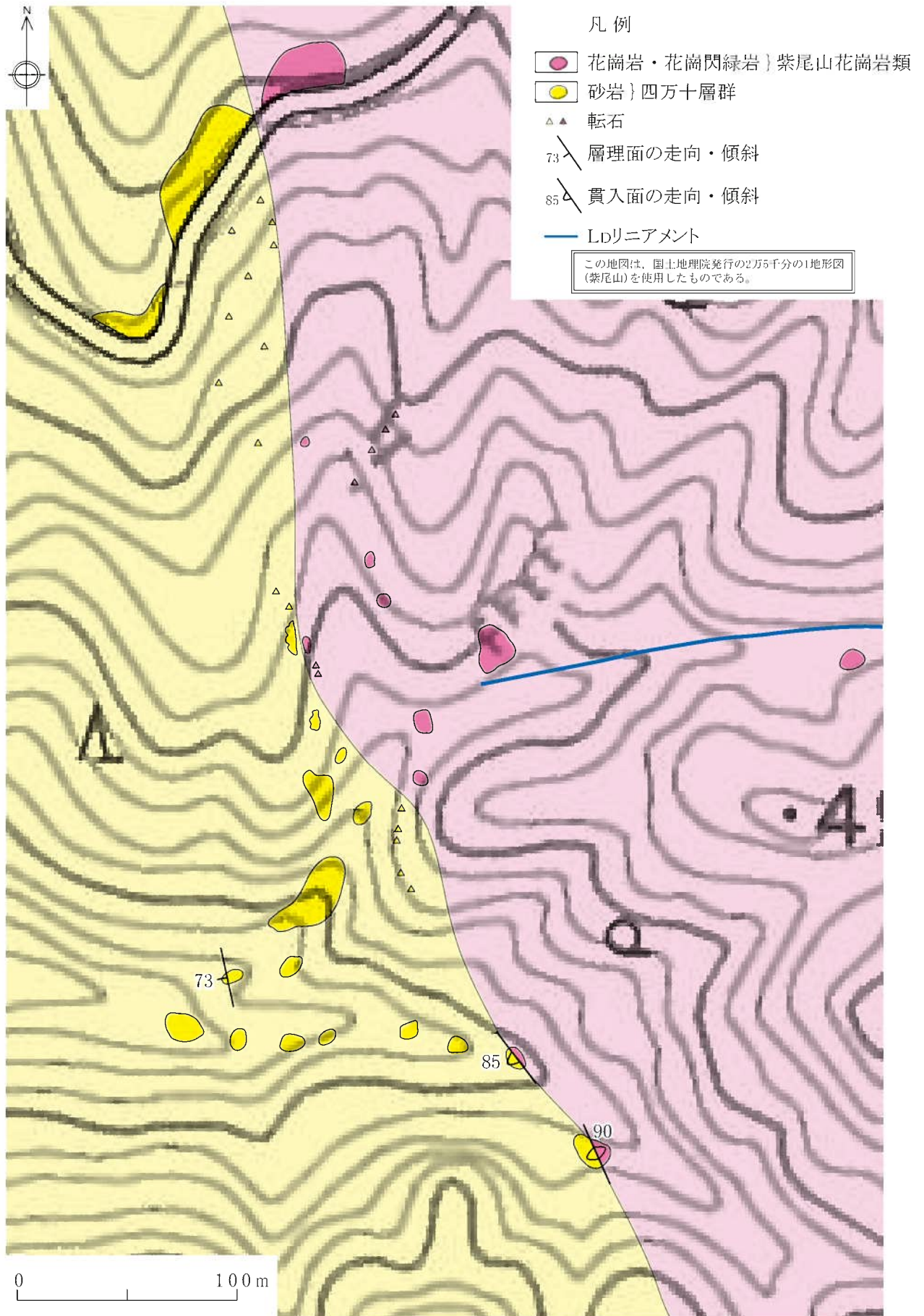


花崗閃緑岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
 断層面は湾曲し、一部で幅5cm~10cm程度の角礫破碎部が楔状に分布するものの、いずれにも軟質な破碎部は認められず、断層面近傍の花崗閃緑岩は節理が多いものの、固結している。

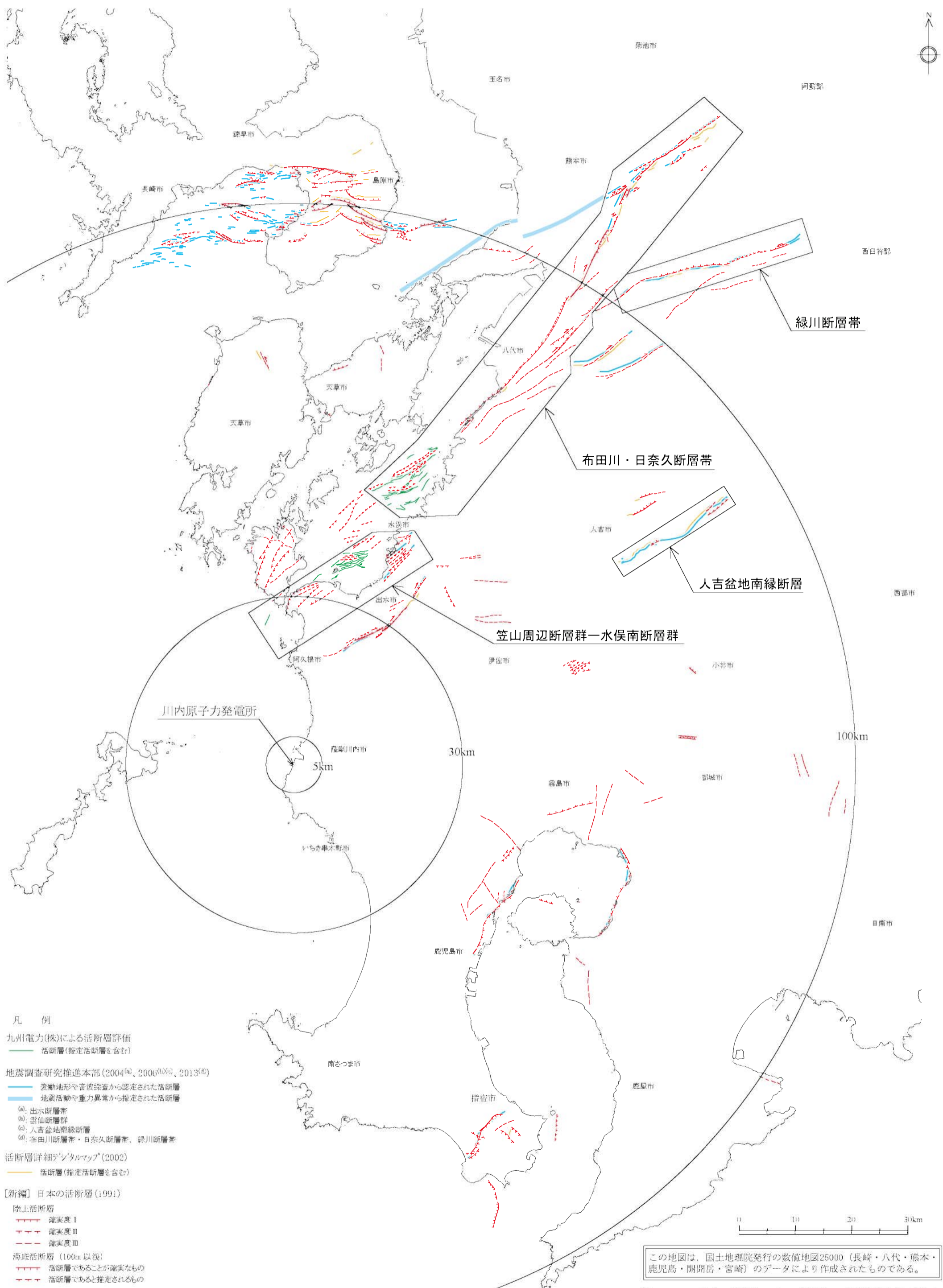
- 凡例
-  茶褐色土壌
 -  細礫層 | 崖錐堆積物
 -  花崗閃緑岩 | 紫尾山花崗岩類
 -  角礫破碎部
- E.N85W,62N 断層面の走向・傾斜



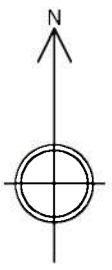
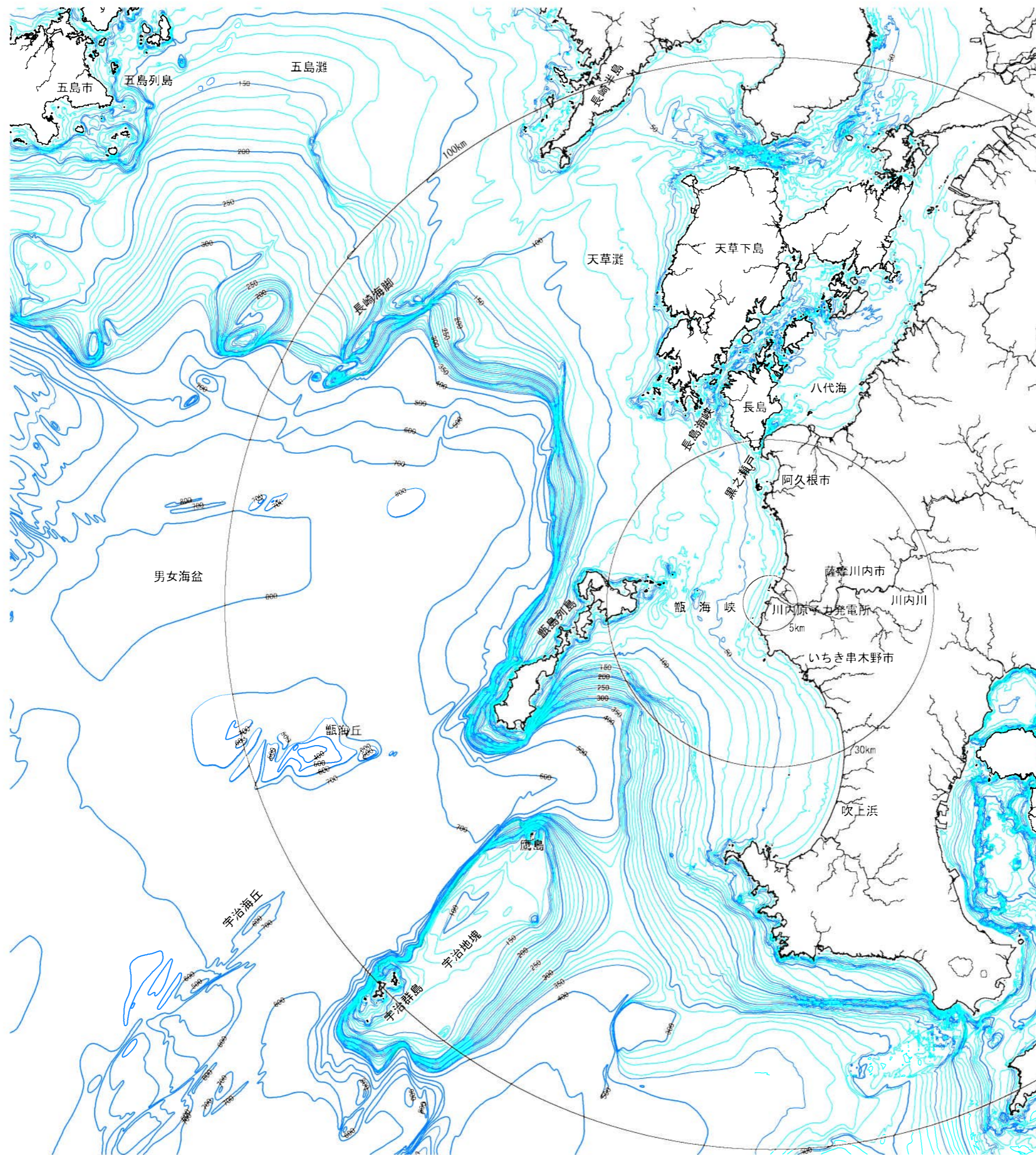
第1.2-154図 露頭スケッチ (Loc.Tn-1, 薩摩郡さつま町南方)



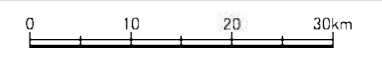
第1.2-155図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本俣東方付近)



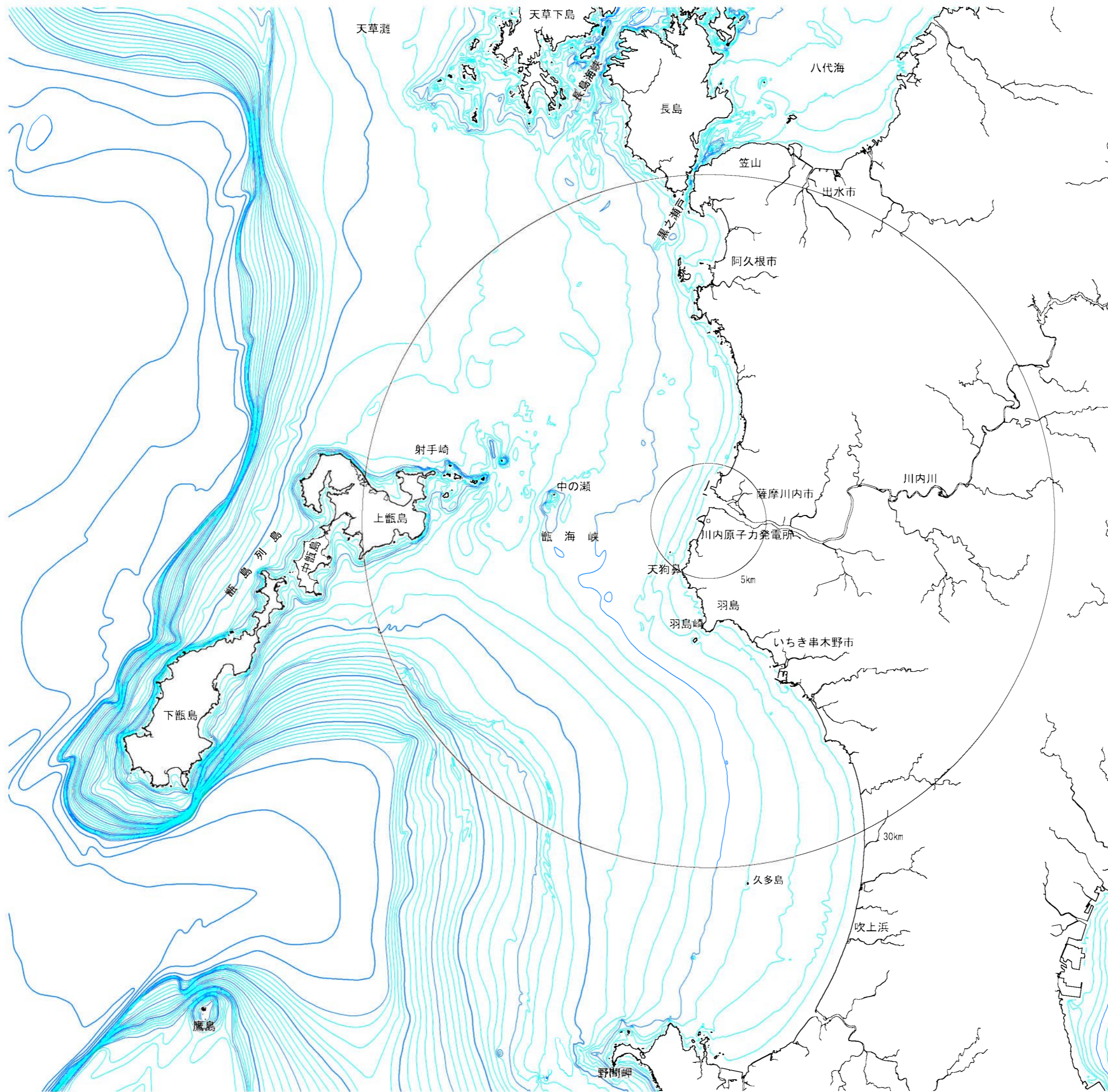
第1.2-156図 半径30km以遠の活断層分布図



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(長崎)他を編集したものである。
 海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。

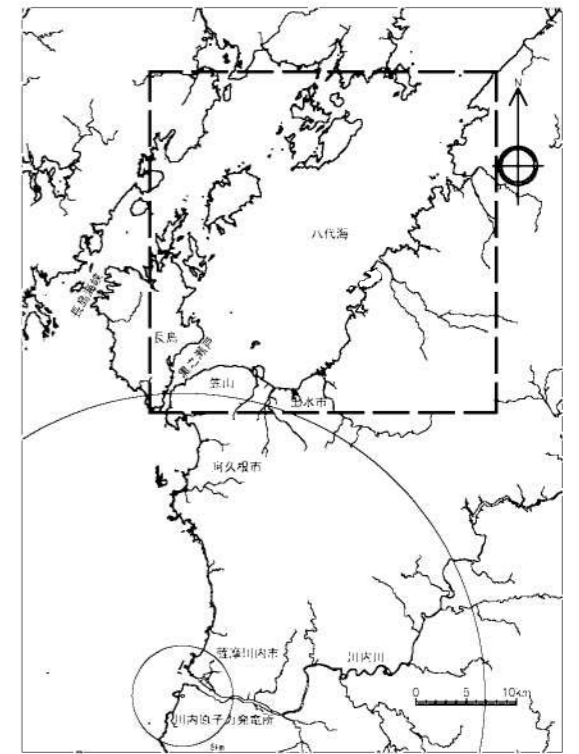
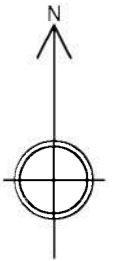
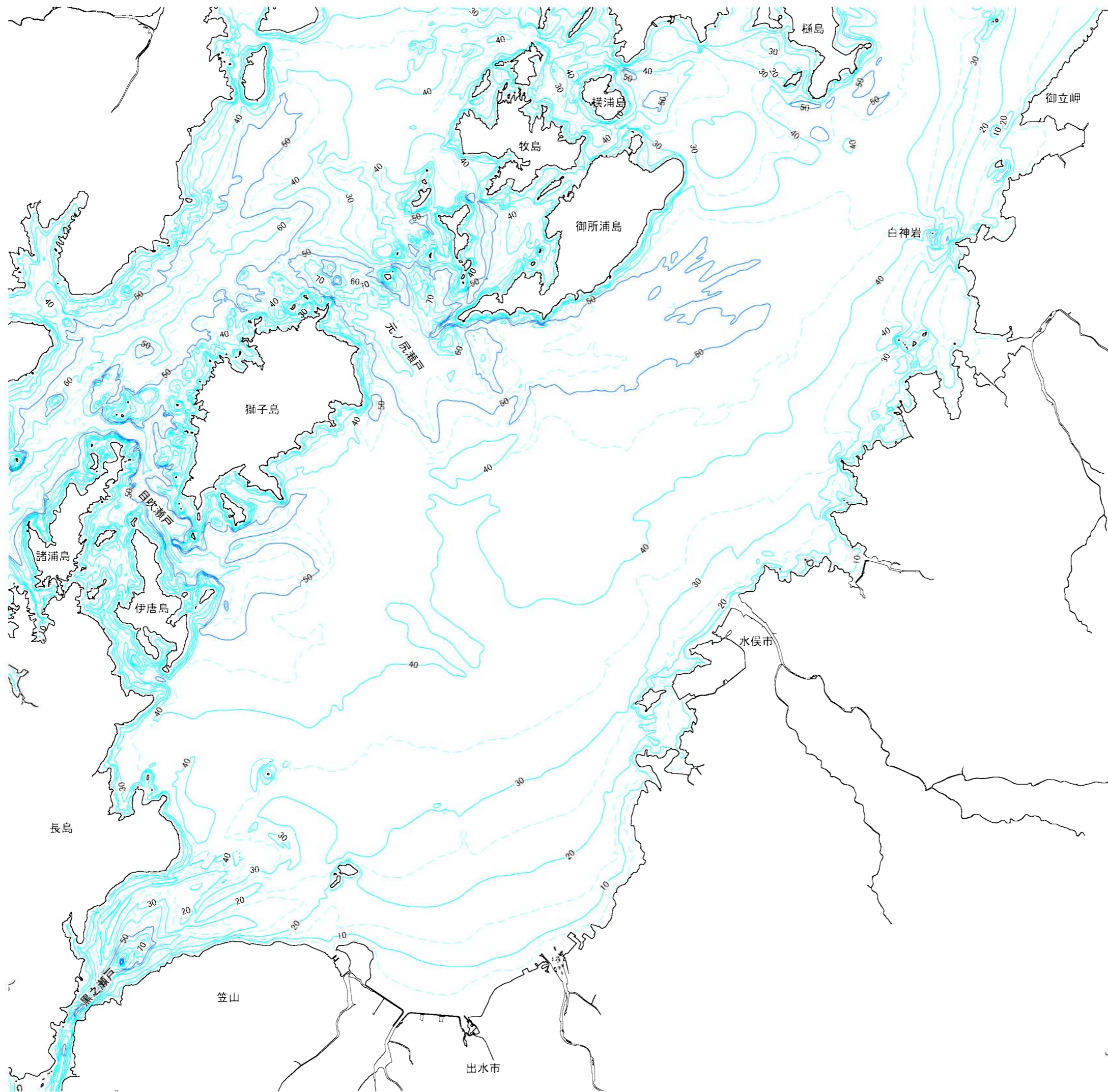


第1.2-157図 敷地周辺海域の海底地形図

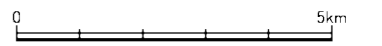


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。

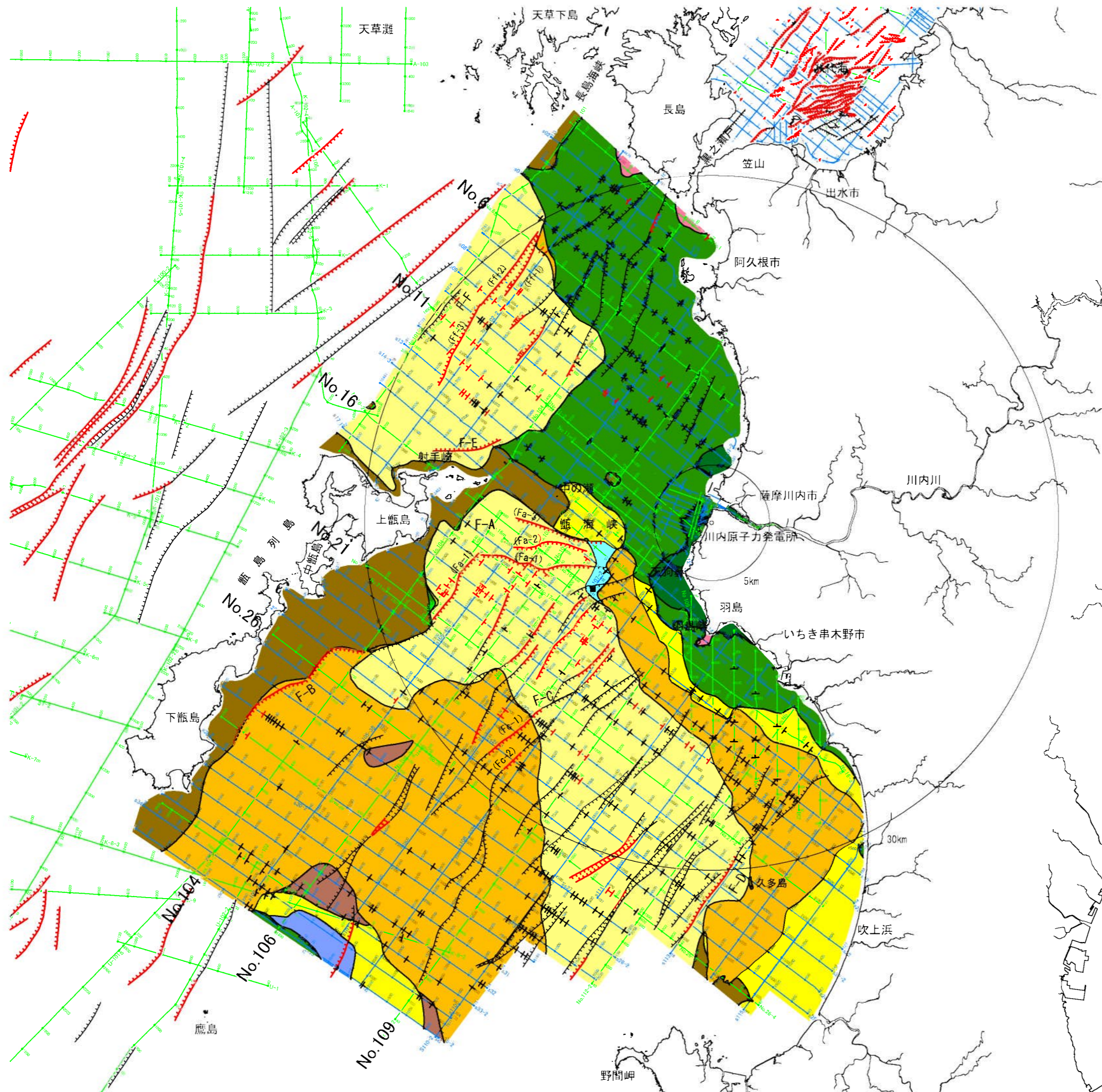
第1.2-158図 敷地前面海域の海底地形図



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(牛深)他を編集したものである。



第1.2-159図 八代海の海底地形図
1.2-632

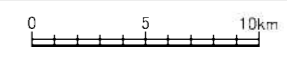


凡 例

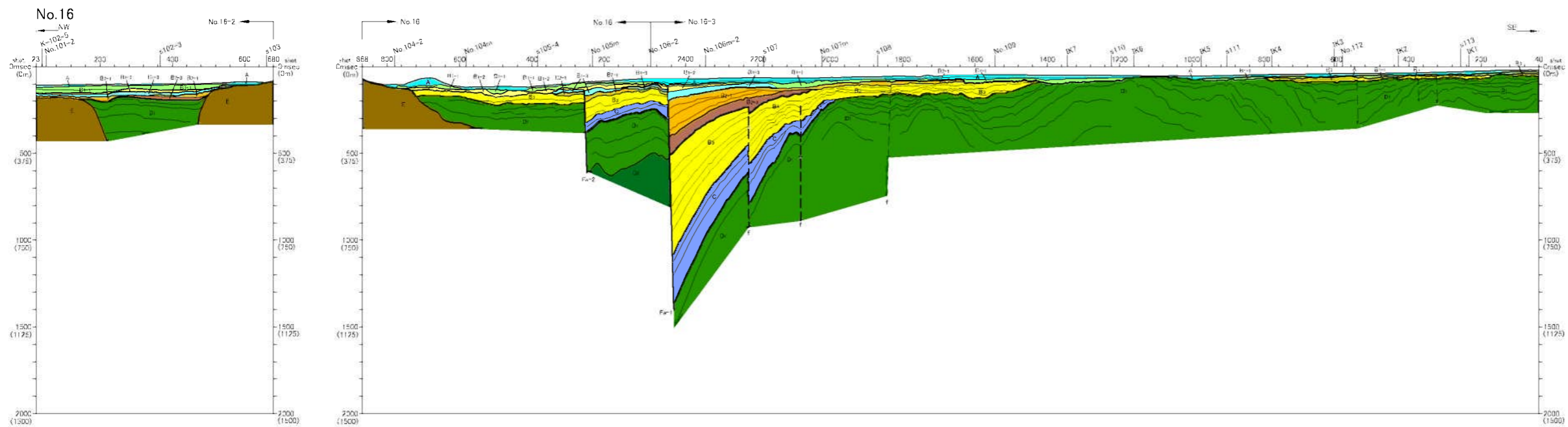
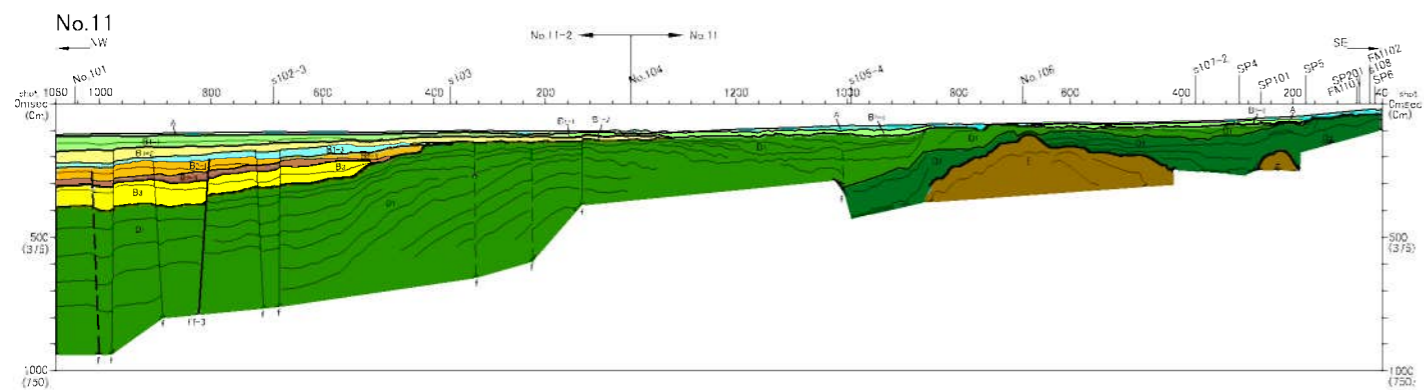
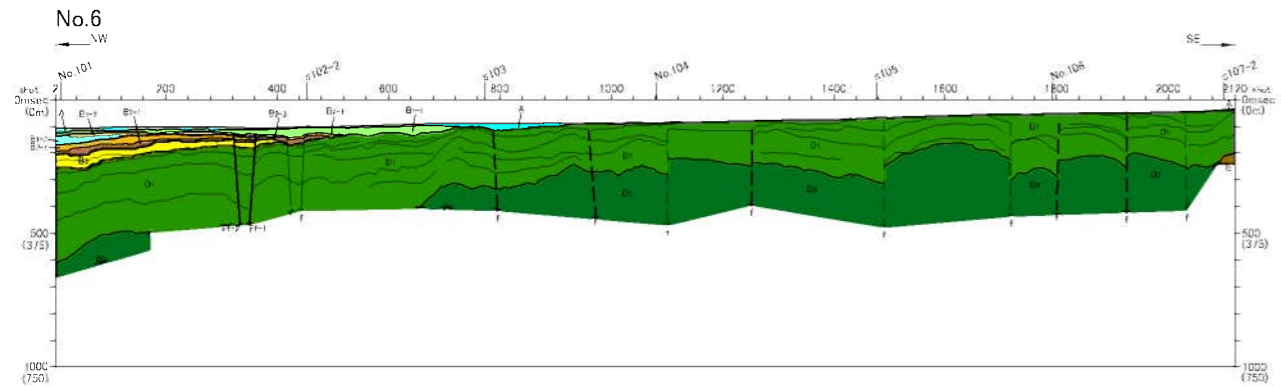
- | | | | |
|------|---------------|------------|--------|
| A | 後期更新世～完新世 | } 第四紀 | |
| B1-1 | } 後期更新世 | | |
| B1-2 | | | |
| B1-3 | 中期～後期更新世 | | |
| B2-1 | } 中期更新世 | | |
| B2-3 | | | |
| B3 | 前期更新世 | | |
| C | 前期更新世 | | |
| D1 | } 中期鮮新世～前期更新世 | | } 新第三紀 |
| V | | | |
| D2 | 後期中新世～前期鮮新世 | } 中生代～新第三紀 | |
| E | ジュラ紀～前期中新世 | | |

- 地層境界
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スパーク)
- 海上ボーリング地点

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



第1.2-160図 敷地前面海域の海底地質図
[A層及びB1層を除いた海底地質図]
1.2-633

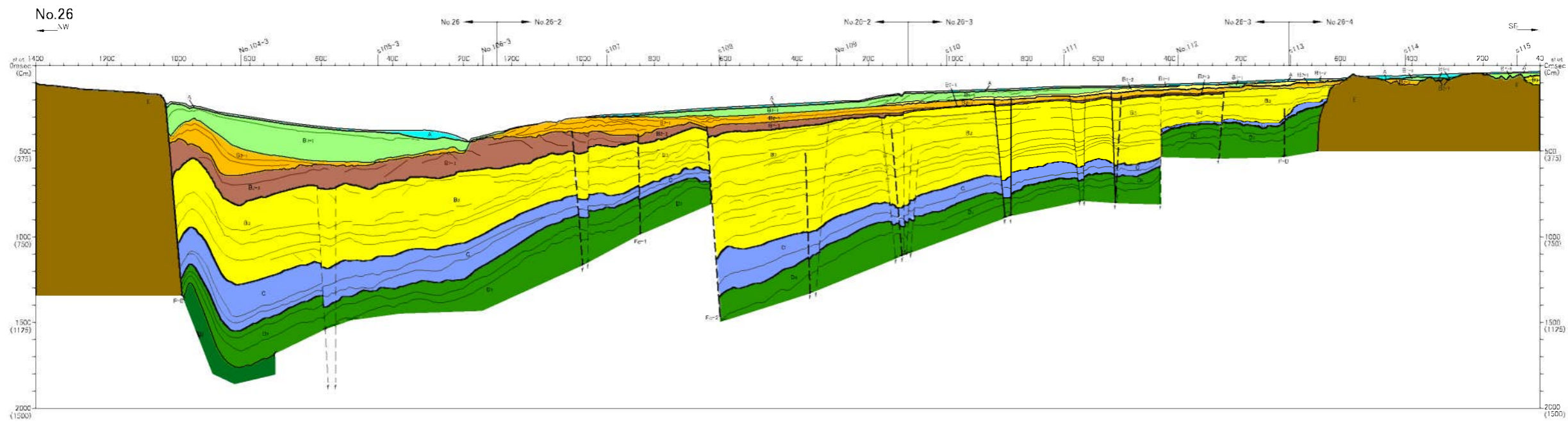
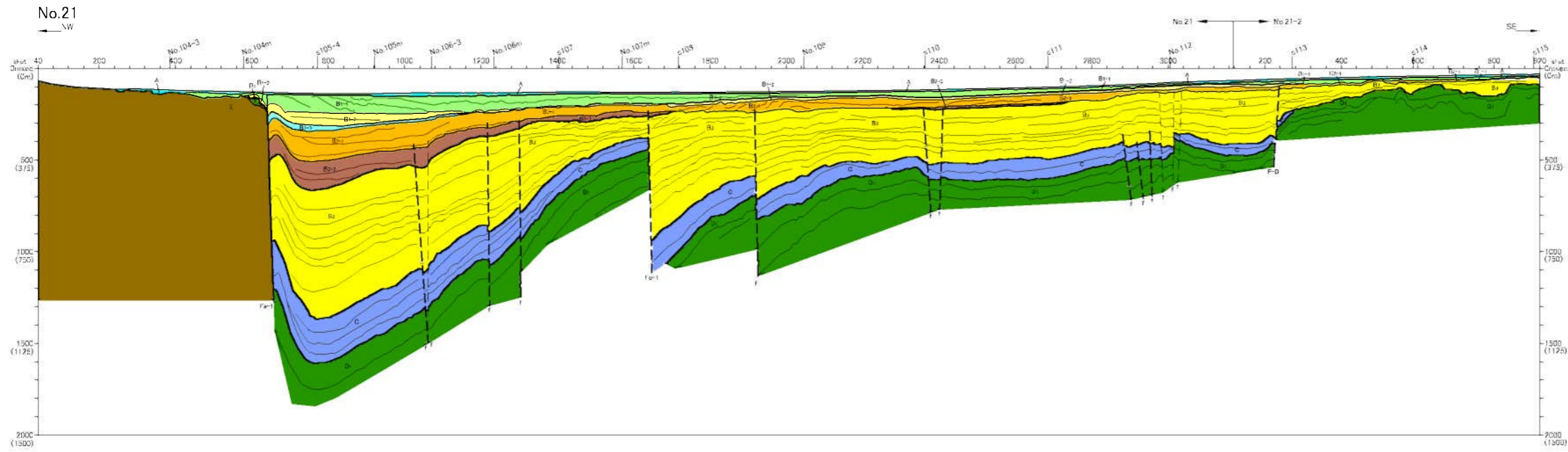


- 地質層序
- A 後期更新世～完新世
 - B1-1 後期更新世
 - B1-2 後期更新世
 - B1-3 中期～後期更新世
 - B2-1 中期更新世
 - B2-2 中期更新世
 - B2-3 中期更新世
 - B3 前期更新世
 - C 前期更新世
 - D1 中期鮮新世～前期更新世
 - V 前期更新世
 - D2 後期中新世～前期鮮新世
 - E ジュラ紀～前期中新世
- 第四紀
- 新第三紀
- 中生代～新第三紀

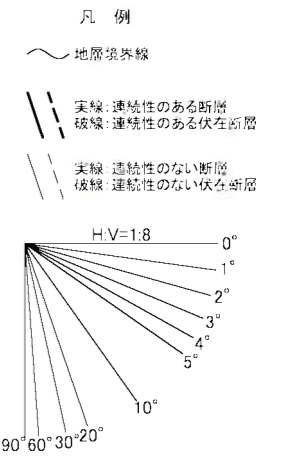
- 凡例
- 地層境界線
 - 実線 連続性のある断層
 - 破線 連続性のある伏在断層
 - 実線 連続性のない断層
 - 破線 連続性のない伏在断層
- H/V=1.8
- 0°
 - 1°
 - 2°
 - 3°
 - 4°
 - 5°
 - 10°
 - 20°
 - 30°
 - 60°
 - 90°

0 5 10km

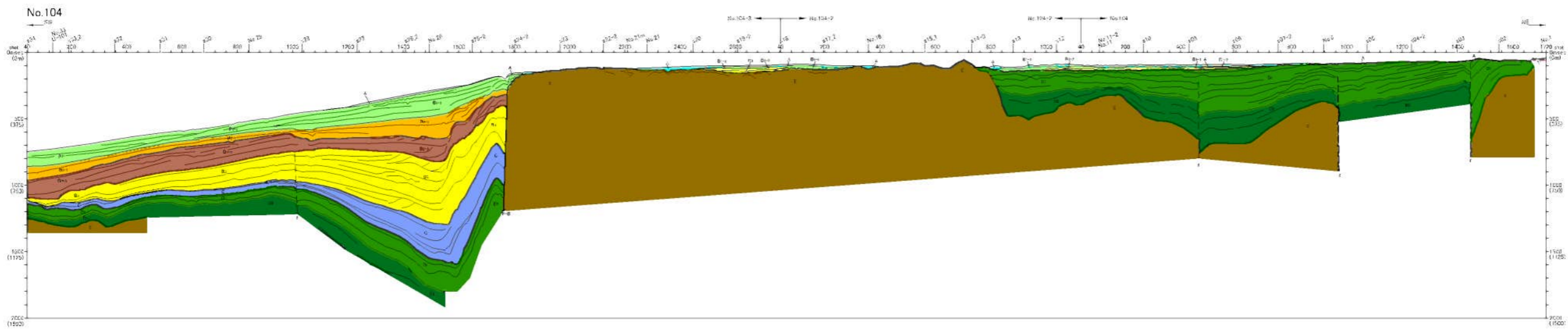
第1.2-161図(1) 敷地前面海域の海底地質断面図(その1)



- 地質階序
- A 後期更新世～完新世
 - B1-1 後期更新世
 - B1-2 後期更新世
 - B1-3 中期～後期更新世
 - B2-1 中期更新世
 - B2-3 中期更新世
 - B3 前期更新世
 - C 前期更新世
 - D1 中期鮮新世～前期更新世
 - V 中期鮮新世～前期更新世
 - D2 後期中新世～前期鮮新世
 - E ジュラ紀～前期中新世
- 第四紀
- 新第三紀
- 中生代～新第三紀

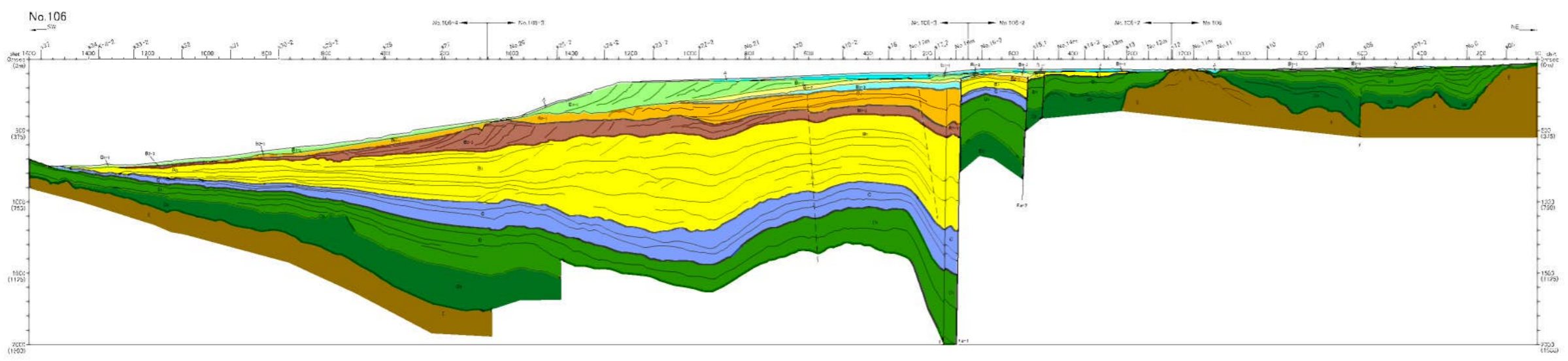


第1.2-161図(2) 敷地前面海域の海底地質断面図(その2)

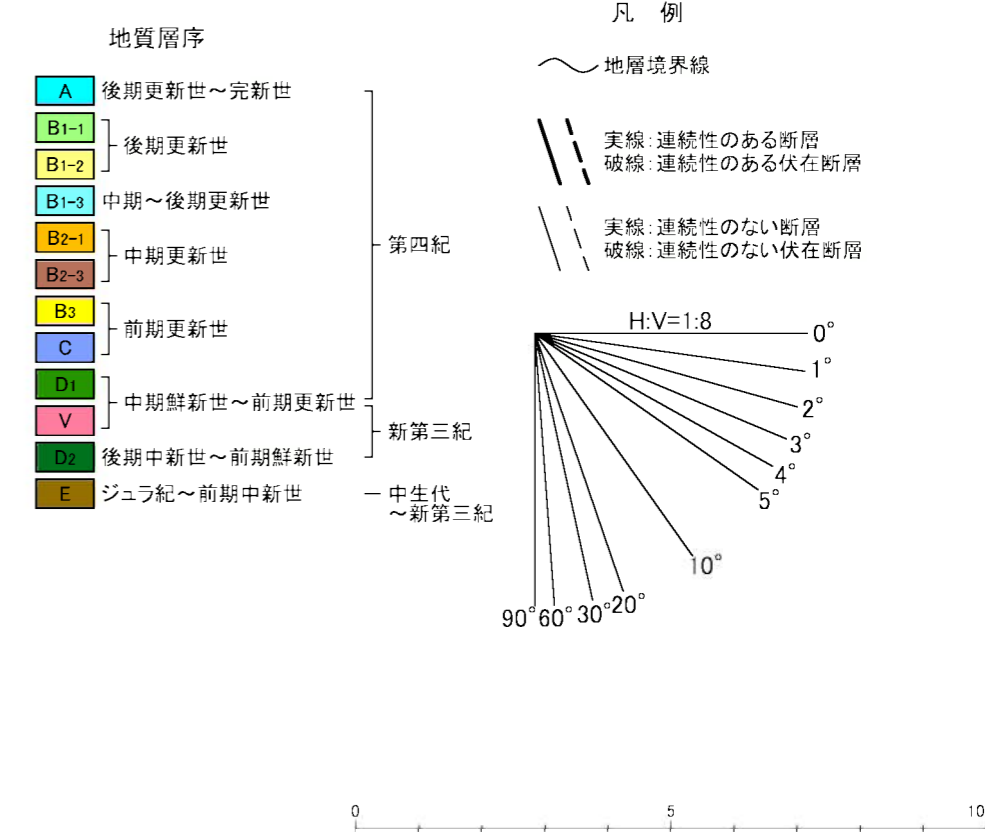
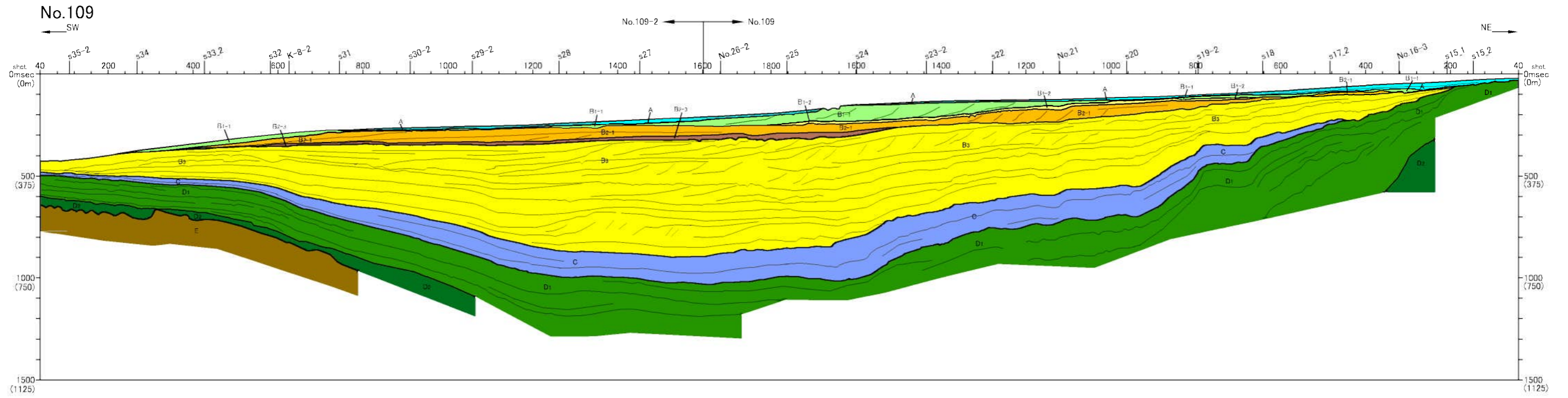


- 地質階序
- A 後更新世～完新世
 - B1-1 上新世対岸
 - B1-2 中新世～後中新世
 - B1-3 中新世～後中新世
 - B2-1 中新世対岸
 - B2-2 中新世対岸
 - B3 中新世対岸
 - C 中新世対岸
 - D 中新世対岸～前中新世
 - E 中新世対岸～前中新世
 - F 中新世対岸～前中新世
 - G 中新世対岸～前中新世
 - H 中新世対岸～前中新世
 - I 中新世対岸～前中新世
 - J 中新世対岸～前中新世
 - K シュワビ紀～前中新世
- 第四紀
新第三紀
中生代～新第三紀

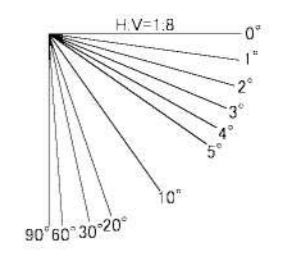
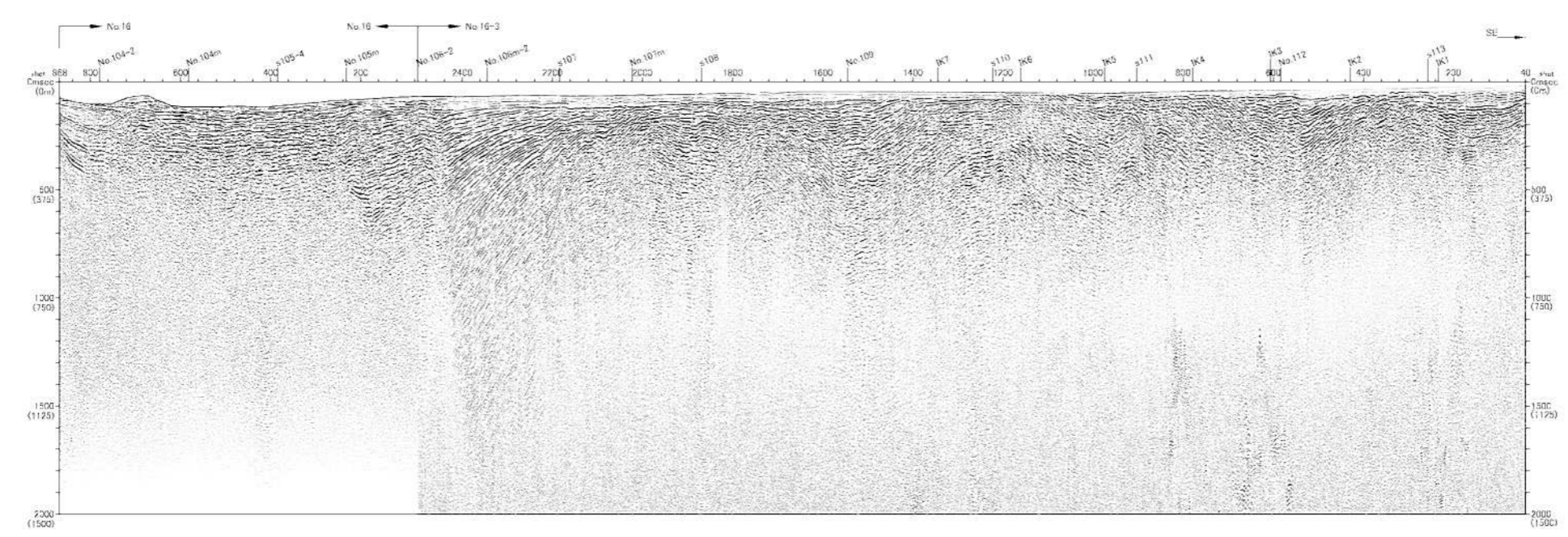
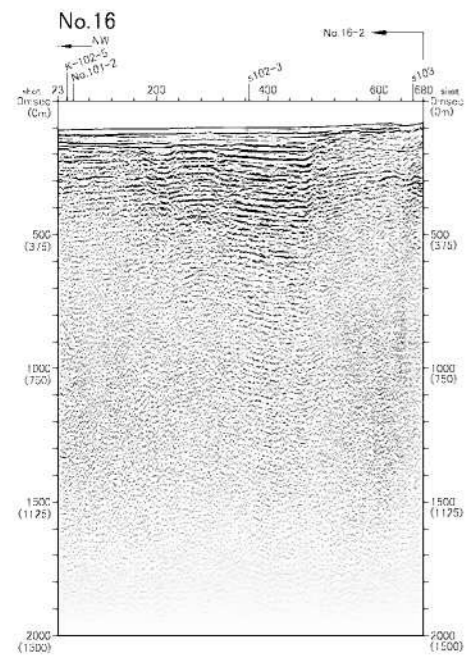
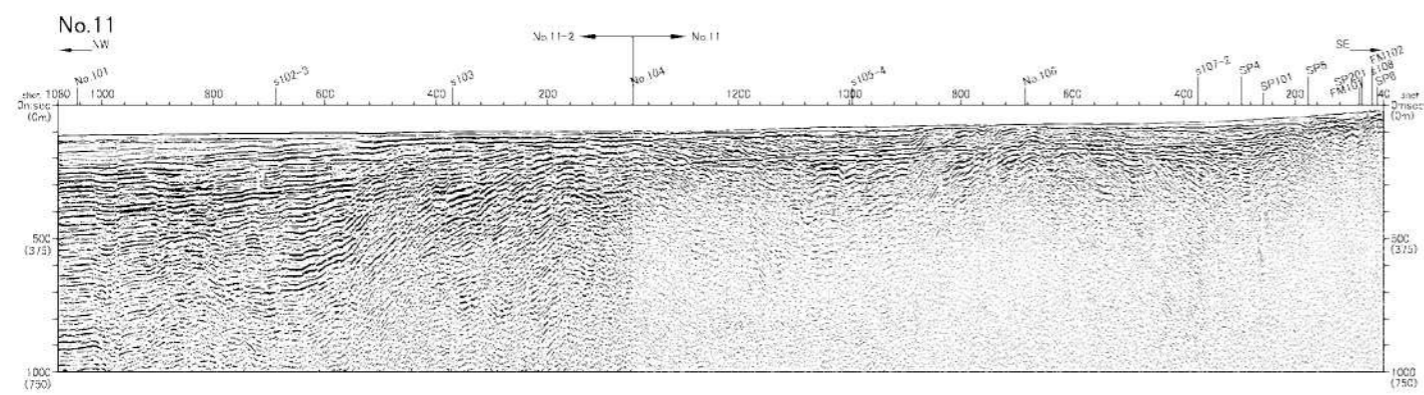
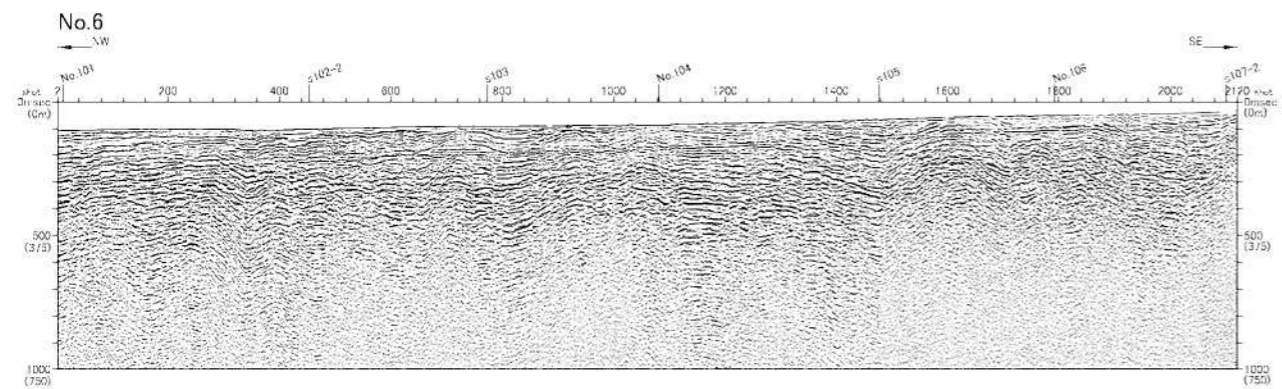
- 凡例
- 地質境界線
 - 連続性のある層序
 - 連続性のある伏在層序
 - 連続性のない層序
 - 連続性のない伏在層序
- H V=1 B
- 0°
1°
2°
3°
4°
5°
10°
20°
30°
60°
90°
- 0 5 10km



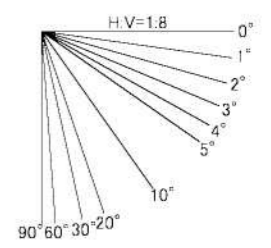
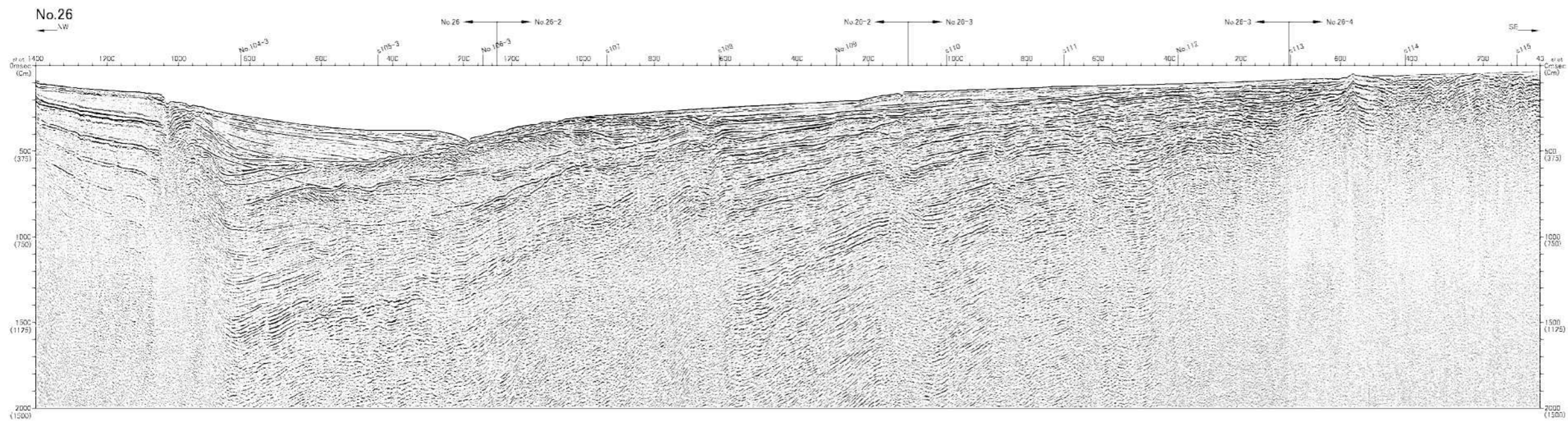
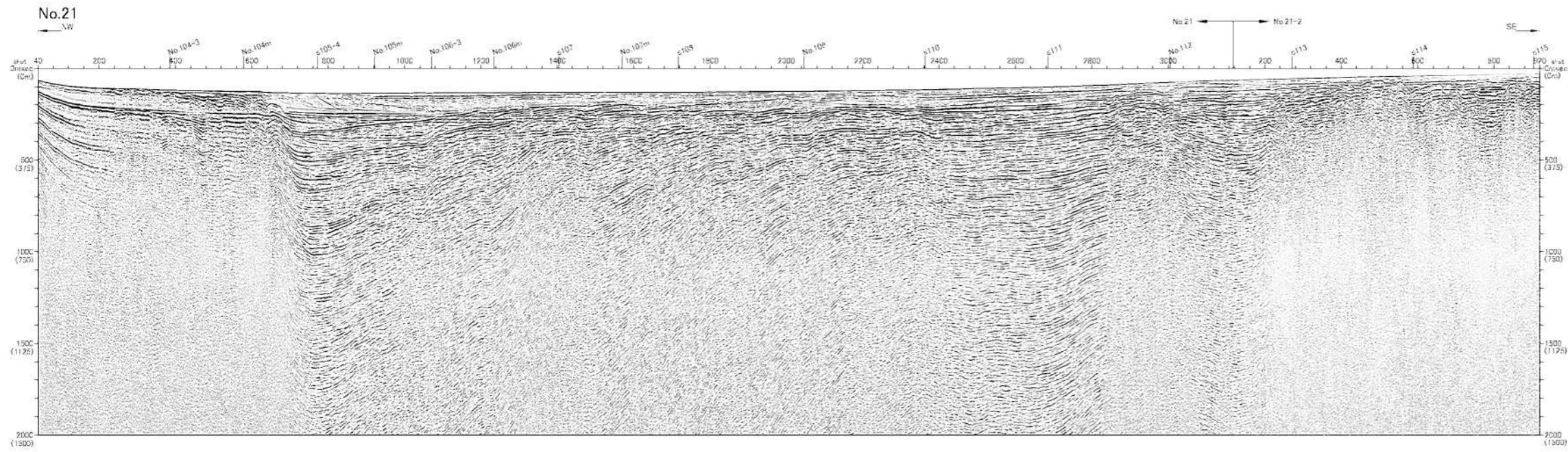
第1.2-161図(3) 敷地前向海域の海底地質断面図(その3)



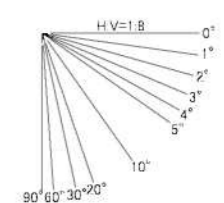
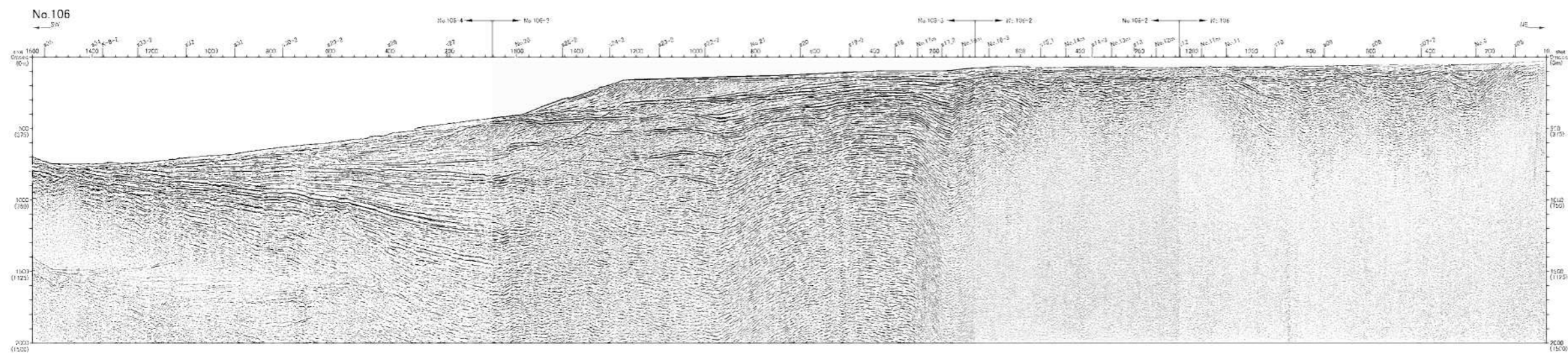
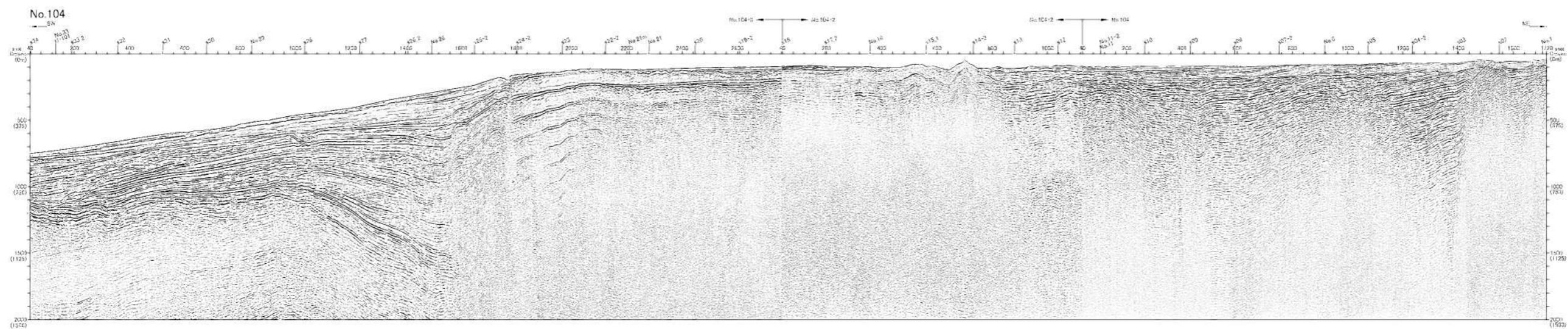
第1.2-161図(4) 敷地前面海域の海底地質断面図(その4)



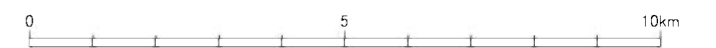
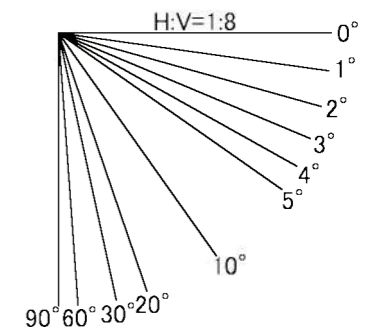
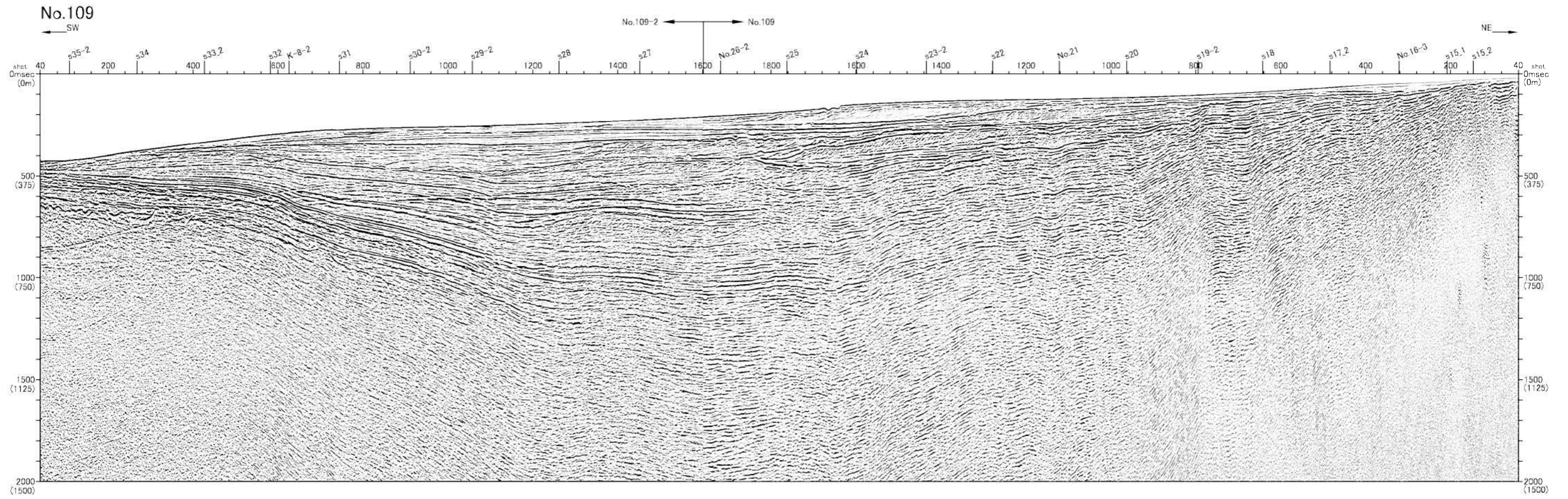
第1.2-162図(1) 敷地前面海域の反射断面図(その1)



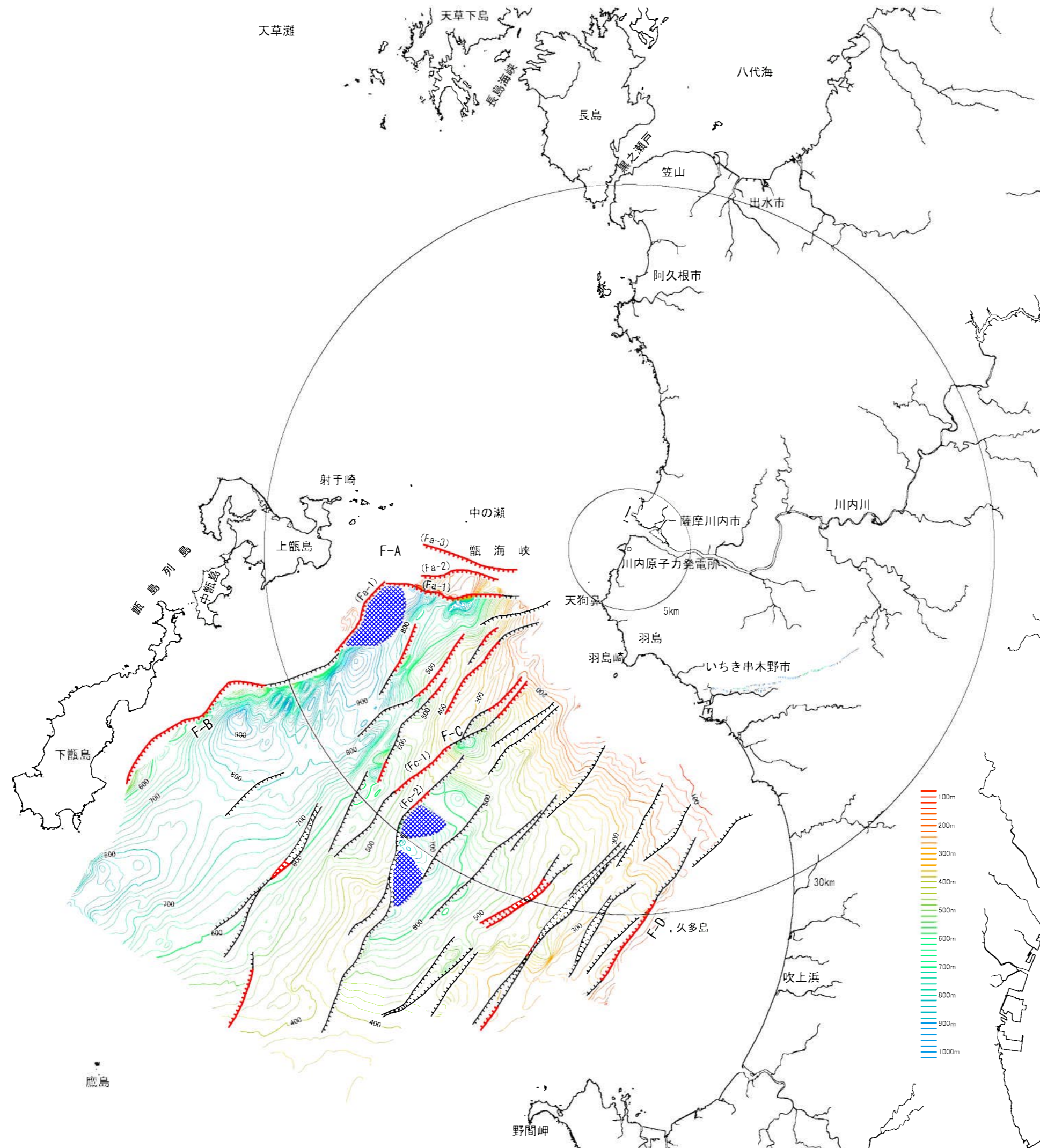
第1.2-162図(2) 敷地前面海域の反射断面図(その2)



第1.2-162図(3) 敷地前面海域の反対断面図(その3)



第1.2-162図(4) 敷地前面海域の反射断面図 (その4)



凡 例

- | | | | |
|------|-------------|------------|-------------|
| A | 後期更新世～完新世 | } 第四紀 | |
| B1-1 | } 後期更新世 | | |
| B1-2 | | | |
| B1-3 | | | 中期～後期更新世 |
| B2-1 | } 中期更新世 | | |
| B2-3 | | | |
| B3 | 前期更新世 | | |
| C | } 新第三紀 | | |
| D1 | | | 中期鮮新世～前期更新世 |
| V | | | 後期中新世～前期鮮新世 |
| D2 | 後期中新世～前期鮮新世 | } 中生代～新第三紀 | |
| E | ジュラ紀～前期中新世 | | |

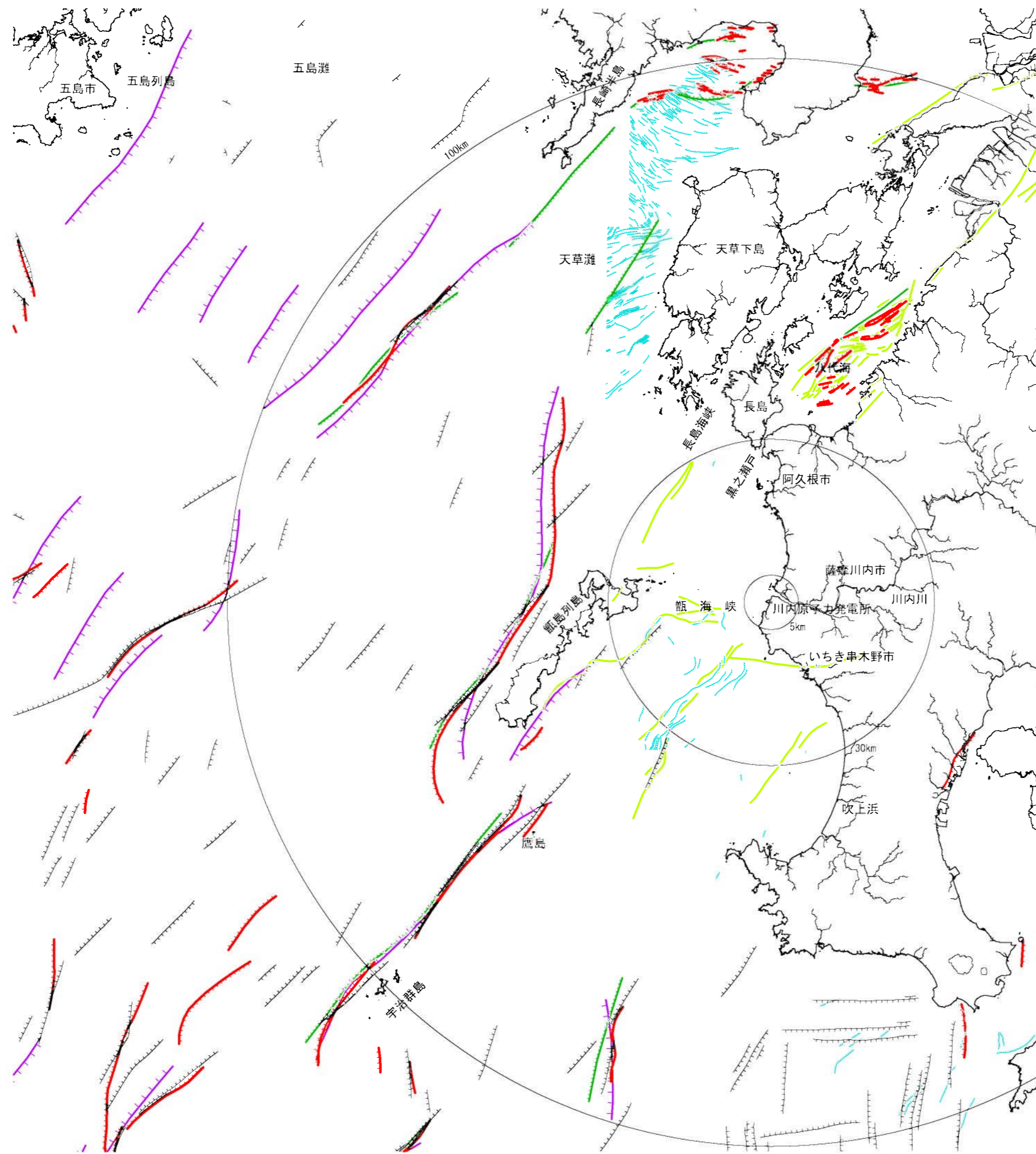
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層

堆積層が厚いため、音波がC層上面まで到達していない。
C層上端は海面下1000m程度以上と推定される。

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



第1.2-163図 敷地前面海域のC層上面等深線図

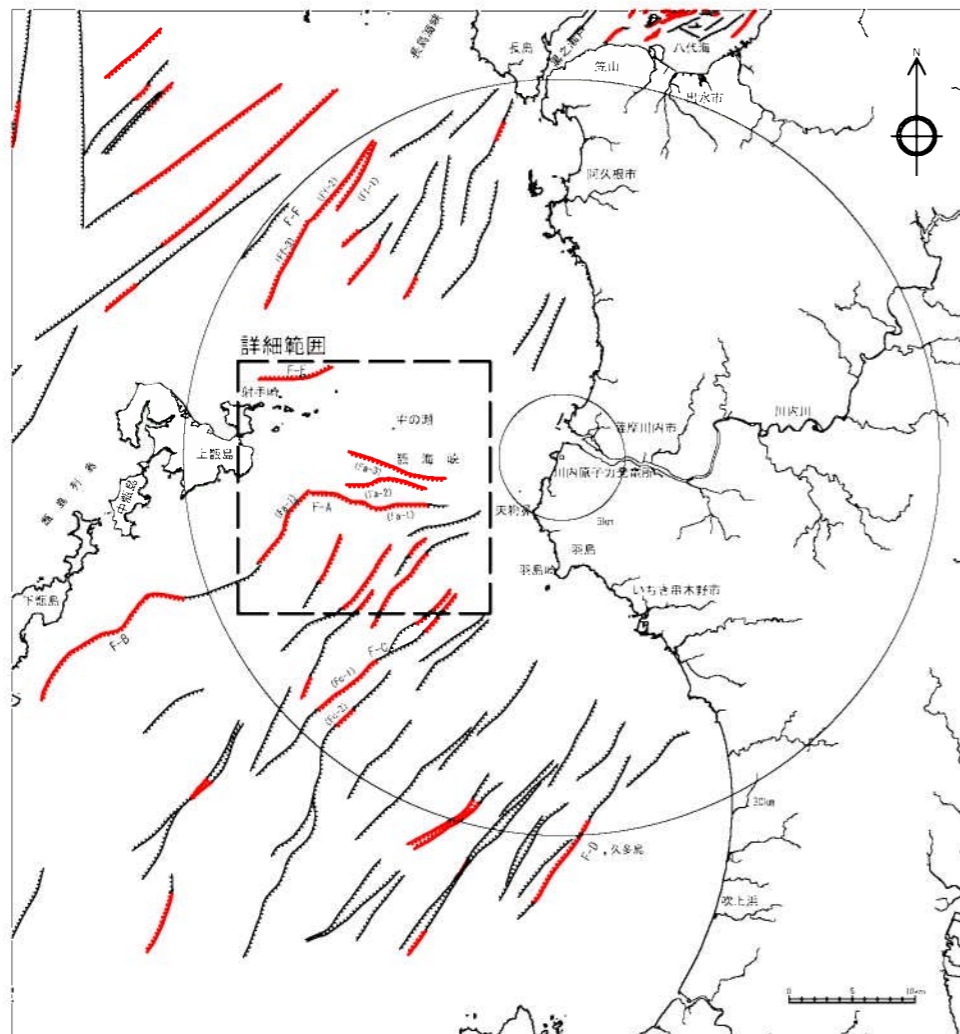


- 凡 例
- 海上保安庁 大陸棚の海の基本図(1/20万)海底地質構造図
 - 海上保安庁 沿岸の海の基本図(1/5万)海底地質構造図
 - 活断層研究会編「[新編]日本の活断層」
 - 徳山ほか「日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史」
 - 地質調査所編「日本地質アトラス(第2版)」
 - 地質調査所編「九州地域の活断層の長期評価(第1版)」

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(長崎)他を編集したものである。

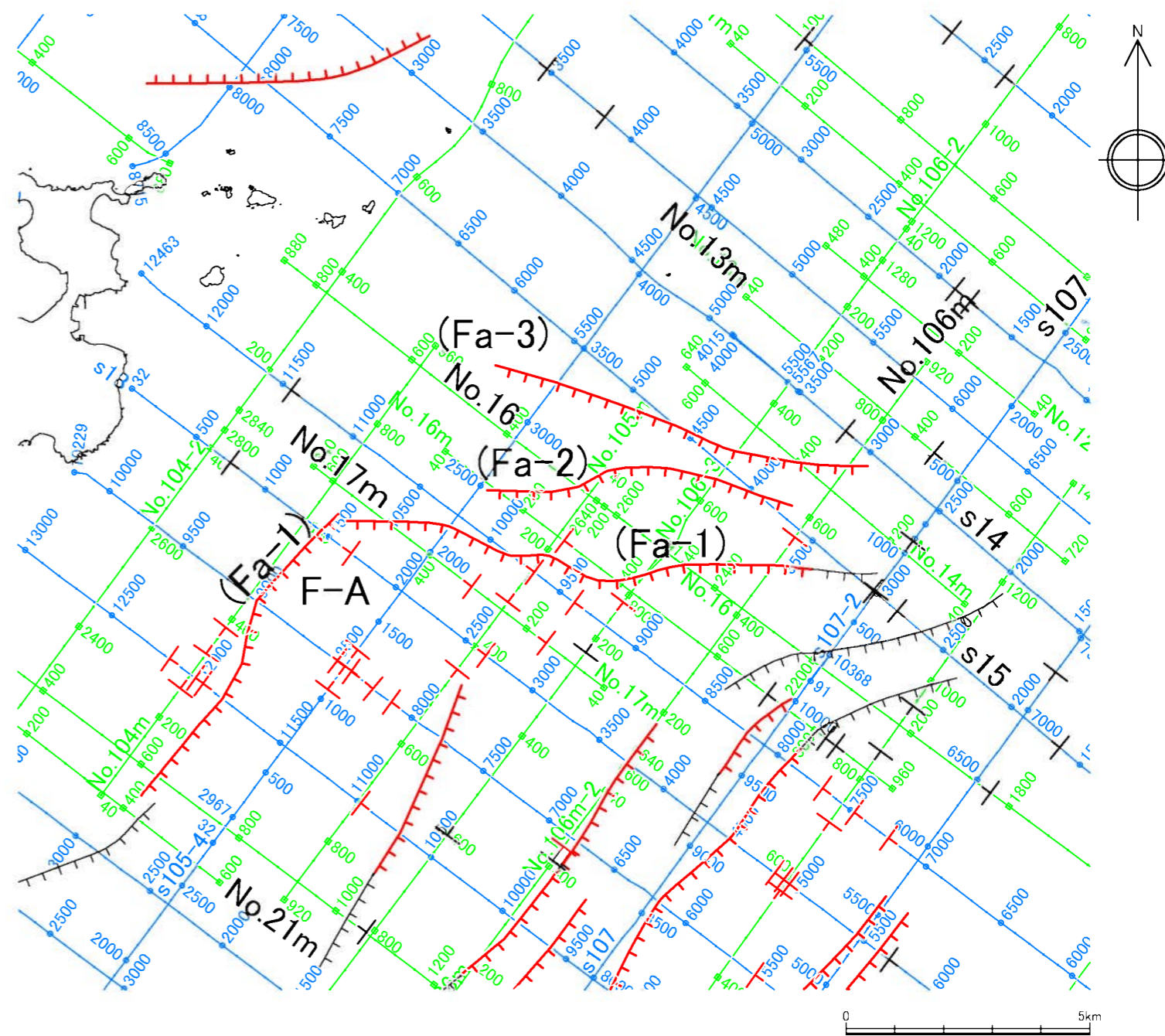


第1.2-164図 文献による敷地周辺海域の断層分布図



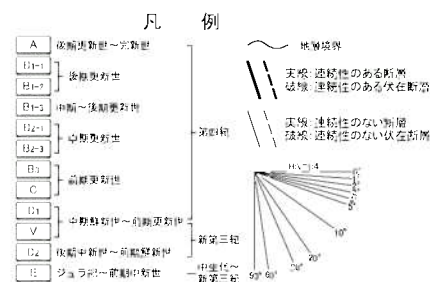
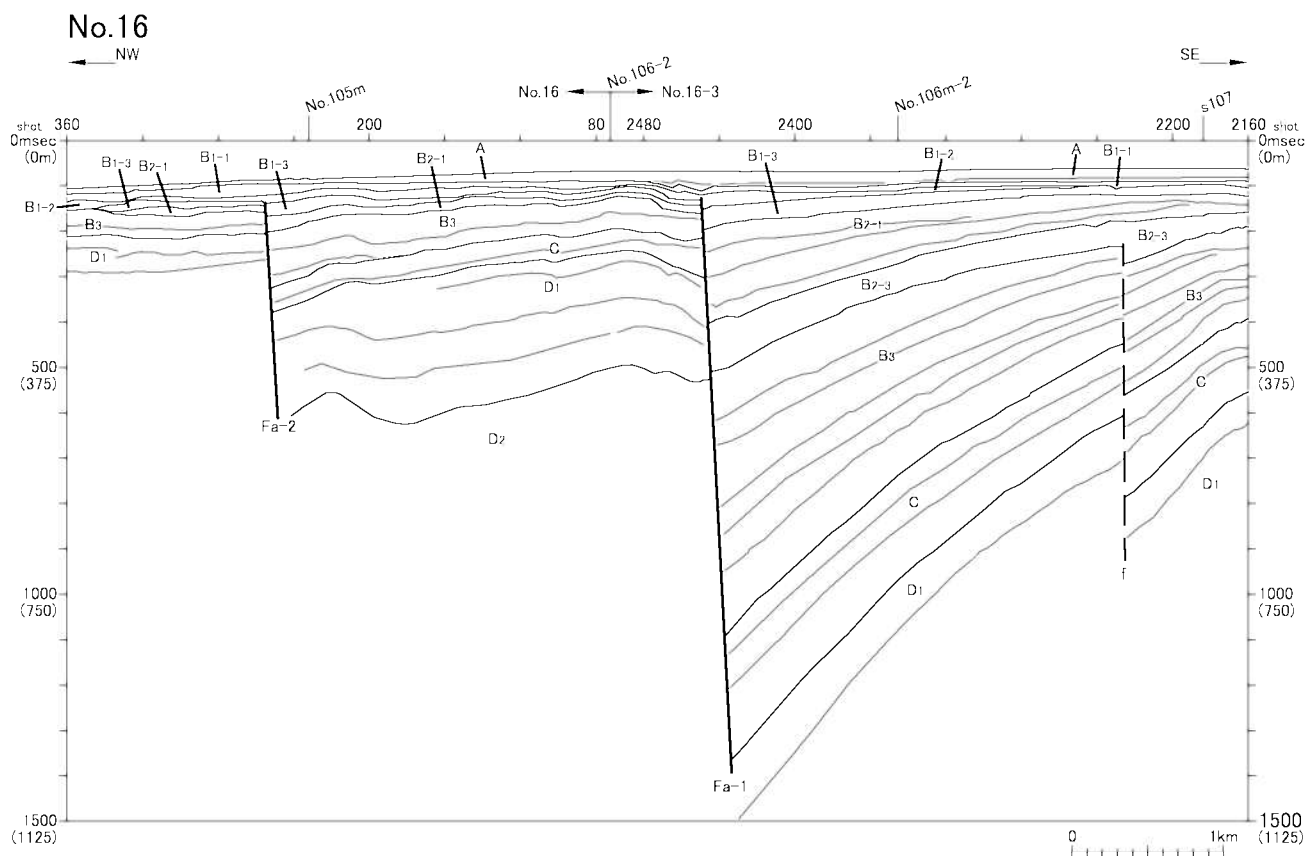
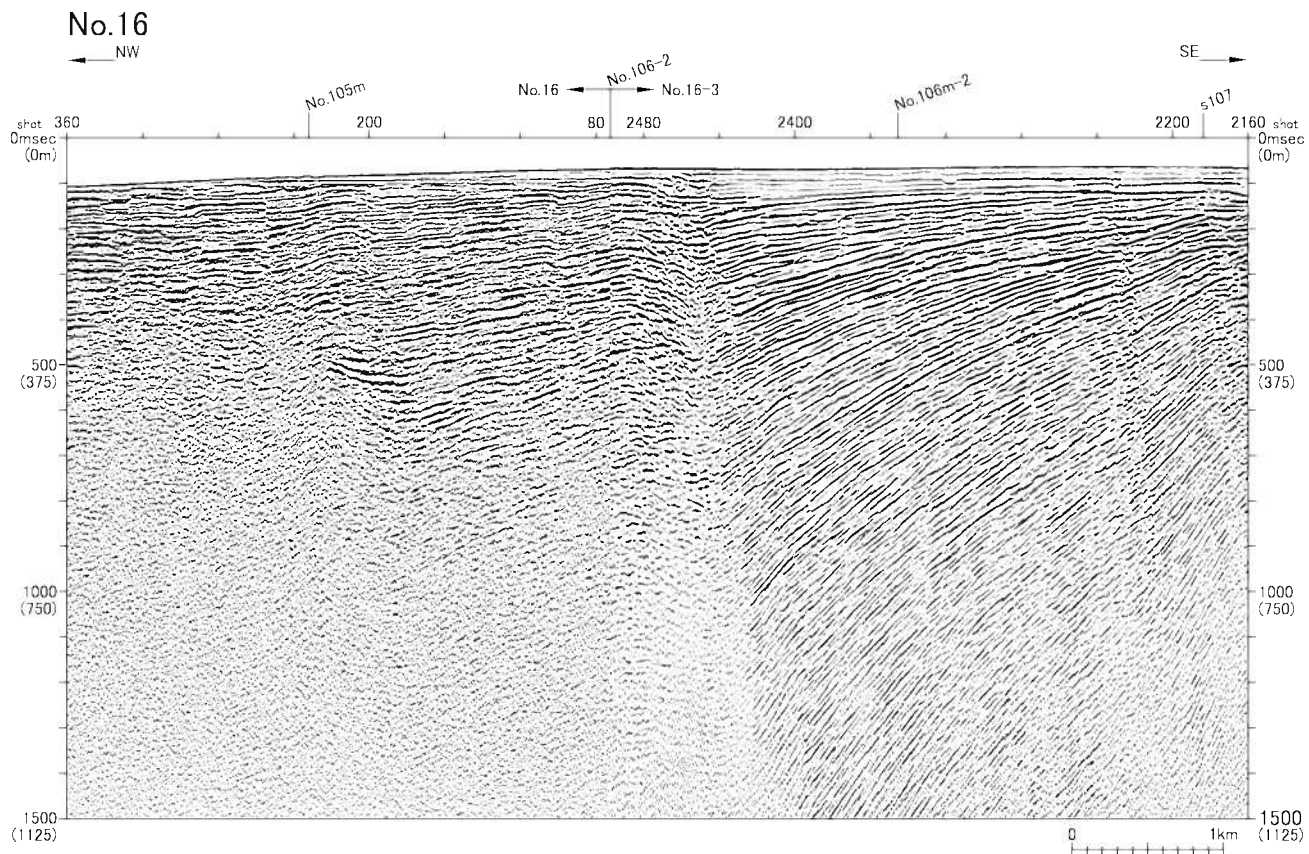
凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スーパーカ)



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

第1.2-165図 F-A断層位置図



第1.2-166図(1) F-A断層の音波探査記録断面図 (No.16測線)